

ビルマ・シンガポールの従軍慰安所 (日本語仮訳版)

- 本資料は、昨年度韓国で発見された従軍慰安所帳場掛従業員の日記を、研究用資料として翻訳したものである。監訳者の許可無く複製すること、また配布することを禁じる。

2013年8月1日

- 資料解題 安秉直
監訳 堀和生・木村幹

監訳者連絡先

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院経済学研究科

堀 和生

E-mail

:

hori@econ.kyoto-u.ac.jp

【本翻訳に関する問い合わせ先】

〒657-8501

神戸市灘区六甲台 2-1

神戸大学大学院国際協力研究科

木村 幹

電話 : 078-803-7121

E-mail : Kan_Kimura@yahoo.com

■ 日本語版凡例

- 本資料の脚注は、特に付記がない場合、解題を執筆した安秉直が作成したものを翻訳したものである。但し、「*」のついた注は監訳者である堀和生・木村幹が作成したものである。
- 韓国語版は西暦を用いているが、日本語版では原資料の表現を残す為に元号を用いている。
- 地名は現在のものでなく、できる限り当時の表記に近いものを採用した。
- 解題に記されているように、韓国語版には、本資料に加えて補足資料が「付録」としてつけられているが、日本語版仮訳にはこれらの資料は添付していない。
- 韓国語凡例では触れられていないが、日本語の人名についても一部伏せ字にしている場合がある。

はじめに

2012年5月、落星堡経済研究所は、京畿道坡州市にある私設博物館「タイムカプセル」の資料を調査した。同博物館に日本軍慰安所管理人の日記があるという情報が、韓国学中央研究院の古文書専門家を通じて、研究所に伝えられたからである。呉採鉉館長は、すぐにその日記26冊を我々に貸与してくれた。永らく博物館に眠っていた日本軍慰安所に関する貴重な情報が我々の目の前に現れた瞬間だった。

本研究所は同年8月までの間に、日記の執筆者である朴氏の経歴と日記26冊の内容に関しての概括的な調査を行った。その結果1943年と1944年の日記が、朴氏がビルマとシンガポールで日本軍慰安所の帳場に勤めた当時のとりわけ重要な史料であるという事実が確認された。そこで本研究所は、まずこの2年分の日記の研究に取り組むこととなった。

そしてこの日記を読解・清書し、現代語に翻訳する研究会が、研究所内に組織された。この研究会は、同年9月から12月まで毎週1回開かれた。1990年代初頭にこの問題に関する調査・研究を行い、政府の補償政策にも関与した者として、この研究会に参加できたことは、私にとって幸運だった。この研究会は、李栄薫教授、李宇衍博士および金成南君、そしてここでは名前を出すことはできないが更に幾人かの研究者によって主導された。彼らの労苦によって、2012年12月に作業は第1次完了を迎えている。

この資料の公刊においては、「タイムカプセル」の呉採鉉館長の同意が得られている。私が解題を書くにあたっては、日本側の共同研究を主導している京都大学大学院経済学研究科の堀和生教授からも大きな助力を得ることとなった。そして、出版社イスプの林王俊社長は、出版事情の厳しい中、この資料の出版を喜んで引き受けてくださった。すべての方に心から深く感謝申し上げる次第である。

2013年8月

ソウル大学校名誉教授 安秉直

ビルマの日本軍慰安所（日本軍慰安所管理人の日記）

凡例*

1. 原文はハングル・漢字および日本のカナで表記されているが、ハングル表記で統一した。
2. 原文中には、漢文式に読まなければ意味の通じない部分が数多く含まれているが、これらを含めて全て韓国語式に表記した。
3. 文章が文法的に意味をなさない場合には、文法を修正して表記した。
4. 翻訳は直訳を原則にした。
5. 慰安所、商店、旅館、会社および機関などの名称は、韓国語の発音でそのまま意味が通じるものは韓国語発音で表記を行い、韓国語発音では意味が通じないものは日本語発音で表記した。
6. 日本式人名は日本語のまま表記した。日本語表記については最も一般的な表記法を採用した。
7. 韓国にはない日本固有の組織や制度を表す単語は日本語発音で表記した。
8. 年度はすべて西暦に直し、旧暦の表記は削除した。
9. 著者、著者の家族、及び慰安婦の韓国式氏名については、一文字或いは二文字を伏せ字にして表記している。

（現代語翻訳版）

昭和 18 年 1 月 1 日金曜日、晴天、19/21¹⁾

大東亜聖戦、2 度目の昭和 18（1943）年の新春を迎え、1 億の民草は伏してどうか陛下の

* 韓国語版の凡例を翻訳したものである。

¹⁾ 気温の表示。

ご健康でありますことと皇室の末永きご繁栄をお祝い申し上げるところである。私は遠く故郷を離れ、ビルマのアキャブ（Akyab、現在の Sittwe）²⁾市慰安所である勘八倶楽部で起きて東の方に宮城に向かって遙拜し、故郷の両親と兄弟、そして妻子のことを思い、幸せを祈った。東天の日差しも分かっているかのように、皇軍の武運長久と国家隆昌を祝福してくれる。どうか今年一年も無事に幸運の中で過ごせるように…。家内の弟と○桓君は慰安婦を連れて連隊本部その他 3~4 ヶ所に新年挨拶に行ってきた。一線陣中で迎えた元日も暮れて夜になり、今年の幸運を夢見て、何日か眠れなく辛かったのだがつい深く寝た。

1月2日土曜日、晴天、19/22

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起きて朝飯を食べた。昨日は元日の休業で、今日から慰安業を始める。新年が明けて早くも二日目を迎えた。朝鮮は今が一番寒い時なのに、ここは中秋の気候ぐらいだ。

1月3日日曜日、晴天、19/21

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起き、朝飯を食べて一日中帳場³⁾の仕事をし、夜2時頃に寝た。今日は別に異常なくよく過ごした。

1月4日月曜日、晴天、19/21

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起きて朝飯を食べた。一日中帳場の仕事をしていた夜2時頃に寝た。

1月5日火曜日、晴天、19/21

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起き、朝飯を食べて一日中帳場の仕事をした。夜2時過ぎに寝た。

²⁾ 以下、すべての地名は初出に限ってアルファベットと現在の地名を表記する。

³⁾ 商店、旅館や料亭などで帳簿を記入し、勘定をするところ。レジスタと同様。

1月6日、晴天、水曜日、20/22

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起き、朝飯を食べて一日中仕事をし、夜1時過ぎに寝た。

1月7日木曜日、晴天、20.70/22.00

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起き、朝飯を食べて○桓君と帳場の仕事をし、○桓君と一緒に寝た。今日はこの頃一番客が少なかった。兵丁券は14枚しか売れなかった。

1月8日金曜日、晴天、20.70/22.00

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起き、朝飯を食べて○桓君と帳場の仕事をし、夜1時過ぎに寝た。

1月9日土曜日、晴天、20.70/22.00

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起き、朝飯を食べて一日中帳場の仕事をし、夜2時頃に寝た。今日、検査の結果、病中の○千代と○子の二人は不合格でそれ以外の16人は皆合格した。合格は多かったが客は少ない。

1月10日日曜日、晴天、20.70/23.00

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起き、朝飯を食べて一日中帳場の仕事をして寝た。9中隊前の海上遠く敵の砲艦4、5隻が見え、夜1時頃に各部隊は非常警備に皆武装出動をした。

1月11日月曜日、晴天、20.70/23.00

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八倶楽部で起きて朝飯を食べた。夕食を食べてあまりにもうるさくて寺院に行って少し横になっていたら、夜2時頃に○桓君が来て呼んだので起きて戻って寝た。

1月12日火曜日、晴天、19.5/23.0

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八俱樂部で起きて朝飯を食べた。医務室へ行ってから連隊本部^{*4)}の事務室に寄って慰安婦収入報告書を提出し、ラングーンに向かう便があったら出張証明書を発給してくれと頼んだ。アキャブ海岸を流れる川には魚もたくさんいて、網さえ投げればいっぺんに数十匹がつかまる時もある。

1月13日水曜日、晴天、20.0/23.0

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八俱樂部で起きて朝飯を食べた。連隊本部の医務室へ行って衛生サック1,000個を持って来た。夜1時半時頃に寝た。昨晚には敵機の音は聞こえなかった。

1月14日木曜日、晴天、20.5/23.0

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八俱樂部で起き、朝飯を食べて帳場の仕事をした。○桓君と寺院に行って寝た。

1月15日金曜日、晴天、21.0/23.0

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八俱樂部で起き、朝飯を食べて一日中帳場の仕事をした。

1月16日土曜日、晴天、21.0

朝、ビルマのアキャブ市慰安所の勘八俱樂部で起き、朝飯を食べて帳場の仕事をした。午後6時過ぎに連隊本部の事務室で先日に頼んだラングーン出張証明書をもらい、見たら今夜20時に出発しろということだった。家内の弟に事情を話したら、行きなさいといってお金3万2,000円をくれ、送金しろというのだ。タンガupp (Taungup) まで向かう船は夜9時40分頃に出発する。途中で風浪が激しく船酔いをして調子が悪くなり、吐くことまでした。アキャブに来て2ヶ月5日ぶりにここを離れた。

^{*4)} 当時同地に駐屯していたのは、緬甸方面軍第15軍隷下の55師団（壮兵団・善通寺編成・隊長花谷正中将）であり、歩兵3個聯隊・騎兵・山砲兵・工兵・輜重兵各1個聯隊を編成していた。

1月17日 日曜日、晴天

朝、9時過ぎ、大発船⁵⁾はタンガップとの中間地点に碇泊した。昼には上陸して食事などをし、夜9時頃に再び出発した。今夜は専ら川の流れだけで船が動き、船は揺れもなく順調に航海している。

1月18日 月曜日、晴天

朝、8時半頃、私が乗っていた大発船はタンガップ埠頭に到着した。すぐ上陸をし、同行の友になった中村上等兵と兵站を尋ね、朝飯を食べて某少尉の案内で彼の部隊に行って寝食をする事にした。プローム（Prome、現在のPyay）行きの車は2、3日後にあるといい、某少尉も同行してラングーンまで行くと言っていた。

1月19日 火曜日、晴天

朝、ビルマのタンガップで起き、朝飯を食べて、終日中村正之助上等兵と車が何時に出発するのかを待ちながらブラブラしていた。少尉の話では明日、明後日には出発すると言っている。出発した後、アキャブの我が慰安所一同は無事よく営業しているかどうか。どうか健康と幸せを祈ってやまない。

1月20日 水曜日、晴天

朝、ビルマのタンガップで起き、部隊で朝飯を食べて一日中遊んだ。明日の出発を楽しみながら夜12時頃に寝た。

1月21日 木曜日、晴天

朝、ビルマのタンガップの火村小隊で起き、朝飯を食べて同隊の自動車で火村小隊長少尉とその他運転兵まで5人、中村上等兵と私たちの7人が乗って、午前11時にタンガップを出発してアラカン（Arakan）という海拔数千余尺の山岳地帯、すなわち180余キロを無事越

⁵⁾ 大発船は日本軍の開発した上陸用舟艇のことをいう。

えてプローム対岸に到着し、渡河してプローム市の以前の我が慰安所の隣、チンロン家に入
って宿泊の世話になった。アラカンの険しい山道を設計して開拓したことに感心した。千古
に人跡まれな山だった。

1月22日金曜日、晴天

朝、ビルマプローム市のチンロン家で起きて朝飯を食べた。プローム市を空襲した敵機がプ
ローム市から30余里のところまで皇軍の反撃を受けて墜落したという。チンロン家で夕食を
食べて遊んで寝た。衛生部長（ビルマ人）の自動車に便乗して彼の別荘に行って遊んだ。

1月23日土曜日、晴天

朝、ビルマプローム市のチンロン家で起き、朝飯を食べてプローム駅で午前10時28分発の
列車に乗ってラングーンに夜10時50分頃に着いた。サイドカーに乗って青鳥食堂の大原を
捜したが、いないと言われ、宿所の困難を心配していると、サイカの持ち主であるビルマ人
が自分の家に行こうと言うので、そうしようと付いて行って夕飯まで食べて寝た。

1月24日日曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市のビルマ人であるモンタン家で起きて野戦郵便局に送金をしに行
ったら、兵站司令部の許可が必要だと言われ、同司令部へ行って副官に言ったら、毎日500
円以上は送金できないという。青鳥食堂へ行って主人の大山氏に会ってみた。銀行送金は多
額でも大丈夫だが、軍政監部⁶⁾の許可が必要であると言われ、同監部に行って話してみた。
銀行で許可用紙を得て申し込めばいいという。モンタンに行ってトランクを取って大山氏の
経営する慰安所ラングーン会館を尋ねて宿泊の世話になった。大原君も白水慰安所で帳場の
仕事をしているが、彼に会ってみた。

1月25日月曜日、晴天

⁶⁾ 日本軍の軍政機関のことをいう。太平洋戦争期に日本軍は東南アジア、ニューギニア、中部太平洋
方面の占領地において軍政を実施した。占領軍の参謀長が軍政監部の責任者となった。

朝、ラングーン市の大山氏の処で起きて横浜正金銀行のラングーン支店で 3 万 2,000 円を貯金した。電信局へ行って朝鮮の本家に電報を打った。答電してほしいと言ったが、嬉しい便りは来るのだろうか。白水慰安所で主人に会って挨拶をした。また夕食まで食べた。大山氏の居所で寝た。

1 月 26 日火曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市のゴドウィン（Godwin）路のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。一日中何もすることなく、あっち行ったりこっち行ったりしてラングーン会館で夕食を食べて寝た。

1 月 27 日水曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。ラングーン会館の主人が経営する青鳥食堂へ行ってからすぐラングーン会館に戻った。ラングーン会館で夕食を食べていたら同会館の岩下氏が遊びに行こうと言うので、一緒に市内のビルマ人遊郭へ行き、岩下氏の誘いにもかかわらず、遊ばないでそのまま帰ってきて寝た。

1 月 28 日木曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市のラングーン会館で起き、朝飯を食べて同会館の岩下氏と貨物公^{*7)}廠で経営する牧場と農園を見物して来た。牧場は数 100 万坪の面積だが、今はジャングル地帯を整備しているという。同会館で夕食を食べて遊んで寝た。

1 月 29 日金曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。市内へ行って日本人会事務所を捜したが見つからず、帰ってくる途中に髭を剃った。ラングーン会館で寝た。朝鮮から一緒に来た野沢氏に会ったが、マンダレー（Mandalay）方面で慰安所をしていたが、今は私たちが前にいたプローム市へ今般部隊に付いて来て営業をしているという。

*7) 当時同地には、緬甸方面軍直属兵站部隊隷下として野戦貨物廠が駐屯していた。

1月30日土曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市ゴッドウィン路のラングーン会館で起きた。三井物産会社3階にある日本人会に行って入国許可用紙および日本人会への入会申込み用紙を貰ってきた。白水館（慰安所）で夕食を食べてラングーン会館で寝た。市内の成武堂書店へ行ってビルマ新聞の購読申請をして、初号から今日までの分をもらった。ビルマ新聞は今年1月1日から発行するようになった。

1月31日日曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。白水慰安所の大原のところで遊んでラングーン会館に帰ってきて夕食を食べて寝た。

2月1日月曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市ゴッドウィン路のラングーン会館で起きて三井物産会社の3階にある日本人会事務所に行って入国許可書を提出したら、そのまま軍政監部に提出しろと言われ、帰り道に大山氏が経営する青鳥食堂で朝飯を食べてからラングーン会館に帰ってくる。ラングーン会館で夕食を食べて寝た。アキャブを去ってからもう半月が過ぎた。何もやることなく大事な歳月だけを無駄遣いしている。将来の事業経営を大山氏と論議している。

2月2日火曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市ゴッドウィン路のラングーン会館で起き、朝飯を食べる前に白水慰安所の大原の処へ行ったら白水慰安所の大原君が朝飯を一緒に食べようというので朝飯を食べた。宿泊をあちこち転々していて本当に申し訳なくてたまらない。早く宿所が決まらなると食事や目的したことも進められないし、安心できないのに。ラングーン会館で夕食を食べて寝た。

2月3日水曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市ゴッドウィン路のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。昨夜に故郷夢を見たら午後 3 時頃に電報が来た。家内の弟にも電報が来た。すべて無事なのに娘がまだ病気が治らないというので心配だ。ここで電報を打ってから 10 日ぶりに回電が来た。白水慰安所で夕食を食べて豆腐店の鄭氏の家へ行って遊び、ラングーン会館に帰ってきて寝た。

2月4日木曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市ゴッドウィン路のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。午後 5 時頃に軍政監部の警務課に行き入国許可願を提出した。ラングーン会館で夕食を食べて夜 10 時半余りに寝た。

2月5日(旧 1月1日) 金曜日、晴天

ビルマのラングーン市ゴッドウィン路のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。旧正月だからまた故郷を思い出し、東天を向いて朝に遙拜をした。ラングーン会館で夕食を食べて寝た。

2月6日土曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市ゴッドウィン路のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。午後 5 時頃に大山氏と彼の食堂青鳥館に行き遊び、帰ってきて夕食を食べて遊んで寝た。内菌氏の慰安所の帳場の李氏が来たが、今モンメール (Moulmein、現在の Mawlamyine) にいるという。

2月7日日曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市ゴッドウィン路のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。動物園を見物した。動物園の設備は広いのだが、内容はあまりなかった。白水慰安所で夕食を食べた。夜 1 時頃にラングーン会館で寝た。

2月8日月曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市ゴッドウィン路のラングーン会館で起きて朝飯を食べた。慰安所の白水館で夕食を食べた。朝鮮で去年慰安所経営者として一緒に来た金和柱達氏に会って、一緒に行って寝ようと言うので、一緒に行って寝た。

2月9日火曜日、晴天

朝、金和の処で起き、金和氏と同居することを約束して居住する家屋を探したが、ビルマ寺院の後ろの道路周辺にあるビルマ人の仮設建物の一室を毎月家賃 25 円に決めて住むことにした。午後に大山氏がちょうど通り過ぎていたので、呼んで一緒にいて、軍政監部へ行って事を済まし、大山氏の家に行って夕食を食べて帰ってきて金和氏と一緒に寝た。

2月10日水曜日、晴天

朝、起きて金和氏と一緒に市場に出て朝飯を買って食べた。軍政監部に入国許可書を受け取りに行ったら、まだできていないとのことで、後で来てほしいという。ちょうど軍政部の門を出たら、朝鮮から慰安所経営者としてビルマに一緒に来た光山寛治氏と顔を合わせたので喜んで挨拶をした後、色々話をして遊んでから市内の正金銀行へ光山氏が送金に行ったので、一緒に行ってから一緒に我が宿舎に来て遊んで寝た。

2月11日木曜日、晴天

朝、臨時宿舎で起きてビルマ人の飯店で朝飯を買って食べた。午後にラングーン会館に行つてトランクを宿舎で持って来た。金和氏と一緒に夕食を買って食べて同宿した。光山氏は起床してプロームに行った。

2月12日金曜日、晴天

朝、宿舎で起きて金和氏と一緒に行って朝飯を買って食べた。一日中何もすることなく遊んでいて、夕食を食べて遊んでから夜 1 時頃に寝た。

2月13日土曜日、晴天

朝、ラングーン市の臨時宿舎で起きて金和氏と朝食を買って食べ、自動車の中古を売り渡す件があるからビルマ人が行ってみようと言うので、金和氏と一緒に行って見て2台を2,000円で買うと言った。軍政監部へ行って入国許可書を受け取った。

2月14日 日曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きた。金和氏とビルマ人が中古自動車があるから行ってみようと言うので行ったが、良くなかったので買わないと言って帰ってきた。

2月15日 月曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝食を買って食べた。プロームにいた、内地に帰還する軍人の大高・鳥居の両君に会った。プロームを離れ、去ってローヤ⁸⁾という所にいたが、今度内地に行くことになって12日にラングーンに出てきたという。

2月16日 火曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。一日中遊んで夕食を食べて寝た。

2月17日 水曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。内地に帰還する上等兵の高野君が来て、遊んで帰った。

2月18日 木曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。一日中遊んで大山氏が自分の家に行こうと言うので、一緒に行って夕食を食べて宿舎と一緒に帰ってきて寝た。

2月19日 金曜日、晴天

⁸⁾ 地名未詳。

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。インド人の理髪行商を呼んで理髪した。旧暦正月 15 日、月見の日なので、故郷の両親・兄弟・妻子は月を見て、また数万里他国にいる私のことを思い出すのだろう。東天に昇っている月を見て思郷の遥拝をした。この地の今頃は一点の雲もなく、清く晴れた空に月も明るい。

2月20日土曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。大山氏と軍政監部敵産課水田係の宮崎氏に精米工場の経営を交渉した。課長のところまで行って面会して話したら、産業部に問い合わせた上、何とか処分するという。

2月21日日曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。夕陽に千田商会住宅の久保氏を尋ねたが、住宅を捜すことができず、歩き回ってから帰ってきて、夕食を買って食べて遊んで寝た。

2月22日月曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。一日中遊んでから夕食を買って食べて寝た。

2月23日（旧暦1月19日）火曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。正金銀行支店へ行って預金から100円を下ろした。大山氏と車でラングーンの大寺を見物した。夕食を買って食べて寝た。

2月24日水曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。大山氏と一緒に床屋へ行って顔剃りをした。また大山氏と昨日未明に撃墜された英国機の残骸を見物した。この英国

機はラングーン市外から 10 キロ地点の水田広野に激突して爆破された重爆撃機で、とても大きかった。未発の爆弾も 5、6 個落ちていた。

2月25日木曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の臨時宿舎で起きて朝飯を買って食べた。臨時宿舎で宿泊している岡田、金和、大山など 3 人と記念撮影をした。大山氏とタボイ (Tavoy、現在の Dawei) まで旅行することを約束し、ビルマ人の乗合車でペグー (Pegu、現在の Bago) に着いた。慰安所文楽館の新井方で少し休んだ後、慰安所を経営する同郷人の金川氏を尋ねた。嬉しく会って話して遊び、夕食を食べて同氏の家で寝た。

2月26日金曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の桜倶楽部の金川氏方で起きて朝を食べた。金川氏の案内でビルマ第一の釈迦寝像を見物し、帰ってきてから夕食を食べて寝た。この臥仏像は長さ 180 余尺、高さ 50 余尺だというのが、これは本当に素晴らしい。

2月27日土曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起き、朝飯を食べてモンメールに行くため、大山氏と停車場に出て乗車した後モンメール、タボイ方面行きの連絡がうまくできず、途中で困難が多いというので、そのまま下車して金川氏の家に行った。タボイ行きを中止し、私は金川氏にしばらく世話になることになった。夕食を食べて遊んでから寝た。

2月28日日曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の桜倶楽部の金川氏の方で起きて朝飯を食べた。慰安所文楽館へ行って遊んでから夕食を食べて、文楽館の大原泰国氏の処で寝た。この文楽慰安所は私と一緒に来た朝鮮忠州の人・新井清次氏が経営している。

3月1日月曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の文楽館で起き、朝飯を食べて遊んだ。大山氏は福本の自家用車でラングーンに向かった。午後に金川氏と郭某と猟銃を持って野外に出て遊び、帰ってきて夕食を食べて寝た。

3月2日火曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市慰安所の桜倶楽部の金川氏方で起き、朝飯を食べて遊んだ。市場に金川氏と行って洋服地を9疋に70円で買って来た。金川氏の家で夕食を食べ、遊んでから寝た。

3月3日水曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市慰安所の桜倶楽部の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。一日中遊び、彼の家で夕食を食べて寝た。

3月4日木曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市慰安所の桜倶楽部の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。大邱人の大原氏は帰国手続きを終えて帰郷のため、ラングーンまで行ったが、今も行かないでそのままペグーに来た。一日中遊んで金川氏の処で夕食を食べて寝た。

3月5日金曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。ラングーンから大山氏が来た。先日買った服地を持って洋服屋へ行って洋服を作ってくれと頼んだ。大山氏は文楽館で宿泊するようだ。

3月6日土曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市慰安所の金川氏の処で起きた。大山氏が文楽館から、今日ラングーンに行こう、来なさいと言われたので、文楽館に行って、大山氏に会い、十日後に行きましようと言って、文楽館で朝飯を食べて遊んだ。ラングーンにいる写真師の豊川氏がカラウ

(Kalaw) に行くというので、その便に烏川○子へ手紙を出した。桜倶楽部で夕食を食べて遊んでから寝た。

3月7日日曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。故郷の家内と友達の許茁、少室^{*9)}のイ・インジョに葉書を出した。一日中遊んで金川氏の処で夕食を食べて寝た。

3月8日月曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起きて朝飯を食べた。今日はラングーン陥落1周年の記念日だ。一日中遊んで夕食を食べて寝た。

3月9日火曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起きて朝飯を食べた。一日中遊んで夕食を食べて寝た。金川氏に茹で鶏で酒でも一杯やろうと言われ、夜寝る前に食べた。

3月10日水曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起きて朝飯を食べた。ラングーンの金沢君がマンダレーからの帰り道にペグーに立ち寄って私がいると思って尋ねてきた。終日遊んで夕食を食べて寝た。55 師団から金川氏の慰安所をマンダレー近くのイエウ (Ye-U) という所に移転しろという命令があり、今日、某所の部隊長が来て、行こうと言っていたが、慰安婦一同は絶対反対で、行けないとのこと。

3月11日木曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起きて朝飯を食べた。ラングーンで製菓業をやっている福本君が来て一緒に遊んだ。終日遊んで夕食を食べて寝た。

^{*9)} 原文は「小室」。

3月12日金曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊び、夕食を食べて寝た。金川氏は今日、師団連絡所に呼ばれたが、帰ってきて言うには、16日頃には移動先のイエウに向かって出発するという。

3月13日土曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起き、朝飯を食べた後、終日遊び、夕食を食べて寝た。ここの気候は夜明けや朝方はとても涼しいが、昼には非常に暑くて少し歩いても汗がだらだら流れる。朝鮮も今は、酷寒は殆ど過ぎているはず。これから20日余りの内には桜が満開となるいい時節がやってくるだろう。万里異域で懐かしい朝鮮のこの良き春期を偲ぶ。

3月14日日曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起き、朝飯を食べた。金川氏は司令部の命令に逆らえず、慰安所をイエウに移すことになり、この18日には出発するという。終日遊び、夕食を食べて寝た。

3月15日月曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。福本君がビルマ映画を観に行こうというので、彼の製菓店に寄ってから一緒に映画館へ行った。ビルマ式映画は、意味はよく分からないが、映像の出来栄は良かった。福本君の接待で夕食を食べ、文楽館に行ってカラウから来た豊川氏に会って先日の手紙が伝達事情を聞いたり、遊んだりしてから金川氏の処に戻って寝た。

3月16日火曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊び、夕食を食べて寝た。金川氏は、師団の連絡所から今度はイエウ方面への移動をしばらく中止し、当分の間ペグーにそのまま残るように言われたという。昨年3月5日に釜山で手術を受けた腹部の傷口が化膿し

たようで、硬くてちくちくと痛み、再手術の心配がある。

3月17日水曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起き、朝飯を食べた。アキャブにいる家内の弟に葉書を出した。終日遊び、夕食を食べて寝た。

3月18日木曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊び、夕食を食べて寝た。

3月19日金曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起き、朝飯を食べて一日中遊び、夕食を食べて寝た。アキャブの家内の弟と新井君の両人が慰安所のことでも忙しく、困っていると思うと、一日も早く帰らなければと思うが、余りにも道が険しく遠いので、途中の苦勞を考えると、それも大変でまだまだ思っただけだ。義理を考えると、行かないわけにはいかない。

3月20日土曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。慰安所の文楽館に行って主人の新井氏と雑談をして遊び、同氏宅で夕食の接待を受けて、夜12時頃まで遊び、金川氏の処に帰ってきて寝た。

3月21日日曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べ、終日遊び、夕食を食べて寝た。今夜はビルマの清く晴れ渡った空に真ん丸の月が特に明るく、ことさら思郷の感が強くなる。

3月22日月曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べ、終日遊び、夕食を食べて寝た。カロー近くのアンバン（Aungban）に向かう軍人に金井慰安所の烏川○子宛の手紙を託した。

ペグー市場内でペスト感染症患者が発見されたという。

3月23日火曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。ラングーンに行こうと思ったら金川氏が何日か後で行きなさいと言って止められ、中止した。慰安所の文楽館で遊び、夕食を食べた。ラングーンから金和柱度氏が夕方に来たので、私が出発した後のラングーンの事情を聞き、文楽館で遊んでいて、私は金川氏宅に帰ってきて床についたらもう夜12時半を過ぎている。

3月24日水曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。金和氏とペグーの東南にある寺刹に参拝し、見物した。文楽館に行って遊び、同館で夕食を食べて少し遊んでから金川氏の処へ帰ってきて寝た。

3月25日木曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏のところで起き、朝飯を食べて終日遊んだ。夕方に乙女亭の主人の松本氏とビルマ墓地を見物した。墓はセメント石槨を作って、その中に棺を入れていたが、出来栄がいいと思った。

3月26日金曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。金川氏の慰安所一同と記念撮影をした。また私一人の写真と、金川氏と金川栄周君の3人で撮影をした。夕暮れに文楽館へ行って遊び、そこで夕食を食べて金川氏の家に戻ってきて寝た。翌月の初めにはペグー市の慰安所、2~3ヶ所が別の所に移動するという。

3月27日(旧暦、2月22日)土曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起き、朝飯を食べた後、ラングーンに行って来ようと

思って、文楽館に行ったらここの主人の新井氏が明日一緒に行こうと言うので行くこともできず、終日遊び、夕食を食べて金川氏の処へ帰ってきて寝た。

3月28日(旧暦、3月23日)日曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起き、慰安所の文楽館に行って朝飯を食べた。文楽館の主人の新井氏と一福亭の主人の山本氏と3人で、午前10時半頃、ビルマ人の乗合車に乗ってラングーンに行った。帰国のため、ラングーン市のカマヨ(Kamayut)に臨時滞在中の新井清次氏夫婦と大邱人の大原泰成氏を訪問し、同氏の処で夕食を食べて寝た。文楽館主人の新井氏と一福亭主人の山本氏は夜汽車でペグーに帰った。

3月29日月曜日、晴天

朝、ラングーン市カマヨの大原泰成氏の処で起き、市内の白水慰安所に行って朝飯を食べた後、ラングーン会館に行って大山虎一氏に会った。大山氏と、軍政監部の前に設置され、今は休業中の食油製造工場(中国人の陳瑞信が所有)を引き受けて経営できるよう、鑑定し、大山氏の家に帰ってきて夕食を食べて大山氏と宿舎に戻って寝た。

3月30日火曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレー(Golden Valley、現在のShwetaunggya)の宿舎で起き、プロム・ロード(Prome Road)503にある陳瑞信のところへ行って食油製造工場の貸借の件について協議をした後、大山氏とラングーン会館に来て朝飯を食べた。大山氏の家で夕食を食べてから大山氏と宿舎に戻って寝た。

3月31日水曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起きて朝飯を食べた。大山氏とプロム・ロードの陳瑞信の家に行ってから、カマヨにある大原泰成の処へ行ってしばらく遊び、陳瑞信の家にまた行き工場と家屋の貸借の件で契約をしようとしたが、明日に持ち越して大山氏の家に帰ってきて夕食を食べ、宿舎に戻って寝た。

4月1日木曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起きて朝飯を食べた。プローム・ロードの陳瑞信の家に行って工場家屋を毎月500円で借りる賃貸借契約を結び、保証金として1,000円を支払った。大山氏と菊水料理店がどこにあるか探した後、大山氏の家に戻ってきて夕食を食べ、宿舎に戻って寝た。今日から大山氏と食堂と製油工場を共同経営することを約束し、事業準備を進めることを決定した。

4月2日金曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起き、プローム・ロード503の製油工場へ行った。蒸気機関士と火夫が来て蒸気機関に火をつけて運転し、井戸水をタンクに入れた。大山氏と大山氏宅に戻って朝飯を食べた。アキャブから来た軍人が手紙を持ってきて、自分の宿所に置いてあったというので、工場への寄り道に行ったら、軍人がまだ戻っていないので手に入れられず、大山氏7の家に戻って夕食を食べ、再び行って手紙を手にしたところ、アキャブの○桓君が送った手紙だった。一同が無事だということで安心した。大山氏と宿舎に戻ってきて寝た。

4月3日土曜日、晴天

朝、ゴールデンバレーの宿舎で起きて、日本サービスに臨時宿泊している、昨年朝鮮から一緒に来た一団の一人である大石氏と豊川に会って大山氏と支那人街に行って一丸荘食堂で朝飯を食べた。アキャブの○桓君に手紙の返事と頼まれた物品を買って送るため、アキャブから来た軍人が来るというのでラングーン会館で待っていたが、結局来なかったため、軍人の広沢氏の宿舎に行って託し、ラングーン会館に戻ってきて夕食を食べた後、宿舎に戻ってきて遊んだ。製油工場を大山、豊川、大石と私の四人で共同経営することを今日再び約束をし、進行中だ。

4月4日日曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市のゴールデンバレーの宿舎で起き、大山氏と支那街およびスレー・パゴダ (Sule Pagoda) 街を通った。大山氏の経営していた青鳥食堂も大修理をしなければならぬようだ。ラングーン会館で朝飯を食べた。午後 3 時にメニゴン (May Ni Gone) でビルマ人のバスに乗ってペグーに到着し、桜倶楽部の金川氏の処へ来て、夕食を食べて寝た。

4月5日月曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市桜倶楽部の金川氏のところで起きて朝飯を食べた。桜倶楽部の慰安婦の○子は腹部の苦痛が大きく、午後を開腹手術するという。○子は昨年、マンダレーにいた時も盲腹炎で手術をしたが、今回またも手術を受ける不幸の身の持ち主だ。夕食を食べて文楽館に遊びに行ったら、ラングーンから大原氏が来ていたので、一緒に夜 12 時頃まで遊び、桜倶楽部に帰ってきて寝た。

4月6日火曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市桜倶楽部の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。文楽館に行って遊び、夕食を食べて桜倶楽部の金川氏の処に戻って寝た。先日ラングーンでビルマ新聞^{*11)}を見たら、東京市を東京都に名称を改正したという。

4月7日水曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の桜倶楽部で起き、朝飯を食べて 12 時にビルマ人の乗合自動車に乗ってラングーンに帰ってきた。プローム・ロード工場には豊川および大石の両氏が引っ越してきたが、夕食を食べて大山氏とゴールデンバレー宿舎に戻って寝た。

4月8日木曜日、晴天

朝、ラングーン市のゴールデンバレー宿舎で起き、大山氏のところで朝飯を食べて、プローム・ロード工場に戻り、夕食を食べてゴールデンバレー宿舎に戻って寝た。

*11) 当時、ビルマで発行されていた日本語新聞。

4月9日金曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起きてプローム・ロード工場に行って朝飯を食べ、大山氏とラングーン会館に行って大山氏が経営していた青鳥食堂の家主であるインド人の処へ行って家屋の再修理をするように付託した。工場へ行って夕食を食べ、大山氏とゴールデンバレー宿舎に戻って寝た。

4月10日土曜日、曇晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起き、大山氏とプローム・ロード工場に行って朝飯を食べて遊んだ。工場で夕食を食べてから宿舎に帰ってきて寝た。昨夜にも雨が少し降っていたが、今日も小雨で曇りだ。多分これからビルマ独特の雨季に入る模様だ。

4月11日日曜日、曇晴天、夕方に暴雨

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起きて、プローム・ロード工場に行って朝飯を食べた。カマヨの大原泰国氏の処へ行ったが、昨年慰安隊として一緒に来た松本恒、山田氏が今回帰国のため、ラングーンに来て手続中であるという。山田氏とその間のことを話して遊び、工場に戻って夕食を食べた。昨年12月から5ヶ月余りの間は、雨一滴も降ることなく、かんかん照り付けていたのに、これから雨季が近づいているのか、今日の午後6時50分頃から約1時間暴雨が降り、その間の旱毒を解消してくれた。大山氏とゴールデンバレー宿舎に帰ってきて寝た。

4月12日月曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起きて、大山氏と彼の家に行ってから市内の彼の食堂へ行って大工を請じて修理することにし、明日から働くことにした。食堂から大山氏の家に行って朝飯を食べて、大山氏と軍政部へ行って電気工業許可願を提出した。大山氏宅で夕食を食べ、平沼洋服屋に行って洋服を直した後、工場にしばらく寄ってから宿舎に帰ってきて寝た。

4月13日火曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起き、大山氏と青鳥食堂に行ってから、ラングーン会館に戻り、朝飯を食べて遊んでから、夕食を食べて宿舎に戻って寝た。ビルマ人は今日から16日まで水祭り¹²⁾を行なうが、街で通り掛かりの人に水をかける慣習がある。誰に水をかけても抗議もせず、笑って通り過ぎる。

4月14日水曜日、晴夕小雨

朝、ゴールデンバレーの宿舎で起きて大山氏の家に行き朝飯を食べた。修理中の青鳥食堂に行き中華街で髪を切った。大山氏とゴールデンバレー宿舎に帰ってきて夕食を食べて遊んでから寝た。

4月15日木曜日、晴天

朝、ゴールデンバレーの宿舎で起き、大山氏と青鳥食堂を修理するところに行き、使用人のビルマ人ソーリンを連れて電気商のインド人のところに行きラングーン会館に戻り、朝飯を食べた。大山氏とまた電気器具商人の家に行った。ラングーン会館で遊び、夕食を食べて宿舎に帰ってきて寝た。ペグーの慰安所の乙女亭、文楽館、将校倶楽部など3、4軒の慰安所は今般アキャブ地方に移され、今日乙女亭の松本氏がラングーンに来て、帰り道に会った。桜倶楽部の金川氏はペグーにいることになったという。

4月16日金曜日、晴天

朝、ゴールデンバレーの宿舎で起きて豊川のところへ行き朝飯を食べた。カマヨ電気器具商を探したが見つからず、帰り道に三益食堂でペグー文楽館の主人夫婦に会った。アキャブに移されることになり、そちらに向かっている途中だという。大山氏宅で夕食を食べて宿舎に戻って寝た。ラングーン市内各処にペスト病が発生し、兵丁は一人も外出できない。

4月17日土曜日、晴天

¹²⁾ ビルマの新年を祝う儀式として4月13日～16日に行われる(英語表記、Burmese Water Festival)。

朝、ゴールデンバレーの宿舎で起き、大山氏とラングーン会館に来て朝飯を食べた。夕方に修理中の青鳥食堂に寄ってからラングーン会館に帰ってきて夕食を食べ、ゴールデンバレー宿舎に戻って寝た。今日はビルマの正月だと言う。バ・モー¹³⁾長官以下氏一行は日本訪問の任務を終え、一昨日の14日に帰蘭した。

4月18日(旧暦、3月14日)日曜日、晴天

朝、ゴールデンバレーの宿舎で起き、大山氏は用事が出て出かけ、私はボーイに朝飯を作らせて食べた後、何ということもなく終日宿舎で遊んだ。宿舎で夕食を食べて大山氏と一緒に寝た。

4月19日 月曜日、晴天

朝、ゴールデンバレーの宿舎で起きて、大山氏と青鳥食堂に少し寄ってからラングーン会館に来て朝飯を食べた。大山氏はカマヨで先日契約した製油工場の解約のために行ってから夕方に戻ってきたが、1ヶ月分の家賃500円を支払って解約し、契約金のうち500円を返してもらったという。夕食を食べて大山氏と宿舎で寝た。

4月20日 火曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起き、大山氏とラングーン会館で朝飯を食べた。朝鮮から一緒に来た慰安所経営者の内園氏がラングーン会館に来た。内園氏の案内で東洋韓食堂で夕食の接待を受け、内園とゴールデンバレーの宿舎に戻って寝た。内園氏はラングーンからマールメンに移されて営業中だという。

4月21日 水曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起きてラングーン会館に来て朝飯を食べた。修理中の青鳥食堂へ行ってから終日ラングーン会館で遊んで夕食を食べ、ゴールデンバレー宿

¹³⁾ Ba Maw (1893-1977)、ビルマの独立運動家、政治家。日本軍によるビルマ占領に協力してイギリス軍と戦った。1943年8月に日本の支援に支えられビルマが独立すると、国家元首に就任した。

舎に帰ってきて寝た。

4月22日木曜日、晴天

朝、ゴールデンバレーの宿舎で起き、大山氏とラングーン会館で朝飯を食べた。大山氏と豊川誠三の処へ行って大山氏が経営中の青鳥食堂の経営権と器具一切を代金 6,500 円で豊川氏に売り渡した。軍政監部警察課に行って帰国許可の件について問い合わせをした。大石、豊川、三田、大山などと菊水料理店に夕食を食べに行ったが、軍人・軍属以外は出入り禁止だということで、支那街に行って夕食を兼ねて料理を食べた。

4月23日金曜日、晴天

朝、ラングーン市のゴールデンバレー宿舎で起き、大山氏とラングーン会館に行って朝飯を食べた。内園氏も一緒に寝てラングーン会館で朝飯も一緒に食べた。風土病が酷くてなかなか治らず、今般帰郷することを決めて、日本人会に行って帰国用紙を貰ってきた。ラングーン会館で夕食を食べ、ゴールデンバレーの宿舎で寝た。

4月24日土曜日、晴天

朝、ラングーン市のゴールデンバレー宿舎で起き、大山氏とラングーン会館に来て朝飯を食べた。今回プローム方面に行ってきた文野・広田の両氏が言うには、アキャブ方面で慰安所の主人が女子二人を連れて出てきたが、途中で遭難にあって主人と女子一人は死んで、残り一人は重傷を負ったという。或いは家内の弟の○本氏ではないか心配だ。兵站病院医務室の軍医の診断を受けたが、診断書は次回発行するという。カロー・アウンバンにいる金井氏が、今般用務があってラングーンに来たので、一緒にラングーン会館で夕食を食べて宿舎に戻り、一緒に寝た。

4月25日日曜日、晴夕陽雷雨天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起き、大山氏と金井氏とでラングーン会館に来て朝飯を食べた。昨日の疑問に対してどうしても安心できず、今夜8時にラングーン発の列

車でプロームに向かった。

4月26日 月曜日、晴天

機関車の故障のため、駅に着いて30分余り遅滞し、結局プロームに電話をして他の機関車が来たので運転して行ったが、朝10時頃にプローム駅に到着するはずだったのに、午後6時頃に着いた。慰安所の東亜官と蓬莱亭を尋ねて家内の弟の消息の大略を聞いて、蓬莱館主人の野沢氏と病院に行って家内の弟と一緒にやってきた傷痍軍人に聞いたところ、確実なことが分かってきた。しかも○桓君と女子2人を合わせて4人だ。胸が詰まる感じで、どうしようもない。午後9時10分発の列車でプロームを出発。

4月27日 火曜日、晴天

今日も朝10時頃に到着するはずの列車が、途中の故障で午後1時頃に着いた。心が痛く、胸が張り裂けそうなのに、車まで遅延するものだから死にそうだ。これをどうしたら良いか。故郷の家族に何の面目があって対面できるか。一緒に死ねずに生きているのが間違いだ。この不幸な消息を父母妻子が聞いたら、死にたいと思うはず。しかも○桓君は24歳の前途洋々の青年なのだ。

4月28日 水曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起き、ボーイに朝飯を作らせて食べた。終日どこにも出かけず、家内の弟の不幸な運命をかこって嘆息した。数万里の他国で激浪と戦いながら、ビルマまで来て無事過ごしていたが、帰国の途中に遭った不幸、実に胸が痛む。私一人で故郷に帰ることを考えると全くあまりのことにあきれてしまう。

天長節

4月29日 木曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起きて朝飯を食べた。午後5時頃にビルマ人のモソインと住宅を視察したが、大山氏と相談をして宿舎を移すことにした。夕食を食べて大

山氏と宿舎で寝た。三田幸稔氏も大山氏と一緒に来て寝た。

4月30日金曜日、晴後夕曇

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起きて、大山氏と昨日ビルマ人のモソインと見た住宅を視察し、また良い住宅がないかとビクトリア湖畔にある兵站管理の一家屋を見て、平沼洋服屋に寄ってからラングーン会館に来て朝飯を食べた。ゴールデンバレーの宿舎で戻り、夕食を食べて寝た。

5月1日土曜日、晴後少雷雨

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起き、軍司令部の矢野少佐副官と面会して家内の弟一行の遭難の件について話したら、山添准尉副官に相談しろというので、山添副官に話したところ、タンガップまで行って状況を詳しく調べてきてくれるということだ。行ってくることにして、ラングーン駅を20時発の列車で出発した。

5月2日日曜日、晴天

午前12時頃プローム駅に着いて、蓬萊亭の野沢氏の処に行って朝飯兼昼飯を食べた。渡河地点にまで出てタンガップ行きの軍部自動車の便乗を頼んでおいて、河を渡って、20時頃にパダン（Padung）を出発し、曲がりくねったアラカン険路を夜間運行で通る。1月に一度通った後、二度とここは通らないと決めていたが、今般の不幸な出来事でまたも来てしまった。

5月3日月曜日、晴天

自動車の故障で夜5時頃から開明時まで車の中で横になっていて、再び運行した。12時頃にタンガップに無事到着し、まず患者療養所を尋ねて張○岳に会って悲しみを禁じえない事情を話した。遭難の事情もよく分かった。家内の弟と○桓君、女兒の○○、金○梅の4人は不帰の客となったという。アキャブ司令部からアキャブ方面に赴任して行く山口中尉に、家内の弟の遭難のことを調べろという電報が、彼自身に届いたという。療養所に来たので遭難の事情を話して、悲しい怨情と遺骨その他処理の件について涙ながらに嘆願した。一日も早

く出発の支度をし、自動車輸送部に便乗許可を得て、張○岳を連れて、またもアラカン山道を越えてくねくねと曲がった道を通り抜けてパトンに向かった。この道が余りにも切なく、胸いっぱい悲哀がアラカン山の雄大な姿に重なり、千秋が過ぎても消えることはないだろう。

5月4日火曜日、晴天

一晩中走った部隊の車は貨物車にもかかわらず、山道をよくも走って無事パトンに着いた。イラワジ川 (Irawaddy River) を渡ってプロームにある蓬萊亭の野沢氏宅に入った。負傷者をプロームで軍医に頼んで入院治療をするように、ビルマ人の看護婦一人をつけて、蓬萊亭で夕食を食べた後、21時発の車でラングーンに向かった。アラカン山路を心配していたが、神の助けか、無事に往復した。

5月5日水曜日、晴天

列車の中で夜を過ごして12時頃にラングーンに到着した。ラングーン会館で朝飯を食べ、4日間眠れず疲れたので少し横になった。ラングーン会館で夕食を食べてゴールデンバレーの宿舎に帰ってきて寝た。

5月6日木曜日、晴天

朝、ゴールデンバレーの宿舎で起き、軍司令部副官室の山添准尉のところに行って今回の家内の弟一行4名の不幸な出来事に対して、タンガップまで行ってきた事実を告げた。ラングーン会館で朝飯を食べて一日中遊び、夕食を食べてゴールデンバレーの宿舎に戻って寝た。

5月7日金曜日、晴天

朝、ラングーン市ゴールデンバレーの宿舎で起きて朝飯を食べた。メニゴンで現地人の自動車に乗って12時にペグーに向かって出発した。ペグー到着は14時40分頃だ。慰安所の金川氏宅に行って今回の家内の弟一行に対する不幸な出来事を話して遊び、夕食を食べて寝た。

5月8日土曜日、雨天

朝、ペグー市金川氏の処で起きて朝飯を食べた。金川氏と、文楽館の元主人の新井氏と一福亭の主人の山本氏の両人がいるところに行って終日遊んだ。新井、山本の両氏の処で夕食を食べて夜1時頃まで遊び、金川氏の処に戻って寝た。

5月9日日曜日、晴天朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起きて朝飯を食べた。新井、山本の両氏の処に行って遊び、夕食を食べて夜1時頃まで遊んだ。金川氏の処に戻って寝た。

5月10日月曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏のところで起き、朝飯を食べて山本、新井の両氏の処に行って遊んだ。右両氏の家で夕食を食べて遊び、夜1時頃に金川氏宅に戻って寝た。

5月11日火曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏のところで起き、朝飯を食べて新井、山本の両氏の処へ行って遊び、夕食を食べた後、少し遊んでから金川氏の家に戻ってきて寝た。プロームで治療を受けている張○岳（○子）の簡単服を新井、山本の両氏婦人に依頼し、作ってもらうことにした。

5月12日水曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起き、朝飯を食べて終日遊んだ。新井、山本の両氏はラングーンに行くという。金川氏宅で夕食を食べて寝た。

5月13日木曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏のところで起き、朝飯を食べて終日遊んだ。ペグー県知事（ビルマ人）は今般来日の途に就くことになり、今日夕方に送別宴会を開催したという。金川氏宅で夕食を食べて寝た。

5月14日金曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏のところで起きて朝飯を食べた。新井、山本、中宗の三氏は、一昨日ラングーンに行って今日帰ってきた。山本、新井の両氏の処へ行って遊び、中宗氏とペグー郊外を散歩し、帰ってきて夕食を食べた。夜12時頃まで遊び、金川氏の処に戻って寝た。張○岳の簡単服を山本氏の奥さんから貰い受けておいた。また女子内衣4枚^{*14)}をくれたので、貰ってきた。

5月15日土曜日、晴天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。プロームで治療中の張○岳を連れてくるためにペグーを今日出発した。新井、中宗の両氏とインセン(Insein)の村山慰安所で夕食を食べた後、ラングーン会館の大山氏の処に行ってみたら、大山氏の家族は皆昨日他の家に移舎したという。大山氏の妹は4、5日前に男児を安産したという。私は三益商店に行って新井、中宗の両氏と一緒に寝た。

5月16日日曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市の三益商会で起きて朝飯を食べた。新井、中宗の両氏とゴールデンバレーの大山氏の処に行った。両氏は少し遊んで帰り、私は大山氏の処で夕食を食べて寝た。大山氏の妹の産児を見たが、健康な幼児で、産母も健康だった。大山氏は帰国の手続きを完了し、明日検疫の後すぐ出発するという。

5月17日月曜日、晴天

朝、ビルマのラングーン市のゴールデンバレーの宿舎で起きて朝飯を食べた。正金銀行に行ってペグーの金川氏に頼まれた預金と私の名義の預金をして宿舎に帰ってきて遊んだ。午後平沼洋服屋で洋服を直してもらい、三益商会に行って新井、中宗の両氏に会ってカマ工駅でプローム行きの列車に乗ってプロームに向かった。

*14) 下着、腰巻のこと。

5月18日火曜日、晴天

プローム行きの列車の中で夜を過ごし、10時頃にプロームに着いた。蓬萊亭の野沢氏のところに行って治療を頼んでいた張○岳に会った。その間よく治療を受けてかなり治っていた。治療をしてくれた軍医に感謝の挨拶をして、食事とその他世話になったことについて野沢氏に感謝のお礼をした。野沢氏の家で夕食を食べ、張○岳を連れてプローム駅発の21時半の列車でラングーンに向かった。

5月19日水曜日、晴天

汚い列車内で夜を過ごし、午後1時頃にラングーン郊外のインセン駅で降りて、張○岳とカマヨの三益商会に到着した。プロームの対岸のバトンで慰安所を営む光山氏がラングーンに来ていたので会った。新井、中宗の両氏とインセンの村山氏の家へ行って夕食を食べて寝た。決まった宿泊先がなく、ただ知り合いの家を転々として迷惑ばかりかけて、面目がない。

5月20日木曜日、晴後少雨

朝、インセンの一富士楼の村山氏の家で起きて朝飯を食べた。軍司令部副官部の山添准尉の処へ行った。まだ、アキャブから司令部へ、家内の弟の遭難の件の報告がないという。三益商会の小山氏の処で新井、中宗、光山の三氏と遊んだ。小同人の家で夕食を食べて遊んで寝た。

5月21日金曜日、晴後曇雷雨

朝、ラングーン市プローム・ロードにある三益商会の小山氏の家で起き、朝飯を食べた。インセンの一富士楼の村山氏宅に来て遊び、ラングーン発午後6時のビルマ人の自動車に乗って、新井、中宗、張○岳と一緒にペグーに向かった。自動車が途中で故障し、5時間も待たされて、やっと修理をしてきたが、ペグーに着いたら夜1時半頃だった。新井、山本氏宅でご飯を作って食べて寝た。

5月22日土曜日、曇夜雨

朝、ビルマのペグー市桜倶楽部の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。終日遊び、金川氏宅で夕食を食べて寝た。張○岳も同氏の家で宿泊している。

5月23日 日曜日、曇後雨天

朝、ビルマのペグー市の金川氏宅で起きて朝飯を食べた。昨日から雨気が濃厚で雨が降り始めたが、おそらく4ヶ月間も続くというビルマの有名な雨季に入る模様だ。毎日雨が降って4ヶ月間も降り続くというので、実に長い梅雨だ。金川氏宅で夕食を食べて寝た。

5月24日 月曜日、雨天

朝、ビルマのペグー市の金川氏のところで起きて朝飯を食べた。新井、山本の両氏は明日、全家族とともにラングーンに移舎するという。金川氏の処で夕食を食べて寝た。

5月25日 火曜日、曇天

朝、金川氏の処で起きて朝飯を食べた。新井氏の処に行き遊んだ。新井氏はラングーンに今日移転しようとしていたが、都合によって明日行くことにした。金川氏の処で夕食を食べて寝た。

5月26日 水曜日、曇少雨天

朝、ビルマのペグー市の金川氏の処で起きて朝飯を食べた。新井、山本の両氏夫婦と張○岳を連れてラングーン市外のインセンに来て、一富士楼の村山氏の処で夕食を食べて寝た。

5月27日 木曜日、曇少雨天

朝、ビルマのラングーン市外のインセンにある村山氏宅で起きて洗面の後、市内のプローム・ロードにある三益商会の小山武男氏宅に来て、新井氏と同氏宅で昨夜泊まった山本氏夫婦と朝飯を食べた。新井、山本の両氏と平沼洋服屋に寄ってから正金銀行に行って金川氏に頼まれた貯金をした。大山氏の妹の夫の処に行ったら、大山氏は2、3日前に陸路でシンガポールに向けて出発したという。トランクを持って小山氏宅に寄り、市内の白水の大原君の処に

行って夕食を食べて寝た。

5月28日金曜日、雨曇天

朝、ビルマのラングーン市内の白水慰安所の大原君の処で起きて朝飯を食べた。大原夫婦とインセンに来たが、大原君は張○岳に慰問の挨拶をした後、ラングーンに戻った。インセンの村山氏宅で夕食を食べて遊んで寝た。

5月29日土曜日、雲少雨天

朝、ビルマのラングーン市外のインセンにある一富士楼の村山氏宅で起きて朝飯を食べた。張○岳と市内の白水の大原君の処に行って遊んだ。大原君の処で夕食を食べてラングーン会館の岩下氏の処で遊び、大原君の処に帰ってきて寝た。岩下氏に5月分の新聞代金2円50銭を支払った。

5月30日日曜日、曇後少雨

朝、ビルマのラングーン市にある白水の大原君の処で起き、朝飯を食べるの食べないので、張○岳を連れてインセンの村山氏宅に来た。午後4時頃、張○岳はペグーに向かって一人で出発した。当分の間、○岳はペグーの金川氏宅に滞在することにした。村山氏宅で夕食を食べて寝た。

5月31日月曜日、雨曇天

朝、ビルマのラングーン市外にあるインセンの村山氏宅で起きて朝飯を食べた。終日村山氏の慰安所の帳場の仕事をした。村山氏宅で夕食を食べて遊び、寝た。

6月1日火曜日、雨雲

朝、ビルマのラングーン市外にあるインセンの村山氏宅で起きて朝飯を食べた。終日村山氏の慰安所の帳場の仕事をした。今日から村山氏が借りた同氏宅の前にある空き家を片付けて新井氏夫婦とともに宿舎として使うようになった。村山氏宅で夕食を食べ、帳場の仕事をし

て寝た。

6月2日水曜日、雨曇天

朝、インセンの宿舎で起きて村山氏の家で朝飯を食べた。正金銀行に寄って村山氏の慰安所の慰安婦二人の貯金をして、平沼洋服屋で先日注文したズボンを受け取り、小山氏の家に来た。成武堂に行ってビルマ新聞を購読しようと思って、インセンへの配達を頼んだ後、小山氏の家に行き、トランクを持ってインセンに帰ってきた。先日シンガポールに行った大山氏から電報が届いたが、じきに呼び寄せてくれるという。

6月3日木曜日、晴曇少雨天

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。ラングーン市ゴールデンバレーの大山氏の妹の夫が居る処に行ったら、もう出発してしまっていた。インセンに帰ってきて、シンガポールの大山氏に回電を打った。村山氏宅で夕食を食べ、帳場の仕事をして、夜1時頃に宿舎で寝た。

6月4日金曜日、晴曇夕雨天

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。村山氏宅で終日遊び、夕食を食べて宿舎で寝た。ペグーに行った張○岳が来て、村山氏宅で夕食を食べて寝た。

6月5日土曜日、晴曇天

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。張○岳は午後2時頃、自動車でペグーの金川氏の処に行った。本日は山本元帥の国葬の日¹⁵⁾なので、終日敬虔な気持ちで過ごした。

6月6日日曜日、雨天

¹⁵⁾ 山本五十六(1884-1943)、日本軍連合艦隊司令長官。1943年4月18日にソロモン諸島のブーゲンビル島上空でアメリカ陸軍航空隊に襲撃・撃墜され、戦死した。

朝、インセンの宿舎で起きて朝飯を食べ、終日村山氏の慰安所の帳場の仕事をした。夕食を食べて、夜 1 時頃まで帳場の仕事をし、宿舎で寝た。

6 月 7 日月曜日、雨曇天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。ペグーにいる中宗氏が今朝新井氏の荷物を全部持ってきた。昨夕出発したが、インセン付近で自動車が故障して来れず、車内で寝て朝になってから来たという。終日村山氏の慰安所で仕事をし、夕食を食べて、夜 1 時頃までいて、宿舎で寝た。

6 月 8 日火曜日、曇晴雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。村山氏の長男の村山浩二君と野戦郵便局に寄ってから、正金銀行に行つて村山氏の貯金をした。航空司令部に行つて送金に必要な証明書を貰い、午後 7 時頃、美松食堂に行つて夕食を食べ、インセンに帰ってきた。夜 1 時頃まで村山氏の慰安所で仕事をして、宿舎で寝た。シンガポールの大山氏から電報が届いた。

6 月 9 日水曜日、晴曇雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。村山氏の長男の浩二君とラングーン市内に行き、軍司令部副官部の山添准尉の処へ行つてから、野戦郵便隊に行つて村山氏の送金をした後、私の貯金をした。支那街に寄つて帰路、原田歯科で治療を受けてインセンに帰ってきた。シンガポールの大山氏に返電を打つた。

6 月 10 日木曜日、晴曇少雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。終日村山氏の慰安所で帳場の仕事をし、夜 1 時に宿舎で寝た。

6 月 11 日金曜日、晴曇雨天

朝、ビルマのラングーン市外のインセンの宿舎で起き、朝飯を食べた。ペグーに行った張○岳が来て、金川氏からの手紙を持ってきたので読んだら、じきに来るか、○岳の帰りに返事をしてほしいという、張○岳の委託に対することだ。アキャブから来た憲兵が来たので、家内の弟の遭難事件と我が慰安所のことを話して、小○子に送る手紙を託した。張○岳とペグーに行こうと思ったが、時間が遅くて行けず、明日午前中に行くことにした。

6月12日土曜日、晴曇夜雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。新井○治氏と張○岳と一緒に自動車でペグーの金川氏のところに向かった。山本氏と中宗の両氏は大福餅業を開始していた。金川氏宅で夕食を食べて寝た。

6月13日日曜日、晴曇後雨天

朝、ペグー市の金川氏宅で起き、朝飯を食べた。新井氏と張○岳と一緒に12時半にペグーを出発し、自動車でインセンの村山氏宅に帰ってきた。同氏宅で夕食を食べ、宿舎で寝た。

6月14日月曜日、晴曇後雨天

朝、ラングーン市インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。夜1時頃まで村山氏の慰安所で帳場の仕事をして、宿舎で寝た。

6月15日火曜日、晴雨天

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。村山浩二君と一緒にラングーン市内に行くことにした。軍司令部へ行ったら、慰安所経営者会議があった。山添准尉に会って少し話をし、村山浩二君と市内各処を見て、インセンに帰ってきた。夕食を食べて夜1時頃まで遊び、宿舎で寝た。

6月16日水曜日、晴曇少雨天

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。大原正吉君が来て、山本代雄氏に会

ったといい、昨年貸し付けたお金を取りに行こうというので、山本氏の処に行ってその間の事情を話し、400円を返してもらって、インセンに帰ってきた。山本氏は今般帰国するという。村山氏宅で夕食を食べ、夜1時半頃に宿舎で寝た。

6月17日木曜日、曇雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、朝飯を食べた。村山氏の慰安所である一富士楼には今般、松月館の慰安婦が三名来て営業をすることになった。村山浩二君と松本氏がペグーの山本のところに行ってきたが、山本餅店の隣家でペストが発生して通行禁止となり、営業もできなくなっているという。村山氏宅で夕食を食べ、夜1時半頃に寝た。

6月18日金曜日、曇雨天

朝、インセンの宿舎で起き、朝飯を食べた。張○岳と今般帰国する山本代雄の処に行って少し遊び、夕方にインセンに帰ってきた。村山氏宅で夕食を食べ、夜1時頃までいて、宿舎で寝た。

6月19日土曜日、曇雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。今般タボイからラングーンに来て、地方人慰安所¹⁶⁾を経営する三田氏がインセンの私のいるところに来て、遊んで寝て行った。村山氏宅で夕食を食べ、夜1時頃に宿舎で寝た。

6月20日日曜日、曇少雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べて、終日村山氏の慰安所で帳場の仕事をした。村山氏宅で夕食を食べ、夜2時頃に寝た。光山寛治氏は今回の慰安婦の再編成で、婦人を連れて帰国するという。

6月21日月曜日、曇少雨

¹⁶⁾ 地元のビルマ女性を慰安婦として雇う慰安所のことをいう。

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。ラングーン市内に行って三田氏の地方人慰安所を設備するところに寄って少し遊んだ。軍政監部敵産課の宮崎氏に会いに行ったら、あいにくも外出中で不在のため会えず、インセンの村山氏宅に戻った。村山氏宅で夕食を食べ、夜 12 時頃に宿舎で寝た。

6月22日火曜日、曇天

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。終日村山氏の慰安所で帳場の仕事をして、宿舎で寝た。

6月23日水曜日、曇雨天

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。終日村山氏の慰安所で帳場の仕事をし、夜 1 時頃に宿舎で寝た。

6月24日木曜日、晴夕雨天

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。村山氏宅で終日慰安所の帳場の仕事をして、夕食を食べ、夜 1 時頃に宿舎で寝た。

6月25日金曜日、晴曇天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。村山氏の慰安所で終日帳場の仕事をした。夕方にラシオ（Lashio）で慰安所を経営する大石氏が小山氏と一緒に来て遊び、小山氏は帰り、大石氏は泊まった。大石氏も今般慰安婦募集のために帰国するという。

6月26日土曜日、晴雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、朝飯を食べた。村山氏の慰安所で終日帳場の仕事をした。村山氏宅で夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場の仕事をして、宿舎で寝た。

6月27日日曜日、晴曇天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。村山氏宅で終日帳場の仕事をした。夜1時半過ぎに宿舎で寝た。

6月28日月曜日、晴曇夜雨

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。ペグーの桜倶楽部の金川氏が来て、遊んだりおしゃべりしたりして宿舎で一緒に寝た。アキャブの我が慰安所の慰安婦の○子がアキャブで食堂をやっている葦原氏と一緒に来た。連隊^{*17)}の移動と共に葦原も移動し、タウンジー (Taunggyi) で経営するという。アキャブに対する消息を葦原氏から詳しく聴いた。慰安所の女子達も部隊と共に1、2ヶ月後に出るようだ。

6月29日火曜日、晴曇夜雨

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。金川氏と(緬甸方面)軍司令部副官部の山添准尉の処へ行った。正金銀行に立ち寄って市内を回ってから、インセンに帰ってきた。村山氏宅で夕食を食べ、金川氏と宿舎で寝た。

6月30日水曜日、晴曇天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。アキャブから来た葦原氏と軍司令部の山添准尉のところに寄ってから、三益商会で村山氏、金川氏、新井氏等に会って市内各処を回って遊び、インセンの村山氏宅に帰ってきた。司令部で、アキャブから来た○子は軍医の診察を受け、当分の間はラングーンに滞在するよう言われた。

7月1日木曜日、晴曇夜小雨

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べ、終日遊んだ。ペグーの金川氏は午後6時の自動車でペグーに向かった。村山氏宅で夕食を食べて遊び、夜1時頃、宿舎で寝た。

*17) 緬甸方面軍第15軍隷下の55師団(詳細は1月12日の項参照)。

7月2日金曜日、曇後雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べ、ラングーン（緬甸方面）軍司令部に行って副官部の山添准尉から○子の診断書を貰った。カマヨの小山氏と市内の青鳥食堂へ行って帰国を待っている光山氏に会おうと思ったが、不在のため会えず、また山本氏も探したが、やはり不在ということで会えなかった。インセンの村山氏宅に戻ってきて、夕食を食べて遊び、宿舎で寝た。シンガポールの大山氏に回電を打った後、本家にも家内の弟の遭難事件のことで電報を打った。

7月3日土曜日、曇雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。○子を連れて兵站司令部に行き、副官の紹介で軍医に診断をしてもらった。インセンに帰ってきて村山氏宅で夕食を食べて遊び、宿舎で寝た。

7月4日日曜日、曇暴雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、朝飯を食べた。ペグーの山本氏夫婦と中宗氏が来て、中宗氏は村山氏宅にいて、山本氏夫婦は小山氏宅に行った。村山氏宅で夕食を食べて宿舎で寝た。

7月5日月曜日、曇小雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、朝飯を食べた。終日村山氏宅で遊んだ。釜山の妻の実家から2日に打った電報に対する答電が来た。電報を見て、どんなに驚き、また悲痛な気持ちなのか、見なくても十分想像できる。

7月6日火曜日、晴曇天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。釜山にいる家内の弟の嫁にまた電報を打ち、家内の弟ほか三名の不幸を少し詳しく知らせた。終日村山氏宅で

遊び、夕食を食べて、夜 1 時頃に宿舎で寝た。

7月7日水曜日、曇後暴雨

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。ペグーの金川氏に頼まれた正金銀行の件で銀行に寄って聞いてみた。軍交通車に乗ろうと待っていたが、突然の暴雨に降られ、服が全部濡れた。村山氏宅で夕食を食べて遊び、宿舎で寝た。

7月8日木曜日、曇後雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。ペグーの中宗氏は今日の午後 6 時、自動車で帰った。村山氏宅で終日遊び、夕食を食べて、夜 1 時過ぎに宿舎で寝た。

7月9日金曜日、曇後雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起きて村山氏宅で朝飯を食べた。村山氏宅で終日遊び、夕食を食べて夜 1 時過ぎに宿舎で寝た。釜山の家内の実家から電報が届いた。大邱にいる娘の○子¹⁸⁾にビルマ新聞を郵送した。

7月10日土曜日、曇雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。昨年の今日は、釜山埠頭で乗船し、南方行きの第一歩を踏み出した出発の日である。もう満 1 年を迎えている。顧みると、実に多難な 1 年だった。ペグーの金川栄周が来た。村山氏宅で夕食を食べ、宿舎で寝た。

7月11日日曜日、曇雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べた。ペグーの桜倶楽部で帳場の仕事をやっている金川栄周君と市内に行って金川君の買い物に付き合った。鈴木病

¹⁸⁾ 本名ではなく、日本式の名前に変えたものである。

院に行って膏薬を買い、インセンの村山氏宅に帰ってきた。新井氏宅で夕食を食べて遊び、
宿舎で寝た。新井氏夫婦は、隣家の修理を終えて帰る時に食事を一緒にすることにした。

7月12日 月曜日、曇雨天

朝、インセンの宿舎で起きて村山氏宅で朝飯を食べた。ペグーの金川栄周君はラングーン市
内に行って来て、午後5時の自動車でペグーに向かった。村山氏宅で夕食を食べて遊び、夜
1時過ぎに宿舎で寝た。

7月13日 火曜日、曇少雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、朝を村山氏宅で食べた。終日村山氏宅で遊び、
夕食を食べて夜1時過ぎに宿舎で寝た。ペグーの中宗氏が来ていて、すぐ帰った。

7月14日 水曜日、曇雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べて終日遊んだ。村山氏
宅で夕食を食べて遊び、夜1時過ぎに宿舎で寝た。マンガレー方面、つまり北ビルマ地方は
雨が降らないという。北ビルマは雨季が短い、まだ大雨季ではないようだ。

7月15日 木曜日、曇雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べて終日遊んだ。村山氏
宅で夕食を食べて遊び、夜1時頃、宿舎で寝た。

7月16日 金曜日、曇雨天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べて終日遊んだ。前に村
山氏の慰安所の慰安婦だった○子は妊娠7ヶ月だが、この頃胎動異常があって、今日鈴木病
院に入院したが流産した。村山氏宅で夕食を食べて遊び、村山浩二君と○子の横で寝た。

7月17日 土曜日、曇晴天

昨夜は暴雨が降っていたが、今朝からは晴れや曇りで、終日雨は降らなかった。ビルマの雨季に終日雨が一回も降らないのは異常だということだ。村山氏の長男の浩二君が運転する自動車でラングーン市内に行き、午後にはインセンに帰ってきた。昨日、鈴木病院に入院した○子は、流産の後の経過は良好で、今日、浩二君の自動車で帰って来る。村山氏宅で夕食を食べて遊び、夜1時過ぎに宿舎で寝た。

7月18日 日曜日、晴少曇天

朝、インセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べて終日遊んだ。アキャブから来た葦原氏は今般部隊が移動したタウンジーに行ってきたが、先発隊長の千葉大尉からの手紙を伝えてくれた。開けてみたら、慰安所をタウンジーで経営するよう、アキャブから女子達が来たら、一緒に来てほしいということだ。今夜から村山氏の慰安所内の一室で、浩二君と一緒に寝ることにした。

7月19日 月曜日、晴曇天

朝、ラングーン市外のインセンの宿舎で起き、村山氏宅で朝飯を食べて終日遊んだ。インセンにある高部隊^{*19)}、即ち航空隊所属の慰安所2ヶ所が兵站管理に移譲されたという。村山氏宅で夕食を食べ、夜12時過ぎに寝た。

7月20日 火曜日、晴少雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。終日遊び、夕食を食べて夜2時半頃に寝た。村山氏が経営する慰安所の一富士楼が兵站管理になり、村山氏と新井氏は兵站司令部に行ってきた。

7月21日 水曜日、晴少曇雨

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。村山浩二君と自動車で軍司令部に行き、副官部の山添准尉と面会して、市内へ行って共楽館とその他幾つかの処を視察して戻ってきた。

*19) 第5飛行師団のこと（詳細は6月8日の項参照）。

村山氏宅で夕食を食べて遊び、夜 1 時過ぎに寝た。ラングーン会館でアキャブの美花が出した手紙を受け取った。

7月 22 日木曜日、曇雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。新井○治氏の行く便と一緒に乗ってもらい、ビルマ日本人会に入会した。終日遊び、村山氏宅で夕食を食べて、夜 1 時半頃に寝た。

7月 23 日金曜日、曇少雨天

朝、ラングーン市外のインセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。終日村山氏宅で遊び、夕食を食べて夜 1 時過ぎに寝た。アキャブ地方には昨年、我が慰安所以外には慰安所が入って来なかったが、今般 6、70 名の慰安婦が入ったという。

7月 24 日土曜日、曇雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊んだ。村山氏宅で夕食を食べて、夜 1 時過ぎに寝た。

7月 25 日日曜日、雨曇天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊んだ。村山氏の長男の浩二君は今日メイクテラ (Meiktila) にある自分の食堂を処分するために出発した。村山氏宅で夕食を食べて遊び、夜 1 時過ぎに寝た。

7月 26 日月曜日、曇雨天

インセンの慰安所 2 ヶ所が兵站管理になった後、慰安婦の検徴も兵站の軍医がすることとなり、毎週日曜日に金泉館で検診を受ける。朝早く起きて一富士楼の慰安婦を連れて金泉館に行き、身体検査と予防接種をして、検徴後に帰ってきた。インセンからマヤゴン (Mayangon) の金泉館まで行って検査を受けるのは、よっぽど困難なことだ。村山氏宅で夕食を食べて夜 1 時過ぎに寝た。

7月27日火曜日、晴曇雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊んだ。新井、村山の両氏が兵站司令部に行き、インセンで慰安婦の検徴ができるように請願をしたら、8月15日に慰安所会議で相談しようといわれたという。夕食を食べて夜1時まで遊んで寝た。

7月28日水曜日、雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。村山氏の製菓所の物資指定調達商であるインド人のキリシナが急性肺炎で昨夜死んだ。このインド人は大東亜の戦禍に妻子を失い、18歳の後妻を迎え、商業を営んでいる極めて温順な、当年44歳の活動的な人物で、その急死はまことに哀しい限りのことだ。村山氏は問喪し、賻儀もした。財産も相当あるらしい。

7月29日木曜日、曇雨天

朝、インセンのヨマ(Yoma)通りの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。新井氏と兵站に行つて、サツクの配給を受けた。慰安婦診療所に寄って、番外の2、3人の慰安婦にも診察を受けさせた。前に村山氏の慰安所に慰安婦としていて、夫婦生活をするようになって慰安所を出た春代と弘子は、今般兵站の命令で再び慰安婦として金泉館に戻るようになったという。支那街を回って、夕方にインセンに戻り、夕食を食べて夜1時頃に寝た。

7月30日金曜日、曇雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。終日遊んで夕食を食べ、夜1時半頃に寝た。村山氏は8月中に帰郷するつもりだが、餅屋と慰安所を私に引き渡すらしい。私も色々事情があって、シンガポールに行こうと思っていたが、ビルマに、もう1年いることにし、村山氏の営業を引き受けると承諾した。

7月31日土曜日、曇雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。一昨日の28日に死んだインド人のキリシ

ナはペストであり、現在発病した患者も 3、4 名いるとのこと。部隊は外出禁止で、村山氏がインド人の死亡後に行ってきた関係で、憲兵が来て、今後 1 週間の営業を中止し、外出もしてはいけないと言った。インド人の理髪所へ行って理髪し、靴を修繕してもらった。今夜は 10 時前に就寝した。

8月1日日曜日、曇暴雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊んだ。今日は営業をやめて、一切外出を禁止し、皆家にいた。今日ビルマが堂々と独立を宣言し、荘厳曠古な建国の盛儀を執り行った。国家元首にはバ・モー氏を推戴した。日緬同盟条約が締結され、英米に宣戦を布告した。今後、永遠に我が国を盟主として、ビルマ国の隆盛を祝す。

8月2日月曜日、曇雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。村山氏の慰安所の慰安婦は、休業という関係で検徴をせず、新井氏のところの慰安婦 7 名だけ検徴を受けた。終日遊び、夕食を食べて、夜 10 時過ぎに床についた。

8月3日火曜日、曇少雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。終日遊んで夕食を食べ、夜 10 時過ぎに寝た。

8月4日水曜日、曇天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊んだ。営業ができず、ごろごろしていて、慰安婦たちも退屈でたまらず、主人の方も外出さえできないので、じたばたしている。ペグーに行っていた金和柱道氏がやって来て、帰って行った。

8月5日木曜日、曇少雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊んだ。兵站から通知が届いたが、隔離

が解除されても、来たる 9 日の検徴後に営業を開始しろということだ。夕食を食べて夜 10 時過ぎに寝た。隣の新井○治氏は右足の腫症で毎日病院に通いながら治療をしているが、相当苦勞をしている。

8月6日金曜日、曇少雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。ペグーの桜倶楽部主人の金川氏が来た。金川氏は慰安所の移動説があるとして、軍司令部の方に聞いてみるという。金川氏は新井氏宅で夕食を食べ、私と一緒に寝た。

8月7日土曜日、曇雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。兵站司令部に寄ってから、ビルマ中央郵便局に行ってビルマ独立切手を買ひ、記念スタンプを押した。支那街を回ってからインセンに帰ってきた。ペグーの金川氏は今日、正金銀行で用事を済まし、私と一緒に寝た。

8月8日日曜日、曇少雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。ペグーの金川氏は村山氏宅で朝飯を食べて軍司令部に行ってきた、17時50分頃にペグー行きの自動車で帰った。金川氏も慰安所を他人に譲渡して帰国しようとしているという。村山氏宅で夕食を食べ、夜10時過ぎに寝た。

8月9日月曜日、曇少晴後少雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を早く食べて、慰安婦全員を連れて金泉館の検徴場に行つて検査を終えて帰ってきた。村山氏の長男の浩二君はメイクテラ方面に行った後、帰ってくるのを待っていたが、今夜、自動車1台を買つて乗ってきた。夕食を食べ、夜2時頃に寝た。

8月10日火曜日、曇晴天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べずにラングーンの翠香園²⁰⁾に行き、慰安所組合会議に出席した。組合費として経営者は30円、慰安婦一人当たりで2円、計62円を支払った。14時過ぎに会議を終えて帰ってきた。村山氏宅で夕食を食べ、夜1時過ぎに寝た。

8月11日水曜日、晴曇夕雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊んだ。ペグーに行っていた山本氏が来て、新井氏とおしゃべりをして帰った。近日は慰安所の来客が少なく、収入も大いに減る。村山氏宅で夕食を食べ、1時頃に寝た。

8月12日木曜日、曇細雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。兵站司令部に寄って営業日報を提出し、サック400個を受け取った。正金銀行に行って村山氏に頼まれた預金をして、新井○治氏に頼まれた配給伝票を受け取りに梅垣商店に行ったが、主人が不在ということで、待ち切れずに帰ってきた。新井氏の話だと、配給組合は梅垣商店ではなく、東洋軒の隣であるという。配給組合を間違っていた。

8月13日金曜日、曇天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べて終日遊んだ。歯痛で首まで痛く、飲食もままならない。夕食を食べて夜12時過ぎまで遊び、歯痛で早く横になって寝た。鉄道部隊で映画の上映があって慰安婦たちが観てきた。

8月14日土曜日、曇細雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。歯痛で飲食がうまくできない。シンガポールに行こうか、ここでもう1年いるか、決定できなくて思い悩んでいる。他郷にいと、病気になる時が一番心配で、故郷のことが懐かしくなる。

²⁰⁾ ラングーンに設置された日本軍将校倶楽部。今も建物が残っている。

8月15日 日曜日、曇少雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。歯痛が少し治って実に意欲が出る。終日帳場の仕事をした。ペグーの中宗氏が新井氏宅に来た。今夜、新井氏と村山氏の両夫婦がその間考えてきた帰国の件に対して話をし、私の意向を聞くので、私もシンガポールに行こうかと思っていると言ったら、村山氏夫婦がそうしてはいけないと言って、是非慰安所を引き受けて経営してほしいというので、断然そうしようと決めた。

8月16日 月曜日、晴少雲天

インセンの村山氏宅で起き、お客の自動車に慰安婦全員を乗せて金泉館に行って、検査を受けさせた。検徴を終え、インセンの村山氏宅に戻って朝飯を食べた。終日遊んで夜11時頃に寝た。夜3時頃に村山氏の奥さんが、○子（松原分任）が毒を飲んだと言うので、行ってみたら、過マンガン酸カリウムを飲んで苦しんでいたが、水を飲ませて吐くようにしたら、命には別状がない。理由は友達の○子との喧嘩だという。

8月17日 火曜日、曇雨天

昨夜2時半頃から5時頃まで月食であるというのに、残念ながら月食を見られなかった。朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。夕食を食べて夜12時過ぎに寝た。近日は伝染病発生の関係で、軍人の外出がない。

8月18日 水曜日、曇雨天

朝、インセンの村山氏宅で起き、朝飯を食べた。ペグーの中宗氏は新井氏宅で朝飯を食べてペグーに向かった。中宗氏が出発してからちょうど一時間ぐらいして、ペグーで同居する山本氏が来た。終日帳場の仕事をし、夕食を食べて、夜12時過ぎに寝た。

8月19日 木曜日、曇後雨天

朝、インセンの一富士楼の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。兵站司令部に行って、サック600個を受け取ってきた。インセンの憲兵隊で明日防空に対する指示があるので、集合しろとの

通知があった。夕食を食べて遊び、夜 12 時半過ぎに寝た。

8 月 20 日金曜日、曇後雨天

朝、インセンの一富士楼で起き、朝飯を食べた。憲兵隊に行ったが、空襲の際に掲げろとい
って赤い旗を 3 個くれた。ペグーの金川氏が来た。金川氏の帰国手続きは来たる 9 月下旬頃
にするという。シンガポールの大山氏に電報を打った。終日帳場の仕事をし、夜 1 時過ぎに
寝た。

8 月 21 日土曜日、雨天

朝、インセンの一富士楼で起き、朝飯を食べて終日帳場の仕事をした。ペグーで経営してい
た新井○治氏の慰安所を引き受け、アキャブに入っていた文野氏が今日、インセンの新井氏
宅へ女子を全員連れてきた。文野氏の話では、我が慰安所の女子 15 人もアキャブから出て
タンカップにいるが、2、3 日以内にプロームに着くという。夕食を食べた後、遺骨と女子を迎
えに、夕刻のインセン発の列車でプロームに向かった。

8 月 22 日日曜日、曇雨天

プローム行きの列車の中で夜を過ごした。石炭ではなく木炭を使う車であるせいか、停車時
間がかなりかかって、9 時頃に到着するはずの車が 16 時にやっと到着した。夜を車で過ご
したため、足が痛くなったせいか、熱と頭痛のため死にそうだ。慰安所の喜楽館に寄って挨
拶をした後、弓²¹⁾部隊連絡所長の塚本少尉に会って、アキャブから出る女子達の周旋方を依
頼し、喜楽館で夕食を食べて寝た。

8 月 23 日月曜日、晴曇天

朝、プロームの慰安所の木下氏のところで起き、朝飯を食べた。汽車に乗るのが嫌で、日本
通運の自動車に 14 時 8 分に乗って出発し、レパタン (Letpadan) で同会社汽車に乗り換え
てインセンに着いたら、夜 12 時だった。農村はビルマも同じで、田植えをするところもあ

²¹⁾ ビルマを占領した日本軍第 15 軍第 33 師団を通称した名称 (一種の暗号名)。

り、既に田植えを終えて稲が真っ黒いところもある。男女が平野で働くその情景が実に趣があった。農村の生活がうらやましい。村山氏宅で寝た。

8月24日火曜日、晴曇天

朝、インセンの一富士楼の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。終日帳場の仕事をした。村山氏の話では、先日に約束した一富士楼慰安所を9月1日に引き渡すのではなく、9月まで自分が経営をし、10月初旬に引き渡すというから、それでは駄目だと言ったら、他人に処分するというので、そうしろと承諾した。

8月25日水曜日、晴曇天

朝、インセンの慰安所一富士楼で起き、朝飯を食べて終日帳場の仕事をした。一富士楼の主人の村山氏夫婦が昨夜、9月まで営業したいというのに同意しなかったことが、今日彼らをかなり不快な気持ちにさせているようで、申し訳なかった。村山氏宅で夕食を食べ、夜1時過ぎに寝た。

8月26日木曜日、曇雨天

朝、インセンの慰安所の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。兵站司令部に行って5日間の日報を提出し、サック800個を受け取ってきた。遺骨に対する手続きの件について兵站に聞いたら、一時的に預けることは可能だが、本家への送付は所属部隊で手続きを取らなければならないという。ラングーンの南方航空運輸部に勤務する軍属の金山信雄氏は、今般シンガポールに転勤するという。

8月27日金曜日、晴曇天

朝、インセンの慰安所一富士楼の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。村山氏の慰安所で帳場の仕事をし、19時頃に軍司令部副官部の山添准尉の宿舎を尋ね、シンガポールに移住すると言って帰ってきた。山添氏の話では、兵站司令部に話して手続きを取れということだ。

8月28日土曜日、晴曇天

朝、インセンの慰安所一富士楼で起き、朝飯を食べた。兵站司令部に行って中里中尉に会い、シンガポールに行くために、兵站から証明書を貰うなどの話をして中断し、昼食の後に行ったら公務でインセンに行っているという。一富士楼は今日付けで本籍慶南統営郡である山口秀吉氏に譲渡されており、譲渡許可願が提出された。

8月29日日曜日、晴曇夜雨天

朝、インセンの慰安所一富士の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。兵站司令部に行ってきた。アキャブから出た小○子と蘭子、□美子²²⁾の3名が家内の弟一行3人の遺骨を持ってきた。遺骨を受け取った私は実に何とも言いようがなく、悲愴な気持ちになった。遺骨を安置して焼香し、再拝した。小○子が引率してきた慰安婦一行は今夜3時に車でタウンジーに向かって出発するという。

8月30日月曜日、曇雨天

朝、インセンの一富士楼の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。ラングーンの兵站司令部へ行って証明書を提出した。遺骨奉安所の係員軍人に家内の弟一行3名の遺骨を預けたいと言った。インセンの村山氏宅に戻り、夕食を食べて遊んで寝た。

8月31日火曜日、雨天

朝、インセンの一富士の村山氏宅で起き、朝飯を食べて松原分任と家内の弟の故山本氏一行3人の遺骨を持って、ラングーン兵站司令部に行って、遺骨係に預けて奉安を頼んだ。今般慰安所の一富士楼を買い受けた山口氏にアンバンまで行くというので、アンバンの葦原への手紙を頼んだ。村山氏宅で夕食を食べて寝た。

9月1日水曜日、雨曇天

朝、インセンの慰安所一富士の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。ラングーン兵站司令部に行

²²⁾ □は判読できない。

って先日提出した証明書を受け取ってきた。理髪した。プロームの喜楽館の主人がインセンの村山氏宅に来て夕食を食べてプロームに行った。

9月2日木曜日、晴少曇天

朝、インセンの慰安所一富士楼の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。ラングーン兵站司令部に行ってサックを受け取った。日本人会に行って旅行許可手続きに必要な書類を貰ってインセンに帰ってきた。村山氏宅で夕食を食べて、夜1時過ぎに寝た。

9月3日金曜日、晴天

朝、インセンの慰安所一富士の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。軍司令部へ行ってシンガポールに行く旅行許可願を提出したら、来週火曜日に来いということだ。村山氏と新井○治氏の帰国許可書も提出した。ペグーの金川長平氏の帳場で働いている金川栄周君が来た。村山氏宅で夕食を食べ、夜1時過ぎに寝た。

9月4日土曜日、晴少曇天

朝、インセンの慰安所一富士の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。終日帳場の仕事をした。ペグーの金川栄周君は食前にラングーンに向かって出発した。村山氏宅で夕食を食べて帳場の仕事をし、夜11時頃に寝た。

9月5日日曜日、晴少曇雨天

朝、インセンの慰安所一富士楼の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。松原分任をカロー近くのアンバンにいる葦原の処に行かせようと思って、今日17時頃に馬車を手に入れ、それに乗ってラングーン駅に向かった。4、5日間は一般列車の運転はなく、軍用臨時列車しかないといわれ、停車場司令部で便乗券を得て、乗って行くようにした。分任の乗った列車が遠ざかっていくのを見て、インセンに帰ってきた。

9月6日月曜日、晴少曇雨天

朝、インセンの慰安所一富士楼の村山氏宅で起きた。朝飯も食わず、軍司令部の山添准尉の処に行って旅行証明書を受け取った。南方開発銀行^{*23)}に寄って送金許可申請の手続きを提出し、検疫所に行って検疫に対する防毒、予防接種を済ましてから、細菌研究所に行って検疫をし、インセンの一富士楼の村山氏宅に戻り夕食を食べた。村山氏と新井氏宅族は時間がなく、検疫できなかった。

9月7日火曜日、晴夕少雨天

朝、インセンの慰安所一富士の村山氏宅で起きた。朝飯も食わずにラングーンの南方開発銀行に行き、送金の手続きを済まして、正金銀行で釜山の家内の弟の嫁である山本○連氏に弔慰金として受け取った金 500 円を送った。細菌研究所に行き検疫証明を受け取るとともに検疫所で全員の検疫証明を受け取った。その後、シュエダゴン (Shwedagon) ・パゴダを参拝した。このパゴダはビルマ随一と称されるほど実に宏壮な寺刹だ。

9月8日水曜日、雨天

朝、インセンの慰安所一富士の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。野戦郵便局に行って日本の紙幣をビルマの軍票に交換してほしいと頼んだが、交換できないと言われ、平沼洋服店に行き平沼に交換してもらった。インセンの村山氏宅に帰ってきたら、ペグーの金川氏が来ていた。夕食を食べた後、新井氏と村山氏、金川氏と一緒に、軍司令部の副官部の山添准尉の宿舎に行き山添氏を連れてインセンの一富士に戻り、遊んだ。

9月9日木曜日、雨曇天

朝、インセンの慰安所の村山氏宅で起き、朝飯を食べた。ペグーの金川氏も今日、慰安所を他の人に譲渡する契約を結んだ。陸路でペグーの藤岡氏の家族とシンガポールに行くため、今日午後4時にインセンからペグー行きの自動車に乗り、ペグーに到着した。桜倶楽部の金川氏宅で夕食を食べて寝た。金川氏も夕刻、インセンに帰ってきた。村山氏宅で3, 4ヶ月も一緒に泊まっていたせいか、私が朝鮮から連れてきていた○子が惜別の涙を流す姿を見る

^{*23)} 正しくは「南方開発金庫」。1942年3月に政府が資本金1億円を全額出資して設立された。

と、胸が痛くなる離別だ。

9月10日金曜日、晴少曇雨天

朝、ペグーの桜クラブの金川氏宅で起き、朝飯を食べた。藤岡氏のところを尋ねると、今夜3時頃に車が出発するので、夜2時頃には一緒に駅に向かいましょうと言われたため、金川氏宅で夕食を食べて、朝出していた洗濯物を受け取り金川氏と別れて藤岡氏と一緒に駅に向かい4時過ぎに乗車した。

9月11日土曜日、曇雨天

3時過ぎに出発する予定だったはずの車が、8時頃に出発した。シッタンまで来て、船でシッタン (Sittaung) 河を渡った。モバリン村 (Mokpalin) で15時50分発の臨時軍用列車に便乗し、マルタバン (Martaban、現在の Mottama) へ向かった。マルタバン着は夜2時頃だという。

9月12日日曜日、朝雨曇晴天

車がついにマルタバンに着いたが、雨が降っていたしその上暗い夜だったため、途方に暮れて、朝が来るまで車の中で寝ていた。日が昇ったので、起きて藤岡氏の一行と一緒に埠頭に出向き現地人の木船に乗って渡江し、モールメンに到着した。そして駅に向かい、12時30分発のイエ (Ye) 行きの列車に乗って、イエに向かった。イエ到着は夜21時頃だ。警備隊の兵站部に行き、一行は荷物を片付けた後、食事を済まして同宿舎で寝た。

9月13日月曜日、曇時細雨天

早朝にイエの兵站宿舎で起き、朝飯を食べた後、タボイ行の日通自動車部まで行き、タボイ行きの自動車に乗った。100キロに及ぶ舗装していない道路を無事に走り、9時半頃に出発した自動車は、18時頃にタボイに到着した。警備隊に寄ってから兵站に帰ってきて、事情を告げて、宿舎の許諾を得た。沐浴の設備が整っていたため、旅塵を落とし、夕食を食べて寝た。

9月14日火曜日、曇雨天

朝、タボイの兵站宿舎で起き、朝飯を食べた後、兵站の自動車で日通自動車部まで行き、メルグイ (Mergui, 現在の Myeik) 行きの自動車に乗った。メルグイ行きは、途中のパラオ (Palaw) で宿泊することになっている。自動車が六ヶ所を船で渡って夜9時頃にパラオに着いた。兵站に行き、夕食を食べて寝た。

9月15日水曜日、曇雨天

朝、パラオの兵站宿舎で起き、朝飯を食べた。10時過ぎにパラオを出発し、途中ニヶ所で大きな河を渡って、8時頃にメルグイに到着した。メルグイの兵站に行き宿泊を要請し、夕食を食べ、沐浴後に寝た。兵站はどこも親切にしてくれたので、実に感謝に堪えなかった。

9月16日木曜日、曇暴雨天

朝、メルグイの兵站宿舎で起き、朝飯を食べた。藤岡氏と埠頭に行き、ビクトリアポイント (Victoria Point, 現在の Kawathaung) 行きの船便を手配したのだが、昨日出発して今後いつ出るかわからないという。警備隊にまた聞いたものの、約1週間後には船があるといわれ、待つことにした。兵站で夕食を食べて寝た。この地方は雨量が相当にある大雨が降る。まだ雨季の模様だ。

9月17日金曜日、雨天

朝、ビルマのメルグイの兵站宿舎で起き、朝飯を食べた。今日も終日雨が降った。兵站宿舎で終日遊んだ後、夕食を食べて寝た。

9月18日土曜日、曇少雨天

朝、ビルマのメルグイの兵站宿舎で起き、朝飯を食べた。メルグイ市街地に行き、理髪して、シャツ一枚と半ズボン2個を買った。メルグイ兵站で夕食を食べて寝た。

9月19日 日曜日、曇夜雨

朝、ビルマのメルグイの兵站宿舎で起き、朝飯を食べた。藤岡氏と碇泊場司令部に行き、便乗請求をした。乗船は今度は今夕中だと聞いたため、兵站到帰ってきて一行を連れて埠頭に向かった。警備隊に預けていた荷物を持ってきて夜10頃に乗船した。出発は明朝だという。200トン前後の小さい汽船だ。

9月20日 月曜日、曇天

昨夜乗船した〇〇丸は今朝早く出帆したが、わずか1時間も航海できず、機関部の故障により海上で碇泊し修理した。修理したところ、部品のうち加工する必要なものがあり、再びメルグイに戻り棧橋で明日修理させる模様だ。一日も早く行きたいが、時間は過ぎていく。食事は船内で済ました。

9月21日 火曜日、晴曇雨天

朝、〇〇丸で起き、朝飯を食べた。終日修理したものの、エンジンの状態は良いらしい。明日は出帆する。〇〇丸の船内で夕食を食べて寝た。

9月22日 水曜日、曇少雨天

朝、〇〇丸で起き、朝飯を食べた。今日も出発せず終日修理した。藤岡氏と上陸し、顔を剃った。18時頃に試運転の結果、成績が良好で、20時頃に出帆し、1時間ほど航海した後、碇泊した。そして夜を過ごして明朝に出発するという。船内で夕食を食べて寝た。20日に出帆した後、故障がなかったら、すでに到着している。

9月23日 木曜日、曇晴少雨天

〇〇丸の乗客は藤岡氏の家族と軍人一名、合わせて7名だ。座席はいくらでも広く座れる。船は右側に遠く大陸をはさみ、大小数無数の島嶼の間を行く。実に比類のない景色だ。17時頃に機関部の故障で一時心配したが、30分以内で修理され、再び島々の間の碧波を切って走る。船員が設置した釣り竿に長さ二尺もする大魚が掛かりみんな楽しく分けて食べた。こ

の魚を刺身にして食べたが、実にその珍味は比を見ない味だった。

9月24日金曜日、晴天

朝、〇〇丸で起き、朝飯を食べた。今日も昨日と同じく、島々の間を航海した。19時頃に昨日と同様な機関部の故障があったが、約40分後には修理された。夜12過ぎにある島の付近に碇泊し、夜を過ごした。

9月25日土曜日、晴後雨天

朝、〇〇丸で起き、朝飯を食べた。碇泊した本船は7時頃に再び航海を始め、ビルマ・タイ国境の名も知らない川を走っている。右側はタイ、左側はビルマ、その中央の一本の川を挟んで両国は国境を接している。船は16時過ぎにカオファージ (Khao Fachi, 現在の Bang Kaeo) に到着した。兵站に行き、夕食を食べて寝た。ビルマからはすでに離れ、タイ領に入っている。

9月26日日曜日、晴天

朝、カオファージの兵站宿舎で起き、朝飯を食べた後、碇泊場司令部に行き、乗ってきた船の食費を支払った。藤岡氏の一行は違う事情により今日は出発できないとのことで、独りで軍交通車に乗って、15時過ぎにカオファージを出発して、19時半頃にチュンボーン (Chumphon) 駅前に到着した。停車場司令部に行き、便乗券を確保して、22時40分発の軍用列車に乗り、チュンボーンを出発してシンガポールへ向かった。もはや厳しいコースは全て終わった模様だ。車は客車ではなく荷車一個に一人で乗った。

9月27日月曜日、晴後雷雨天

朝、列車の中で起きた。今日も終日車内で過ごした。途中で食事の給養を貰って食べた。車窓越しで終日タイの風景を見た。女子はほとんど全員が短髪でパーマをかけている。男子はきちんとした服装をしており、女子も衣服は制服を着ている。

9月28日火曜日、晴少曇雨天

夜3時頃、パダン・ブサル（Padang Besar）駅、即ちタイとマレーの国境地帯に到着した。この駅でシンガポール行きの列車に乗り換えた。駅の待合室で夜を過ごした後、マレーで30年余り居住していた日本人老婆の飲食店で朝飯と昼飯を食べた。シンガポール行きの急行列車は15時15分発だ。定刻に出発した列車は、プライ（Perai）駅に到着したところ、車窓の向こうに村山氏の家族一行が昨日汽船で到着して乗車していた。新井○治氏は金川氏と陸路で後日来るといふ。シンガポール着は明日20時半頃だ。

9月29日水曜日、晴夜少雨天

終日列車内で過ごした。車は急行であるため速く走るものの、何日も乗っていると退屈でしようがない。その間夢に描いていたシンガポール島には20時40分頃に到着した。大山氏に知らせられなかったため、駅に迎えにきてくれなかった。村山氏の一行と新亜という支那人の旅店に行き、その間の旅塵を落としゆっくり休んだ。

9月30日（旧暦、9月2日）木曜日、晴天

朝、シンガポールの新亜旅店で起き、電信局に行って、ペグーの金川氏とインセンの山口氏に電報を打った。ダービーエスティー（Darby St.）の偕行社²⁴自動車部出張所に行き、大山氏の妹の夫の崔君に会った。大山氏は6月末頃に帰国したらしい。崔君と一緒に、慰安所菊水の友人の西原君を訪れ、昼食を接待してもらって遊んだ。その後、市街を見物するため、西原君に連れられて歩き回った後、酒肴をたらふく接待してもらい、夜12時過ぎに崔君の処に帰ってきて寝た。

10月1日金曜日、晴天夜暴風雨

朝、シンガポールのダービーエスティーにある大山昇の処で起き、朝飯を食べた。横浜正金

²⁴ 旧日本陸軍将校の親睦・共済団体。東京に本部を置き、冠婚葬祭扶助、宿泊事業、生活必需品の販売、住宅建設、金融買出、図書刊行、小学校直営などの事業を展開した。太平洋戦争後、解散されたが、1952年に親睦団体として復活した。

銀行に行き、ラングーンで送金手続きをしたラングーン正金銀行の貯金の取り寄せを請求した。大山君と夕食を食べ、共栄劇場に映画を観に行き、帰ってきて寝た。ラングーンで別れてその間消息を絶っていた岡田氏に会ったが、今はシンガポールに滞在しているという。

10月2日土曜日、晴天

朝、シンガポールのダービーエステー2番地にある偕行社自動車部出張所の大山の処で起きた。大山君と一緒に特別市庁に在留邦人届出をして身分証明を受け取った。食料および砂糖、塩の配給を請求して切符を受け取った。新亜旅館の村山氏のところで夕食を食べた後、彼の家族と一緒に夜のシンガポール市街および大世界という遊芸場を見物し、新亜旅館に帰ってきて寝た。短靴一足を69円で買った。

10月3日日曜日、少雨晴天

朝、新亜旅館で起きた。大山氏が迎えに来たので、一緒に来て朝飯を食べた。西原君に電話をしたところ、遊びに来いと言われたため、菊水の西原君の処に行き、同君と清川という人の家に行き、3、4人の邦人に挨拶をした。サッカー場に行こうと誘われて、一緒に遊んだ後、再び清川氏宅に帰ってきて夜11時頃まで遊んだ後、大山氏宅に帰ってきて寝た。

10月4日月曜日、晴天

朝、シンガポールのダービーエステーにある大山の処で起き朝飯を食べた。夕食を食べた後、菊水の西原君から電話がかかってきて活動写真を見に行こうと誘われ、自動車が迎えに来たため、大山君と一緒に西原君の家族と共栄劇場に行き、見物してから夜12時に帰ってきて寝た。

10月5日火曜日、晴天

朝、大山君の処で起き、朝飯を食べた。憲兵隊に行き、旅行証明に査証を受け取った。大山君と一緒に家屋を借りるために2、3ヶ所を回って帰ってきた。夕食を食べて市内の某外国人が経営する食堂に行き、しばらく遊んでから帰ってきて寝た。

10月6日水曜日、晴天

朝、大山君の処で起き、朝飯を食べた。夕食を食べた後、菊水の西原周復君が来たので、大山君と一緒に市内に行き、遊んでから夜 12 時頃に帰ってきて寝た。

10月7日木曜日、晴天

朝、大山君のところで起き、朝飯を食べた。終日遊んでから夕食を食べて、夜 12 時頃に寝た。

10月8日金曜日、雨後曇天

朝、8 時に起床し、大山君と一緒に昭南神社²⁵⁾を参拝した。興南旅館に行き岡田氏に会い、遊んでから帰ってきた。憲兵隊に在留邦人の身上申告を提出した。夕食を食べた後、大山君と一緒に菊水倶楽部に行ったところ、西原道栄君が熱を出して寝ていた。それで周復君と大洋館の主人である西原氏に挨拶をして、一緒に大世界に行き、遊んでから帰ってきて寝た。

10月9日土曜日、夜雨後晴天

朝、ダービーエステーにある大山の処で起き、朝飯を食べた。オーチャード・ロード (Orchard Road) の偕行社タクシー部に行き、高橋栄氏に会って挨拶した。新亜旅館に行き村山氏に会って談笑した後、ダービーエステーに帰ってきた。夕食後、大山君と一緒に菊水倶楽部の西原君の処に行き、遊んでから夜 11 時頃に帰ってきて寝た。

10月10日日曜日、曇後晴雨天

朝、ダービーエステーにある大山の処で起きて朝飯を食べた。大山君からシンガポール島付近の漁場を見に行こうと誘われ、約 20 余里に及ぶ海岸の漁場の処まで見物してから帰ってきた。漁場地区には処々に漁場の設備が整っており、漁獲の成績が良いという。夕食を食

²⁵⁾ 1943年11月、英豪捕虜を使役して、マクリチ水源地内のジャングルの中に創建された。境内には「昭南忠霊碑」も建立された。

べて寝た。

10月11日 日月曜日、曇少雨晴天

朝、ダービーエステーの大山の処で起き、朝飯を食べた。夕暮れに菊水の西原周復君が遊びにきた。一緒に遊んでから夕暮れに菊水に行こうと誘われ、夕食を食べた後、夜遅くまで遊んでから帰ってきて寝た。西原道栄君の紹介で憲兵准尉の竹内氏に挨拶し、同人の宿舎に行ったらしく遊んだ。

10月12日 火曜日、曇雨天

朝、ダービーエステーの大山の処で起き、朝飯を食べた。菊水倶楽部の西原周復君が遊びにきた。市内に遊びに行こうと誘われて一緒に行き、食堂で昼食を食べてから、菊水で遊んだ。西原君の処で夕食を食べて夜12時過ぎまで遊んでから大山の処に帰ってきて寝た。

10月13日 水曜日、雨後曇天

朝、ダービーエステーにある大山の処で起き、朝飯を食べてからどこにも行かず、終日遊んだ。東久邇宮盛厚王殿下と今上陛下第一皇女照宮成子内親王殿下とのめでたき御婚儀が御挙行された。

10月14日 木曜日、曇雨天

朝、ダービーエステー2番地の偕行社タクシー部の出張所の宿舎で起き、朝飯を食べた。興南旅館に宿泊中の岡田氏が菊水倶楽部から電話がかけてきて、来いといわれたため、そこに行き遊んだ。菊水倶楽部の西原周復君が来ていたので、一緒に菊水の西原のところへ行っ
て遊んだ。菊水で夕食を食べて夜1時頃まで遊んでから、大山君が運転してきた車に乗って帰ってきて寝た。フィリピンは本日、独立を宣言し、ラウレル²⁶⁾氏が大統領に就任した。

²⁶⁾ José Paciano Laurel (1891-1959)。日本軍政下で第3代フィリピン共和国の大統領を務めた。日本の敗戦が濃厚になると、1945年3月にフィリピンを脱出した。その後、逮捕され収監生活を送って1948年ロハス大統領の恩赦を受けた。

10月15日金曜日、曇雨晴天

朝、ダービーエステーの大山の処で起き、朝飯を食べた。大山君と一緒に昭南忠霊塔を訪ね、参拝した。夕食を食べて菊水倶楽部に行き、主人の西原君と同婦人と一緒に共栄劇場に行って映画を観た後、帰ってきて寝た。大山君も一緒に見物してから帰ってきた。

10月16日土曜日、晴曇天

朝、ダービーエステー2番地にある宿舎で起き、朝飯を食べた。西原周復君に請われて、戦前、シンガポール随一の金持ちだった支那人の胡文虎・胡文豹兄弟の別荘に見物に行った。新亜旅館の村山氏から電話がかかってきて来いといわれて行ったところ、たった今探しに行ったという。すぐ帰る道で会い、某支那人の理髪店で理髪してからしばらくの間談笑した。明日日本内地に行く汽船の乗車券を買うつもりだが、旅費不足だと言って、少し融通してくれないかと頼まれた。夕食を食べて菊水倶楽部に行き村山氏の金銭融通の件を話したところ、明日また来いと言われたので帰ってきて寝た。

10月17日日曜日、雨曇天

朝、ダービーエステーの偕行社タクシー部出張所の宿舎で起き、朝飯を食べた。大山君と一緒に菊水に行き、西原君と新亜旅館に行って村山氏に会い、西原君が500円を融通してあげた。新井○治氏と金川長平氏が、家族を連れてビルマから陸路で昨夜に到着して旅館にいるという電話をかけてきたため、村山氏が泊まっている旅館から帰る道に興南旅館で一行に会い、一緒にダービーエステーの宿舎まで帰ってきてから行った。

10月18日月曜日、雨晴天

朝、ダービーエステーの偕行社タクシー部出張所の宿舎で起き、朝飯を食べた。大山君と碇泊場司令部に行き、今日、日本に向けて出発する村山氏の家族一行を見送った。日本に行く人は懐かしい故郷に帰り、故郷の父母・兄弟・親戚などに会い喜びを分かち合うだろう。大山君の処で夕食を食べて寝た。

10月19日火曜日、曇り後晴天

朝、ダービーエステーの宿舎で起きた。菊水倶楽部の西原周復君が来て、一緒に遊んでから行った。大山君は午後5時頃、興南奉公会²⁷⁾の青年訓練に行ってきた。今日はどこにも行かず終日家にいた。

10月20日水曜日、曇晴天

朝、ダービーエステーの偕行社タクシー部出張所の宿舎の大山君の処で起き、朝飯を食べた。シンガポールに来てみると、先に入った人がすでにあらゆる事業を始めていて、これといった事業が見当たらない。偕行社タクシー部への就職を勧められて承諾した。今日、支那女子の下女一人を雇った。

10月21日木曜日、朝は雨後曇り

朝、ダービーエステーの偕行社タクシー部出張所の宿舎で起き、朝飯を食べた。夕食後、大山君と菊水倶楽部の西原の処に行き、遊んでから夜11時半頃に帰ってきて寝た。

10月22日金曜日、曇晴

朝、ダービーエステーの偕行社タクシー部出張所の大山君の処で起きて朝飯を食べた。大山君が菊水倶楽部の西原君の付託を受け、自家用自動車のタイヤ4個を買い与えた。インド仮政府が成立し、政府はビルマに置くという。本政府主席はスバス・チャンドラ・ボース (Subhas Chandra Bose)²⁸⁾氏だ。

10月23日土曜日、晴曇

²⁷⁾ 太平洋戦争の時、東南アジア占領地に設置された日本人の訓練団体。

²⁸⁾ Subhas Chandra Bose (1897-1945)。インドの独立運動家。1943年日本軍の支援に支えられシンガポールでインド国民軍の指導者になった。

靖国神社の例大祭日²⁹⁾である。朝、ダービーエステーの偕行社タクシー部出張所の大山君の処で起き、朝飯を食べた。終日、タクシー部の仕事をして夕食を食べ、大山君と講演を聞くために大東亜劇場に行く途中、小坂氏宅に立ち寄ってしばらく遊んでいたら時間に遅れて行けず、帰ってきて寝た。

10月24日日曜日、曇天

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部宿舎の大山君の処で起き、朝飯を食べた。菊水倶楽部の西原周福君が遊びにきた。偕行社タクシー部で勤務するために履歴書を提出した。今般帰鮮するためにビルマからやってきた金川一行は興南旅館から新亜旅館に移ったと電話がかかってきた。

10月25日月曜日、晴天

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部出張所の宿舎の大山君の処で起き、朝飯を食べた。夕べ、大山君の幼児（5月生まれ）が急に風邪で熱を出し、呼吸が非常に苦しくなり実に苦しく見えた。私もかつて幼児の病を体験していたので、はらはらしながら大変心配し、二回も起きて速やかに治ってくれることを祈祷した。幸いにも今朝から徐々に良くなり安心した。夕食を食べて大山君と一緒に菊水倶楽部の西原君の処に行き、遊んでから帰ってきた。

10月26日火曜日、朝曇後晴

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部出張所の宿舎で起きた。正金銀行からラングーン銀行に貯金を請求したものが到着したという電話があったので、すぐに行って受け取り、再び貯金した。釜山の家内の家と大邱の本家に打電する。新亜旅館の金川、新井の両氏の処で遊んでから帰ってきた。夕食を食べて、大山君と新世界に行き、見物してから帰ってきて寝た。興南奉公会に入会した。

²⁹⁾ 靖国神社における最も重要な祭司として春と秋の2回の例大祭を執り行う日。

10月27日水曜日、曇り後晴天後雷

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部出張所の大山君のところで起き、朝飯を食べた。市内に出向き今回帰国する金川、新井の両氏への贈り物として面刀（安全）とライター、財布などを買った。新亜旅館の新井氏の処に行って遊び、夕食を食べた。夜 11 時頃に大山君が来たので一緒にあちこち歩き回った後、帰ってきて寝た。

10月28日木曜日、曇晴夜雨

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部の大山君の処で起き、朝飯を食べた。今日から明日まで防空訓練がある。午後 4 時頃、オーチャード・ロードに出向いて金川氏に会い、衣服を注文するために洋服店に行ったが、値段が昨年より 10 倍ないし 20 倍も高くなっている。

10月29日（旧暦、10月1日）金曜日、朝雨後曇

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部宿舎の大山君の処で起き、朝飯を食べた。大山君の幼児が昨日よくなっていたのが、今日からまた悪化し、午後にはひどく苦しんでいた。西原周福君が遊びにきた。大山君が夕食を食べて外へ遊びに行った後、夜 21 時頃に大山君の幼児がついに亡くなった。共栄劇場に行って大山君を呼んできた。過去、私も幼児を二人も亡くしたので二度とこのような哀惨なことを見たくはなかったが、また見てしまったのだ。

10月30日土曜日、晴天

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部宿舎の大山君の処で起き、朝飯を食べた。偕行社タクシー部の高橋氏と一緒に中央病院へ行き、大山君の幼児の死亡診断書を受け取って、特別市庁で火葬認許証を受け取った。その後、偕行社タクシー部の高橋氏兄弟や小坂氏と、亡くなった幼児の屍を自動車に乗せて日本人墓地に行き、火葬の依頼をして帰ってきた。夕方、西原両君が遊びにきた。

10月31日日曜日、曇晴天

朝8時頃、大山君夫婦とオーチャード・ロードのタクシー部の高橋氏と一緒に火葬場に行き、大山君の幼児の遺骨を拾ってきた。火葬して残った、一握りもならない小さい遺骨だ。人生の最後は皆こうなるに違いない。本願寺に遺骨を頼んだ帰り道、私は洋服を4件（上下）ばかり、代金355円で注文した。昨年だとわずか4、50円だったのに今は7、8倍も高価だ。それも暗買するなど実にとんでもないことだ。綿布等は全部切符制だ。交換船³⁰⁾帝垂丸が入港した。

11月1日月曜日、曇晴夜雨

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。夕食を食べて新亜旅館の新井氏の処に行き、一緒に帝国劇場で映画を観た。映画を観た後、食堂で食事を簡単に済まし、帰ってきて寝た。

11月2日火曜日、曇天

朝、ダービーエステーにある偕行社自動車部の宿舎で起き、朝飯を食べた。西原菊次君から遊びに来いと再三電話で督促されたので、夜20時過ぎにみなみ料理店に行き、酒を飲みながら遊んだ。十余人が集まった宴会だった。ともに挨拶を交わして遊んだが、最後は酔いつぶれてしまった。

11月3日水曜日、曇夜雨

夜が明けて目が覚めると、寝室で吐いていた。昨夜料理店からどうやって出て宿舎まで帰ってきたかもまったく覚えがない。今日終日吐き、飲食もろくにできなかった。生まれてからこれほど酔っ払ったことは一度もない。西原周復君が遊びに来たが、苦しかったので、遊ばずしばらくいて帰った。

³⁰⁾ 戦時交換船または抑留者交換船とも呼ばれる。第二次世界大戦当時に、枢軸国、連合国双方の交戦国や断交国に取り残された外交官や駐在員、留学生などを帰国させるために運航された船のことを指す。

11月4日木曜日、曇後曇晴夜雷雨

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。午後、新亜旅館の新井○治氏から電話がかかってきて、明日出発するという。夕食を食べて大山君と一緒にいき、新井、金川の両氏に挨拶する。ダービーエステーにある偕行社タクシー部の宿舎は今般、家屋の関係で廃止されたので、大山君がカトン（Katong）へ行くことになり、近日中に移舎する予定だ。

11月5日金曜日、朝雨後曇天

夜中、寝耳に雷の音で目が覚めると、風が吹き、雷声が轟いて、雨が降っていた。シンガポールは決まって夜3時頃に雨が降る。大山君と一緒に朝飯を食べた後、新亜旅館に行き、金川、新井両氏の一行に今般の無事帰郷を祈りながら饞別の挨拶をした後、横浜正金銀行に寄ってから、ダービーエステーに帰ってきた。本家と釜山に電報を打ってから十余日過ぎたのに返事がないので、どうしたことが心配だ。新井氏に大邱の家内に安否を伝えてくれるよう頼んだ。夕食を食べた後、大山君と共栄劇場に映画を観に行った。

11月6日土曜日、朝雨後曇天

朝8時過ぎにダービーエステーにある偕行社タクシー部の宿舎で起きた。午後、偕行社タクシー部の高橋氏が来て、内地人をシンガポール偕行社タクシー部の事務員として呼び寄せるのだが、軍政監部に提出する証明願を書いてくれと頼まれ、9人分の9件を書いてあげた。夕食を食べた後、西原定復君から電話がかかってきたので、大山君と遊びに行った。夜12時過ぎに帰ってきた。

11月7日日曜日、曇後雨曇天

朝、ダービーエステーにある偕行社タクシー部の宿舎で起きた。午後、オーチャード・ロードの興亜床屋に行って理髪した。夕食を食べた後、菊水倶楽部の西原君の処に行き、大山君と6、7人とみんなで大世界第一の遊芸であるボクシングを見に行き、帰ってきて寝た。

今日をもってダービーエステーの偕行社タクシー部は廃止される。

11月8日月曜日、曇後曇晴雨天

朝、ダービーエステーにある偕行社の宿舎で起き、大山君と一緒に昭南神社と昭南忠烈塔を参拝した。今日をもってダービーエステーの偕行社タクシー部が廃止されたので、大山君とカトン出張所へ荷物を全部まとめて移舎した。カトンは海岸からわずか数十歩しかないところで、シンガポール市街地とは2里ばかり離れている。そしてこの宿舎には軍属4名が宿泊している。荷物を整頓し、夕食を食べて、カトンタクシー部の宿舎で初めての夜を迎えた。

11月9日火曜日、曇後少晴

カトンのアンバー・ロード (Amber Road) 2号にある偕行社タクシー部の宿舎で初めての夜を過ごした。事務も未だに軍属が担当しているため、ある部分を指定して目を通すこともできなかった。ただぼんやりして時間を過ごしている。近いうちに一人の軍属が本社に行くという。食事は大山君夫婦と一緒に取ることにした。シンガポールに来てからずっと大山君に食事をお世話になっている。

11月10日水曜日、晴天

朝、カトン偕行社のタクシー部で起き、大山君の処で朝飯を食べた。特にする事務もなく、一日を過ごした。カトンタクシー部で勤務していた上原軍属は、私と大山君が来た関係か、オーチャード・ロードの本社へ移舎した。夕食を食べた後、澄み渡った空の月がとても明るく、思郷の愁を禁じ得ず、夜1時頃までずっと見た後、寝室に入った。

11月11日木曜日、晴後曇

朝、8時頃にカトンのアンバー・ロード (Amber Road) 2号にある偕行社タクシー駐車場の宿舎で起き、大山君の処で朝飯を食べた。偕行社タクシー部の委員である横井少尉が西原軍属の病の慰問に来て帰った。タクシー部の事務をするふりをして、夜12時半過ぎに寝た。

寝る時間と食事の時間が一番愉快だ。そのほかの時間は雑念ばかりだ。

11月12日金曜日、晴少曇天

朝、カトン偕行社タクシー部で起きて朝飯を食べた。終日タクシー部の事務をした。今夜は旧暦十五夜の満月が蒼空を明るく照らしている。朝鮮では十月十五夜が、年間を通して最も良い時期の月であり、大空も曇一つ無く晴れ渡る。いつこの月を故郷の空で見ることが出来るだろう。

11月13日土曜日、曇天

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。矢吹軍医（中尉）が来て、西村氏を診察した。貨物廠の軍医が来て現地人の従業員に赤痢の予防注射を打った。故郷の家内に、シンガポールに無事到着したという消息の電報を打った。先月26日頃に家内と釜山の義弟嫁の処に電報を打ったが、返電がなく、再び家内に打電した。

11月14日日曜日、曇

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起きた。西原周復君から電話がかかってきて、帰郷するから午後に遊びに来いといわれた。夕食を食べた後、大山君と菊水倶楽部の西原の処に行き、西原の両君、大山君そして金村氏と4人で周復君の送別会を五十鈴料理店で設け、無事の帰郷を祝った。西原定復君と大山君とみなみ食堂でしばらく遊んでから帰ってきて寝た。周復君は明朝8時頃に乗船する予定だという。

11月15日月曜日、曇

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。興南彩券5枚をカトン郵便局で買った。今夜から2階へ寝室を移した。朝7時過ぎに大山君と一緒に碇泊場司令部へ出向き帰国する西原周復君を送別した。

11月16日月曜日、朝雨後曇晴雨雷雨

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。大山君に頼んで興南彩券 15 枚を買った。ブーゲンビル島 (Bougainville Island) における今般の海戦では、戦艦空母等 68 隻、飛行機 527 機の大戦果を上げた。これでもうじき米英は降服するだろう。

11 月 17 日水曜日、曇後雨曇

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。偕行社のタクシー部でもまだ事務を担当しているが、することがなく、軍属たちもいる中、かえって申し訳なく不安な気持ちさえする。大山君夫婦がいつも親切にしてくれるので、まず時間だけは無事に過ごしている。いつまでこのように生活しなければならないだろうか。故郷に戻りたい気持ちが一日に何度もする。いつも悩みが離れないこの体にはどこでもただ (以下欠落—訳者注)

11 月 18 日木曜日、曇晴天

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。偕行社タクシー部のオーチャード・ロード本社の主任である高橋栄が来て、私に本社の内務を担当してくれと言うので、来る 21 日から本社で勤めると話した。夜 0 時半過ぎに就寝した。家内に電報を打って 6 日も過ぎたのに、まだ返電がない。

11 月 19 日金曜日、晴後曇夜雨

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。終日、タクシー部の事務をし、夜 12 時過ぎに寝た。タクシーの営業が良い事業であると考えていたが、それほど良い事業ではない。さらに戦時中、部品が貴重な時期には、車が頻繁に故障するが、修理が不可能または遅延するなどとても困難で、乗客の不平も少なくない。世の中は、何でも他人のものはよく見えるものであり、自分のことになるとそれほど良くないわけだ。

11 月 20 日土曜日、曇後少雨

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。終日、タクシー部の仕事をし、夜 22 時半頃に寝た。

11月21日 日曜日、曇後雨

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を早く食べた。今日からオーチャード・ロードにある偕行社のタクシー部に出勤するつもりだったが、今日は日曜日で休日であるという。菊水の西原君の処に行って遊び、夕食を食べてから夜 11 時頃、カトンの宿舎に帰ってきて寝た。

11月22日 月曜日、曇後少雨

朝、7 時半頃にカトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。中原氏と一緒にオーチャード・ロードにある偕行社のタクシー部に行き、事務見習をした。18 時頃に仕事を終え、中原氏と一緒にカトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べた後、しばらく遊んでから寝た。

11月23日 火曜日、曇雨（涼）

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードにある偕行社のタクシー部事務所に出勤した。16 時頃に菊水倶楽部の西原君の処に行き、夕食を食べた。大山君が自動車で迎えにきたのでカトンの宿舎に帰ってきた。大山君と一緒に青島食堂のオーナーである山芳氏の宿舎に行き、大山君の紹介で挨拶した。大山君、山芳氏、吉田氏とみんなで大世界へボクシングを見に行き、帰ってきて寝た。吉田という人も大山君が紹介してくれたので初めて挨拶を交わした。理髪した。

11月24日 水曜日、曇天

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードにある偕行社事務所に出勤した。西原君が電話で来いというので、16 時過ぎに行って遊んだ。西原君の処で夕食を食べた。大山君が自動車に乗ってやって来たので、一緒にカトンに帰ってきて寝た。

11月25日 木曜日、曇雨天

朝、カトン偕行社の宿舎で起き、朝飯を食べた後、中原氏と一緒に偕行社タクシー部の本社事務所に出勤した。午後から西原君の処に行って遊んだ。西原君のところで夕食を食べた後、大洋倶楽部の西原氏の処で遊んでから西原定復君の処に帰ってきて夜2時まで四方山話をし、寝た。実に私の生涯は何の甲斐もない。偕行社も辞め、西原君の処で当分間時期を待ちながら何か事業を探してみようかと、悩んでばかりだ。

11月26日金曜日、曇天

朝、西原君の処で起き、朝飯を食べた。今後は西原君に当分間お世話になると話すと、西原君もぜひ一緒に住みたいと話してくれた。午後、偕行社本社にしばらく寄って、カトン偕行社のタクシー部の宿舎へ帰ってきた。偕行社のタクシー部も辞めるつもりだったが、高橋栄氏が温情をもって接してくれるので、到底その好意を裏切ることができない。夕食を食べた後、大山君と一緒に木村氏の食堂に行き、木村氏に会った。木村氏はラングーンの共楽館慰安所で帳場の仕事をしていた人だ。

11月27日土曜日、曇天

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードにある偕行社のタクシー部事務所に出勤した。19時頃にカトンの宿舎に帰ってきて、大山君と一緒に夕食を食べた後、ケアーンヒル・ロード（Cairnhill Road）の菊水倶楽部の西原君の処に行き、一緒に大世界のボクシングを見に行き、夜24時過ぎに帰ってきて寝た。

11月28日日曜日、曇晴天

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。今日は日曜日であるので休もうと考えたとたん、本社から電話がかかってきて出勤してほしいというので、19時頃まで仕事をした後、カトンの宿舎に帰ってきて夕食を食べた。

11月29日月曜日、雨後曇天

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードにある

偕行社のタクシー部に出勤した。18 時過ぎにカトンに帰ってきて夕食を食べた後、夜 11 時頃に寝た。シンガポールの防空演習訓練は今日 10 時をもって解除された。

11 月 30 日火曜日、晴夜雷雨

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードにある偕行社のタクシー部に出勤した。11 時頃、特別市に行き、洋服、フトン等、衣類に関する生活必需物資の特別販売許可を得た。18 時過ぎに仕事を終えた帰路、興南奉公会の青年訓練場で訓練を受けている大山君の訓練が終わるのを待って、一緒にカトンの宿舎に帰ってきて、夕食を食べた。

12 月 1 日水曜日、曇後細雨天

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べた。オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。18 時過ぎに仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

12 月 2 日木曜日、晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、偕行社タクシー部本社に出勤した。午後、電信局に行き、故郷の家内に電報を打った。帰路、特別市庁前広場でインド独立仮政府主席のチャンドラ・ボース氏が時局演説することを聴き、カトンへ帰ってきて夕食を食べた。インドの軍人および地方住民など数万のインド人が集合していた。私もチャンドラ氏を見たのは初めてだ。

12 月 3 日金曜日、晴天

朝、カトン偕行社タクシー部の宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。18 時過ぎにカトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べて寝た。去る 7 月初旬にラングーンで慰安所を経営していた金田氏は慰安婦を募集するため朝鮮に行ってきたという。そして今般、慰安婦 25 人を連れてビルマに帰る道にシンガポールに到着した

とのことだ。

12月4日土曜日、晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。昨夜、故郷にいる家内が夢に出たが、ちょうど今日家内から電報が届いた。電報の内容は、家族はみんな無事なので送金してほしいというものだ。興亜理髪店で理髪した。夕食を食べてからしばらく遊んで寝た。

12月5日日曜日、晴天

今日から11日までの1週間、大東亜戦争2周年の記念週間に定められ、諸々の記念祝賀行事が開かれる。今日は、大山君と一緒に朝起きして、特別市庁の前に集合した邦人800余名と一緒に昭南神社まで1里半ばかりの健脚の勝利大行進に参加し、昭南神社を参拝した。行進には約2時間半の時間を要した。西原君の処に行き、遊んでから、金田、徳山等、ビルマで慰安業をしており、慰安婦を募集して再びビルマに戻る両氏に³¹⁾会い、故郷の消息を聞いた。夜11時頃、カトンの宿舎へ帰ってきて寝た。

12月6日月曜日、晴後雨曇夜雷雨

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。終日仕事をし、18時過ぎに仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。月給200円をもらった。大邸の家内に昨年に送金した2,000円を受け取っているか、また○子と○豊ともども無事であるかと打電した。

12月7日火曜日、晴後雨曇

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。18時過ぎに仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

³¹⁾ 原文には「張氏」と書いてあるが、文脈からみて「両氏」の誤記と考えられる。

12月8日水曜日、晴後雨曇

大東亜戦争 2 周年記念日だ。早朝に起きて、東方遠く、宮城を向いて遙拝し、黙禱をした。朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。夕時、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

12月9日木曜日、晴曇少雨

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。18時過ぎに大山君と一緒に菊水倶楽部の西原君の処に行き、夕食を食べて遊んだ。夜 12 時頃、カトンの宿舎へ帰ってきて寝た。西原君の婦人は今般、故郷に行くために往復旅行証明を提出したという。

12月10日金曜日、晴曇雨夜快晴

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。18時過ぎに中原氏と一緒にカトンの宿舎に帰ってきた。夕食を食べてしばらく遊んでから寝た。今夜は一点の雲もない快晴の澄んだ空で、月も明るく照らしている。シンガポールの空には稀有のことだ。

12月11日土曜日、曇後雨曇

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、偕行社タクシー部に出勤した。大東亜戦争記念週間も今日をもって終了した。19時頃、カトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べ、遊んでから夜 11 時頃に寝た。

12月12日日曜日、晴天後曇り

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。恐縮至極ながら天皇陛下におかれては、今年の今日、伊勢神宮へ御親拝なされて 1 年目になる記念日で、13 時 22 分に全国民が神拝することになっていたもので、各々その所在地で一斉に皇大神宮に遙拝することにした。タクシー部でも定刻を期して遙拝した。夕時、

カトンの宿舎に帰ってきて、夕食を食べて寝た。

12月13日(旧暦、11月17日)月曜日、晴曇天

今日は偕行社タクシー部に出勤せず、遊ぶことにした。朝、カトンの宿舎で起きて朝飯を食べ、大山君とオーチャード・ロードにある支那洋店の主人某を連れてインド人の羅紗店に行き、先日特別市から受け取った綿類販売許可書によって衣服生地を約350円余り買ってカトンへ帰ってきた。大山君の処で雇い入れていた娼婦という支那女人は今日、解雇された。

12月14日火曜日、曇雨天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。支那人の洋服店に前日注文した洋服の修繕を頼んだ。大山君が特別市広場で興南奉公会の青年訓練があり、一緒に家に帰りたいたいといったので、自動車で行ったところいなくてそのまま宿舎へ帰ってきた。大山君は雨で訓練が中止になったという。

12月15日水曜日、曇後雨

朝、カトンの宿舎で起きて朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。高橋栄氏は公務のため、貨物廠の横井少尉とピリラヤムと呼ぶインド人通訳を連れて1週間の予定でタイピン(Taiping)、ペナン(Penang)方面に出張に行った。19時頃にカトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

12月16日木曜日、晴後曇雨

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた。オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。18時過ぎにカトンの宿舎に帰ってきて夕食を食べ、遊んでから寝た。今年もあと10日余り残っているが、昭和18年もうよいよ過ぎようとしている。

12月17日金曜日、晴曇天

朝、カトンの宿舎で起きて朝飯を食べ、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出

勤した。特別市で、生活必需物資の販売許可品中、一商店で買えなかった残余品に対する再交付の許可を得た。故郷の家内に送金の受け取りの如何と○子の病気関係について速やかに知らせてほしいという電報を打った。大山君が大東亜劇場の前で待つてほしいというので、18時過ぎにそこに行った。しばらく経って大山君が来て同劇場の皇軍慰問演芸を観にいこうというので、観に行った。会場は超満員で、入る時にも人々に押されて危険千万で、立錐の余地もなかった。

12月18日土曜日、晴曇夜雨

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。前日の衣服販売許可中、洋服一枚を買えず残っていたものを今日、前日に立ち寄っていたインド人の商店で行き、買ってきた。18時過ぎにカトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

12月19日日曜日、雨曇天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。菊水倶楽部の西原君から電話がかかってきて、自分の倶楽部の営稼婦の幼児が今朝死んだという。18時過ぎに大山君と一緒に西原君の処に行き、遊んでから夕食を食べて、夜11時頃に帰ってきて寝た。タイピン、ペナン等の地へ出張に行っていた高橋氏が今日帰ってきた。

12月20日月曜日、朝晴後曇雨

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。年末賞与金200円を受け取った。わずか2ヶ月しか働いていないのに賞与をもらい、実に恐縮である。19時頃、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

12月21日火曜日、曇晴雨

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社に出勤した。興南

奉公会のシンガポール特別市支部に行き、会員の再登録用紙を2枚受け取って、高橋、小坂の兩人に渡した。私の届け出分の用紙は昨日、大山君が貰ってきた。19時頃にカトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて遊んでから寝た。

12月22日水曜日、曇少雨天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。大山君から1枚の電報を受け取り、見ると、大邱の家内から届いたもので、送金は受け取っており、○子の病態は少し良くなったが手紙をよこしてくれとの電文であった。前日、支那人の洋服店に修繕を頼んだ洋服を受け取った。18時過ぎにカトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

12月23日木曜日、晴天

カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。興南奉公会のシンガポール特別市支部に行き、会員の再登録申込書を提出した。黒色短靴一足と白色短靴1足を代金120円で注文した。19時頃、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

12月24日金曜日、晴曇雨天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。一緒に勤務する高橋重義氏の奉公会再登録申込書を提出してあげた。大山君と中原氏、西村氏の間で考えのすれ違いがあって多少摩擦があった。18時過ぎにカトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べ、大山君とあれこれ話をして寝た。

12月25日土曜日、晴曇雨天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。奉公会に行き、高橋重義氏の邦人登録申請を提出した。18時頃、ケアーンヒル・ロードの菊水の西原君の処に行き、夕食を食べて、西原君と慰安隊（ビルマ行き）の宿所に

行き、大山君に会って遊んでから、夜 12 時頃に西原君のところに帰ってきて、西原君と一緒に寝た。

12月26日日曜日、晴天

朝、ケアーンヒル・ロード 90 号の菊水倶楽部の主人である西原君の処で起き、朝飯を食べた。終日、西原君の処で遊び、夕食を食べた。大山昇君が来たので一緒に遊んでから、夜 11 時頃にカトンへ帰ってきて寝た。昨夜も一点の雲もない快晴だった。

12月27日月曜日、晴曇雨

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。ケアーンヒル・ロードの菊水倶楽部に行き、昨日忘れていた本の風呂敷を持ってタクシー部に帰ってきて、小坂氏の登録申込書と配給関係のため、奉公会と特別市に行つて用務を済ませた後、16 時過ぎにタクシー部に帰ってきた。18 時過ぎにカトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

12月28日火曜日、雨

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。18 時過ぎにカトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。大山君は、夕食を食べた後、ケアーンヒル・ロードにある松山氏の処に行き、遊んでから帰ってきた。松山氏は、タイ地方の慰安所に出張で 50 余日行ってきて、今朝帰来したという。

12月29日水曜日、曇り後雨

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。19 時頃、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。シンガポールも日本と同じく門に松を掲げ新年を祝賀する。しかし内地の夏のような季節に正月があるので内地の正月気分はしない。

12月30日木曜日、晴天後曇り

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。中古の万年筆1本を15円で買った。18時過ぎにカトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べてから、大山君とケアーンヒル・ロードにある菊水倶楽部の西原君の処に行き、遊んでから夜1時過ぎに帰ってきて寝た。

12月31日金曜日、晴天後曇り

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。18時頃、カトンの宿舎へ帰ってきた。同宿している偕行社タクシー部勤務の西村、中原の両氏と大山君、および貨物廠軍属の佐野氏と宿舎で夕食を兼ねて簡単な忘年会を開いた。西村氏が主催した模様だ。以下は1年の回顧記である。

一．皇軍の戦況と戦果

戦火で迎えた年が血戦で暮れた。昭和18年も今日で終わりだ。本年最終の日記をつけるに当たり、去る1年を回顧しよう。第一に、大東亜戦局は西南太平洋方面で前年来持ち越してきた敵軍の反撃の中、新春を迎え「今年こそ戦局の大勢を支配する年だ。緒戦の戦果を拡充し、征戦を完遂していかなければならない」という決意は、前線銃後に漲溢し、執拗な敵の反撃を粉碎して世界を震駭させ、大戦果を収めて必勝不敗の態勢を強固なものにした。即ち、1月29日のレンネル（Rennell）島沖の海戦において、戦艦三、巡洋艦四を撃沈破したことを皮切りに、2月初めのイサベル（Isabel）島沖海戦、4月初めのフロリダ（Florida）島沖海戦、そして引き続いて11月の数次にわたるブーゲンビル（Bougainville）島航空戦、ギルバート（Gilbert）諸島沖航空戦、その他大小の迎撃戦、攻撃戦で敵の戦艦、空母、巡洋艦以下の艦艇と船舶を撃沈したことで、数百隻という正に驚異の大戦果を収めた。一方、ビルマ方面からは、インド国境で英印軍の反攻を粉碎し、アキャブ奪回の企図を完封しており、一方、怒江作戦では、雲南国境で蠢動する重慶軍を撃滅し、その後執拗に盲撃してくる在印英空軍を迎撃し、そのたびに大損害を与え、再びその在印基地を攻撃するなど、ビルマ奪回を狙った敵を顔色なからしめた。一方、支那大陸においては、不断の肅清・討伐とともに、

在支米空軍に痛棒を加え、手足を結んでおり、また中支作戦において敵の第 6、第 9 戦区の戦力を壊滅させ、重慶に対し大きな脅威を与えた。このような戦果には、幾多の尊貴な犠牲があった。特に、山本元帥の戦死、アッツ (Attu)、タラワ (Tarawa)、マキン (Makin) の各島守備隊の玉砕は、全国民が痛悼するところであるが、戦局の大勢には何の影響もなく、それにより国民の士気は昂揚していると推量することができる。戦局の苛烈さに対応する必勝の国内体制も画期的に更改され、軍需、農水、運輸通信の三省は 11 月 1 日から開庁しており、その他の戦力の増強の重点的施策と相俟って、我が戦力は飛躍的に強化をされている。一方、第 83 回臨時議会における大東亜総決起決議に次ぎ、6 ヶ国代表による大東亜会議では、亜細亜の聖典である大東亜宣言が行われた。中国国民政府は年初劈頭、米国と英国に宣伝布告をしたが、積年の宿望だった租界回収と治外法権撤廃も日本の好意により完遂された。一方、8 月にはビルマ、10 月にはフィリピンの独立が厳かに宣言され、自由インド仮政府が樹立される上で、亜細亜解放の聖業が皇軍の戦果と併行して着々と具現されていることは、実に歴史的な偉観を誇っている。そして昭和 18 年は去って行き、この新年はまさに決戦の年として、希望と勇気を胸いっぱいを持って迎えたい。

二。私事記

ビルマ国アキャブのインド国境に近いところで新年を迎えた。万里他国他郷の一線の陣中で迎える新年だが、家内の弟 (故・山本龍宅氏)、故・新井○桓君、その他、慰安婦 19 人が皆同じところに集まって、楽しく新年を祝賀した。1 月 16 日、私はアキャブを離れ、ラングーンに向かった。アラカン山の 180 キロもある高山峻嶺の山岳地帯を部隊の自動車で越え、昨年ビルマで初の慰安業を営んだプロームを経てラングーンに着いたのが、1 月 23 日の夜だった。ラングーン会館の大山虎一氏の処で留宿した。3 月末頃、ペグーに故郷の友人の金川氏がいるという消息を聞き、金川氏の処へ行ってまた 1 ヶ月ばかりを過ごした。そしていつも人に迷惑ばかりかける身の上になってしまった。3 月末からラングーン会館の大山氏の処にいたが、4 月 24 日、故・家内の弟ほか 4 名の不幸を耳にした。その翌日にプロームに行って事実であることを確認し、ラングーン司令部の副官部に告げた後、5 月 1 日にラングーンを出発してタンガップまで行き、負傷して治療中であった○子連れてプロームを離れ、

蓬萊亭主人の野沢氏の厚意により、そこに入院治療するようにした。家内の弟と○桓君、○美、○順、この4名は不幸にも遭難と同時に死んだという。5月18日にはプロームで治療を受けている○子（張○岳）を連れてラングーンに戻った。ラングーン市外のインセンにある村山氏宅で6月から8月まで泊まった。張○岳は負傷した処が完治し、再び慰安婦の営業をする。9月8日にシンガポールの大山昇君の紹介で偕行社自動車部に呼ばれ、シンガポールへの移住証明を得て、モールメン、タボイ、メルグイ等の地を回って、タイのチュンポンを経由してシンガポールに到着した。8月末頃、アキャブから出た慰安婦の金○花から、家内の弟一行の3柱の遺骨を受け取り、ラングーン兵站司令部の遺骨奉安所に安置した。故郷にもこの不幸な出来事を電報で知らせた。シンガポールに来て、大山君の処でいつも一緒に過ごし、11月から偕行社のタクシー部に勤務する。今年1年は私にとって平生の恨となる悲惨をくれた年だ。故郷からも消息が届いたが、私が常に心配している長女の○子の病が少しよくなったという。今年是不運の一年だったが、この新年は多幸を祝願して、今年の日記を終える。シンガポールには故郷の友人である菊水倶楽部主人の西原君がいて、兄弟と変わるころのない親誼を受けている。

紀元 2604 年 元旦

昭和 19 年 土曜日、晴天

晨暉、曉曇を破って、海上に日が昇り、ここに昭和 19 年の春を硝煙の下に迎えた。神武天皇の惟神の大道に遵い、万世不易の国基を定めてから正に 2604 年、1 億民衆は俯伏して陛下の聖壽無窮と皇室の彌栄なることを奉祝するばかりだ。征戦ここに第 3 年、皇軍必勝の態勢は既に成り、大東亜 10 億民衆もまたわが国に協力して、共同目標の達成に忠実たり。速やかに姦凶を討滅し、その非望を粉碎し、アジアの解放、世界新秩序の建設を完成して、大訓の聖旨に副奉する。それにより皇威を四海に輝かせなければならない。昭和 19 年こそ、敵の死命を制圧する決戦の年だ。私は元旦早朝 7 時頃に起きて洗顔をし、精神を整えた後、東天遠く宮城に向かって遥拝し、皇軍の武運長久を祈った。故郷の父母、兄弟、妻子の安在なることも祝願した。南方で年を越すのもこれですでに 2 回目である。今年こそ幸運に過ごせますように。そしてすべての仕事が計画通りに行くように。私は今年で 40 歳の半生を送った。歳月は過ぎ、人生は白髪ばかりを生やす。値千金の貴重な歳月を、有意義に過ごしていこう。大山君と菊水倶楽部の主人の西原君の招待を受け、新年の酒肴を満腹まで味わい、楽しく遊んでから、帰路、共栄劇場で映画を観てカトンの宿舎へ帰ってきて寝た。故郷の父母、兄弟、妻子とともに新年を迎えることができず、非常に悲しくて残念である。いつ、家族と一緒に、新年を迎えられるだろうか。

1 月 2 日日曜日、晴天

昭和 19 年の元旦も過ぎ、二日だ。元旦から晴れ渡った空には瑞気が漂い、わが国の隆盛が表現されること完然たるものがある。必ずや今年こそ、必勝を期するものである。朝、カトンの宿舎で起きた。朝飯を食べ、終日遊んでから、夕食を食べて夜 12 時過ぎまで遊んでから寝た。故郷の長女・〇子への手紙を書いた。大山君は偕行社を辞めると今日高橋栄氏に話したらしい。

1 月 3 日月曜日、晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤

した。偕行社タクシー部で使用する木炭の配給券を持って配給所に行き、証明を得て木炭が積んである現場に行って 5,000 斤を受け取り、トラックに積んで帰ってきた。1 斤当たり 8 円 80 銭である。19 時頃まで偕行社タクシー部職員、軍属一同と新年の簡単な宴を開いた。夜 21 時頃にカトンへ帰ってきて寝た。

1 月 4 日火曜日、晴少曇天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。横浜正金銀行のシンガポール支店に行き、貯金 1,000 円を引き出し、第 9 回発行彩券 50 枚を 50 円で買い入れた。特別市に行き、先日許可を得た販売許可書を物品別に 2 枚受け取って、以前の許可書からそれを削除した。19 時頃にカトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べて、しばらく遊んで寝た。

1 月 5 日水曜日、晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時頃に仕事が終わった後、ケアーンヒル・ロードにある菊水倶楽部に行き遊んだ。私がそこにいることを知って遊びにきた大山君と夜 11 時頃にカトンの宿舎へ帰ってきて寝た。

1 月 6 日木曜日、雨後曇晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時過ぎに仕事を終え、ケアーンヒル・ロードにある菊水倶楽部の西原君の処に行き、夕食を食べて遊んでから寝た。西原君は私に自分の家で一緒に住みたいと頻りに話す。

1 月 7 日金曜日、雨後曇天

朝、ケアーンヒル・ロードにある菊水倶楽部の西原君の処で起き、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。昨夜 10 時半頃、カトン駐車場のタクシー 310 号を運転手 52 号のマレー人が運転中、日本軽金属工業株式会社社員の武田政雄に負傷を負わせ、中央病院

に入院中だという。それほど大きな負傷はないらしい。18 時過ぎにカトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べ、遊んでから寝た。

1 月 8 日土曜日、晴曇天

カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時頃に仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べ、遊んでから 22 時頃寝た。故郷は今、厳冬雪寒でいちばん寒い季節であるが、父母、兄弟、妻子はみんな安在であるか、ただ安過泰平であることを祈願するばかりだ。ここシンガポール島は夏さながらの暑さである。

1 月 9 日日曜日、曇少雨天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。偕行社のタクシーによる衝突事故が 2 件発生した。一件は浅野物産株式会社社員が乗った乗用車との正面衝突で、人命死傷はなく、自動車のほうは、前面が少々破損した。もう一件はオートバイと追突した事故で、これもオートバイの過失が大きく、それほど大きな破損はなかった。オーチャード・ロードの偕行社タクシー部で夕食を食べた後、菊水倶楽部の西原君の処に行き、遊んで寝た。

1 月 10 日月曜日、雨天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号に位置する菊水倶楽部の西原君の家で起きた。西原君の処で朝飯を食べて、終日遊んだ。夕暮れ頃に大洋倶楽部の主人の西原氏の処に行つて遊び、夕食を食べて、富士理髪店で髭を剃って、カトンの宿舎へ帰ってきて遊んで寝た。

1 月 11 日火曜日、曇後雨天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。偕行社タクシー部勤務の西村、中原、喜多川の 3 名と、高橋、入柿、横井少尉の間である問題が生じ、お互いにいただけない点があるらしい。西村、中原、喜多川の 3 名の軍属

が、ある野心のためタクシー部に損害を与えようとした模様だ。その内容の詳細はわからないが、何か不正事実があったようだ。タクシー部で夕食を食べて、19 時過ぎにカトンの宿舎へ帰ってきて寝た。

1 月 12 日水曜日、曇後雨曇天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。今までは昼飯をオーチャード・ロードの偕行社タクシー部の軍属たちと一緒に食べてきたが、明日からはそれができなくなった。19 時頃に仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

1 月 13 日木曜日、晴後曇少雨晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時過ぎに仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

1 月 14 日金曜日、晴曇天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時頃に仕事を終え、ケアーンヒル・ロードの菊水倶楽部の西原君の処に行き、夕食を食べた。西原君夫婦と共栄劇場に映画を観に行き、帰路、オーチャード・ロードの偕行社でタクシーに乗り、大山君と一緒に市内某所の支那人の露店飲食店で氷水とヤキ米粉を食べて、西原君の処へ帰ってきた。大山君はカトンへ行き、私は西原君の家で寝た。

1 月 15 日土曜日、晴少曇天

朝、ケアーンヒル・ロード 90 号に位置する西原君の家で起き、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。午後、修理工場で取扱っているトラックに 5、6 人の土方を乗せカトン地区を通りすぎて防水用砂を車に積んで帰ってきた。偕行社タクシー部は貨物廠に所属していたが、今月 15 日を期して総軍参謀部へ移管された模様だ。19 時頃にカトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

1月16日 日曜日、晴曇少雨天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社タクシー部に出勤した。終日事務を執り、19時頃にカトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べ、ケアーンヒル・ロード90号の西原君の処に行き、2時頃まで遊んで寝た。

1月17日 月曜日、晴曇天

朝、ケアーンヒル・ロード90号の西原君の処で起き、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。今日は貨物廠でタクシー部の会計、経理事務の監査があった。夜間は22時に自動車全部を車庫に停車させ、車両検査をする。

1月18日 火曜日、晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードにある偕行社のタクシー部に出勤した。仕事を終えた後、ケアーンヒル・ロード90号の西原君の家に行き、夕食を食べて夜22時過ぎまで遊んだ。夜1時過ぎから2時半までオーチャード・ロードの偕行社のタクシー部に全職員を集合させ、貨物廠の関係員が来て点呼した。夜3時頃にカトンの宿舎へ帰ってきて寝た。タクシー部従業員は邦人14人を含めて109人だ。弟の〇〇宛てに葉書を郵送した。

1月19日 水曜日、晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。大山君に頼み、昨年末に注文した短靴2足を受け取ってきてもらった。18時過ぎに仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べて寝た。偕行社タクシー部の修理工場に勤務中の小阪伝作氏は今般辞職した。

1月20日 木曜日、曇天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤

した。偕行社タクシー部の責任者である陸軍軍属の高橋氏の言では、貨物廠のタクシー部に勤務中の自分の弟氏と大山君等邦人は全員解雇するという。高橋氏と木炭配給組合に行き、木炭 8,000 斤の出庫証を受けた帰路、支那人の料理店で入柿囑託を呼んで一緒に昼飯を食べた。仕事を終えた後、ケアーンヒル・ロードの西原君の処に行き、夕食を食べて、遊んでから寝た。西原君は朝鮮に帰郷する慰安婦 4 人を迎え入れた。

1 月 21 日金曜日、晴後曇少雨

朝、ケアーンヒル・ロードの西原君の家で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時頃に仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べた。大山君と一緒にケアーンヒル・ロードの西原君の処へ遊びに行ったが、外出して家にはいなかったのので帰路、ミヅホ食堂で若干の酒肴を食べ、カトンの宿舎へ帰ってきて寝た。

1 月 22 日土曜日、晴曇少雨天

朝、宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時頃に仕事を終え、宿舎へ帰ってきて夕食を食べた。大山君とカトンの富士劇場へ『姿三四郎』³²⁾という映画を観に行った。明日は偕行社タクシー部および販売部が休業するという。

1 月 23 日日曜日、晴夜曇晴天

朝、カトン宿舎で起き、朝飯を食べた。今日は偕行社タクシー部全員が休業で休みの日である。大山君と自動車に乗り、ケアーンヒル・ロードの西原君の処に行き、西原君と大洋倶楽部の西原氏とで、シンガポール郊外の開墾地区の農村を見に行ってきた。帰路、大東亜食堂で昼食を食べた。大洋倶楽部の西原氏の処で遊んでから、菊水倶楽部の西原君の処で夕食を食べ、遊んで寝た。

1 月 24 日月曜日、晴後少曇天

朝、ケアーンヒル・ロードの西原君の家で起き、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部

³²⁾ 富田常雄の小説『姿三四郎』を1943年に黒澤明が監督した映画。

に出勤した。午後、某インド人の商店で、先日特別市から受け取った証明によって寝巻 2 枚とタオル 2 枚を買った。19 時過ぎに仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

1 月 25 日火曜日、晴後少曇天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた後、オーチャード・ロードの偕行社のタクシー部に出勤した。今日は旧正月一日なので、支那人が経営する食堂、商店、事務所が全部休業する。夕時、大山君と一緒に某支那人の食堂でヤキ米粉を夕食の代わりに食べた。インド人の食堂で偕行社の高橋栄氏に会い、一緒にあっちこっち回りながら遊んだ。大山君と高橋氏は帰っていき、私は西原君の処で遊んで寝た。

1 月 26 日水曜日、晴天

朝、ケアーンヒル・ロードの西原君の処で起きた。オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。ひかり食堂に行って昼飯を食べ、東亜理髪店で髭を剃った。16 時頃に仕事を終えた後、カトンの宿舎へ帰ってきた。帰路、大山君と山水園食堂で夕飯を食べた。

1 月 27 日木曜日、晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時過ぎに仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

1 月 28 日金曜日、晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時過ぎに仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて夕食を食べてから、大山君とケアーンヒル・ロードの西原君の処に行って遊び、大山君はカトンの宿舎へ帰っていき、私は西原君の家で寝た。

1 月 29 日土曜日、晴天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の西原君の家で起き、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。18 時頃に仕事を終え、カトンの宿舎へ帰ってきて、夕食を食べて寝た。

1 月 30 日 日曜日、晴天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べて、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部に出勤した。午後 1 時頃に仕事を終えて、シンガポール博物館に行き、展示物の一つ、一つを観覧した。また博物館に属する図書館も見に行った。図書館はまだ設備が完全には整っておらず、書籍類も多くない。トランクを買うためにあちこち回ったものの買えず、購買許可を得た毛布 1 枚を 35 円で買った。宿舎に帰るために興南旅館の前にいると、カトンのタクシー駐車場の車が通り過ぎるのを見て停車させ、乗客に諒解を取って便乗して、カトンの宿舎へ帰ってきた。博物館の陳列品は風俗、南方の各種現地人の生活用品、鳥、虫、獣、魚類等だった。この 2 つのスタンプ³³⁾は博物館の記念スタンプだ。夕食を食べて夜 11 時頃に寝た。

1 月 31 日 火曜日、曇雨天

朝、カトンの宿舎で起き、朝飯を食べた。大山君は今般、オーチャード・ロードの偕行社タクシー部で勤務することになり、宿舎をアンダーソンロード (Anderson Road) にある高橋栄氏所有の家屋の 2 層 1 室を得て、荷物を全て移した。私は今日附で偕行社のタクシー部の勤務を解雇となることを関係者らに話した。西原君と一緒に住みたいと誘うので、今後は菊水倶楽部の西原君の家で同君と同居することを決めた。西原君夫婦、大山君と一緒に興南倶楽部で夕食を食べた。大洋倶楽部の西原氏の招待で両国料理店に行き、夜 12 時頃まで酒を飲みながら遊んだ。そしてケアーンヒル・ロードの西原君の処へ帰ってきて寝た。今夜、大洋倶楽部の西原氏の招待で、両国料理店で酒を飲んで遊んだ人は、菊水倶楽部の西原君、パレンバン (Palembang) から来て居住している金岡氏のほか、金村氏、延安氏など 6 人だった。

2 月 1 日 火曜日、晴天

³³⁾ 1月30日付けの日記の本文には、「昭南博物館」と記されている二つのスタンプが押されてある。

朝、ケアーンヒル・ロードの西原君の処で起きた。今日出発する帰国慰安婦 5 名を送別した。西原君の婦人も今日帰国するつもりだったが、また 10 日ばかり延期し、後便で行く模様だという。西原君宅で朝飯を食べて終日遊んでから寝た。今後、西原君の婦人が帰国すれば、私が帳場事務を助けることを約束した。

2月2日水曜日、晴天

朝、ケアーンヒル・ロード 90 号の西原君の家で起き、朝飯を食べた。終日、菊水倶楽部の帳場の仕事をした。大山君が二度も来て、遊んでから帰った。西原君の家、菊水倶楽部で夕食を食べて、夜 12 時過ぎまで西原君の婦人と一緒に帳場の仕事をして寝た。

2月3日木曜日、晴天

朝、ケアーンヒル・ロード 90 号の西原君の家で起きて朝飯を食べた。西原君の婦人と商店街に行って品物を買って帰る帰路、私は興亜理髪店で理髪した。西原君の家で夕食を食べて、西原君の婦人と一緒に芙蓉劇場に映画を観に行き、帰ってきて遊んでから夜 1 時頃に寝た。

2月4日金曜日、晴曇天

朝、西原君の家で起き、朝飯を食べた。今日は菊水倶楽部公休日だ。仲居³⁴⁾の〇代が行李を買いに一緒に行ってほしいというので、行李の店に行き、私も行李を一個注文した。以前は行李一個が 15 円ないし 20 円だったものの、今は 65 円だ。西原君が今般、タイピンへ転勤することになった竹内憲兵少尉を招待し、送別宴を五十鈴亭で開くことになり、一緒に行こうというので、西原君の婦人と三人で行き、2 時間ばかり遊んで、夜 23 時頃に帰ってきて寝た。

2月5日土曜日、晴後少雷雨天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の西原君の家で起き、朝飯を食べた。今日は西原君と私の居所となる部屋を準備した。夕食を食べて、西原君夫婦と一緒に大世界にボクシングを見に

³⁴⁾ 旅館や料亭などで給仕や接待をする女性。

行って、夜 23 時半頃に帰ってきて寝た。

2月6日日曜日、晴曇天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の西原君の家で起き、朝飯を食べた。夜 23 時頃まで遊んでから寝た。西原君に母親が危篤であるので速く帰国しろという電報が届いたが、事実上、早く行きたくても行けない状況であり、心配が募るばかりだ。西原君の婦人はすでに帰郷のため万般の準備をして乗船の日を待っているため、すぐにでも帰国することができる。

2月7日月曜日、晴曇雨天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の西原君の家で起き、朝飯を食べた。大洋倶楽部の西原氏と一緒に米穀の配給所に行き、西原君の家族の 2 月分の糧米および砂糖の配給を受けた。また、洗濯石けんと洗顔石けん、およびマッチの配給も受けて帰ってきた。午後、大山君と西原君夫婦、大洋倶楽部の西原氏と興南倶楽部に行き、西原君に夕飯の接待を受けた。その後、全員植物園に行き、しばらく遊んでから西原君夫婦と私は共栄劇場で『望楼の決死隊』³⁵⁾という映画に観に行き、帰ってきて寝た。

2月8日火曜日、曇少雨天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の西原君の処で起き、朝飯を食べた。大山君が来たので、一緒にシンガポール博物館に行き、観覧して帰ってきた。夕食を食べて、シンガポール最初のラジオ総常会の第 4 班隣組³⁶⁾、その常会³⁷⁾が大和屋で開催されたが、西原君は事故にあっけいけなくなってしまう、私に行ってほしいといわれたので大和屋で開かれる常会に出席した。10 時半頃に閉会して、帰って来て寝た。

³⁵⁾ 1943年の今井正監督の作品。朝鮮半島の北端の村を舞台にそこに駐在する日本武装警察隊と襲撃してくる朝鮮人抗日ゲリラ間の戦闘を描いた映画で、植民地支配を正当化する代表的な軍国主義のプロパガンダ映画であるとされる。

³⁶⁾ 1940年に制度化された公民統制を目指す最末端の住民組織で5~10号を一単位として部落会と町内会の下に設置された。

³⁷⁾ 毎月定期的に行われる隣組の集い。

2月9日水曜日、曇少雨天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の西原君の処で起き、朝飯を食べた。夕食を食べて夜 24 時ごろまで遊んでから寝た。

2月10日木曜日、曇雨夜雨天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の西原君の処で起き、朝飯を食べた。西原君の婦人は 12 日 12 時に乗船し出発することが決まったという。大洋倶楽部の西原武市氏も一緒に出発する。夕食を食べて、西原君の婦人と一緒に芙蓉劇場に行き『無法松の一生』³⁸⁾という映画を観て、帰ってきて夜 1 時頃に寝た。小川という西原君の友人が、西原君と遊んで、私と同じ部屋に来て寝た。

2月11日金曜日、雨曇天

朝 7 時に起床した。今日は紀元節であり、今日から 1 週間はシンガポール陥落 2 週の記念週間と定められ、様々な行事がある。朝早く宮城遥拝をして、皇軍の武運長久、そして戦没将兵の冥福と必勝とを祈願した。西原君の婦人は終日出発準備で忙しい。

2月12日土曜日、曇雨天

今日 12 時に帰国便乗者は集合だということで、西原君の婦人は一切の準備を完了し、家を出発して停泊場の集合所へ行った。貨物検査を済ました後、昼食を食べるため外に出た。昼食を食べた後、西原君の夫人が先に行き、西原君とその他の二人は自動車の故障で人力車に乗って若干遅れて停泊場についたものの、みんなすでに埠頭に入った後だった。特別に水上憲兵へ請願し、西原君、セレーター (Seletar) の金村氏と一緒に埠頭に入り西原君の夫人のほか数人を送別した。家に帰ってくるや家が空っぽになってとても寂しかった。夕食を食べて、パレンバン (Palembang) からきた高島氏の招待で、西原君と両国食堂に行って遊び、夜 1

³⁸⁾ 1943年10月の板垣浩李監督の映画。乱暴な人力車夫がこっそり片思いする陸軍将校の未亡人に献身する物語。

時頃に帰って来て寝た。帰郷する人を見ると、故郷に帰りたい気持ちが強くなる。

2月13日 日曜日、曇天

西原君の処で起き、朝飯を食べた。終日帳場の仕事をした。夕食を食べて、スマトラ (Sumatra) からきた高島氏の招待で、西原君、延安氏と4人で両国食堂に行き、酒を飲みながら遊んで帰ってきた。清川氏の処に同居する金川氏が、興南奉公会の生田理事を連れて菊水倶楽部の西原君の処を訪れて紹介してくれたので挨拶をし、夜2時半過ぎまでおしゃべりをしながら遊んだ。

2月14日 月曜日、曇雨天

朝、ケアーンヒル・ロード88号の西原君の処で起き、朝飯を食べた。米穀配給所に行って、昨日品切れで配給を受けられなかった塩を受けてきた。先日注文していた行李を受け取ってきた。夕食を食べて、西原君、高島氏と、両国料理店に行って、酒を飲みながら遊び、24時頃に帰ってきて寝た。

2月15日 火曜日、晴天後曇り後少々雨

朝、ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日は新生マライ発足2周年の記念日だ。西原君、高島氏および大山君と一緒に忠霊塔および昭南神社を参拝した。9時に特別市の広場で多数の邦人および現地人が集合し、新生マライ2周年記念式典を挙行した。

2月16日 水曜日、晴曇天

朝、ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原君が金岡氏宅に来いと言うので、そこに行き、夕食の接待を受けて帰ってきた。

2月17日 木曜日、晴曇天

朝、ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日、帳場の仕事を

した。夕食を食べて、西原君、大山君、高島氏と共栄劇場に行き、マライの舞踊と音楽、その他映画を観覧して、帰って来て寝た。

2月18日金曜日、曇雨天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕暮れ時にジャワ捕虜収容所の軍属で半島出身の毛利氏が来て、京城にいる大山虎一（昨年、ビルマから 6 月に帰郷）氏 の 消 息 を 伝 え て く れ た 。 大 山 昇 君 に も 安 否 を 頼 ま れ て お り 、 今 年 4 月 頃 に は シ ン ガ ポ ー ル に 再 び 来 る 予 定 だ と い う 。 来 客 が 夜 遅 く に 帰 っ て い っ た 故 に 、 夜 2 時 過 ぎ に 寝 た 。

2月19日土曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日 14 時、シンガポール特別市庁前の広場で女子青年部の救急法訓練があり、各倶楽部の慰安婦が総出動した。

2月20日日曜日、朝晴後曇雷暴雨

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日、菊水倶楽部で帳場の仕事をした。夜 1 時頃に寝た。

2月21日月曜日、曇少雨夜晴

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日、帳場の仕事をして、夜 1 時頃に寝た。私の紹介で、西原君が大山君に金 1,000 円を貸与した。

2月22日火曜日、曇少雨晴

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べて、西原さんと行李に荷物を収めていたところ、慰安婦たちが、突然酔客が抜剣して暴行したというので、西原君がすぐに駆けつけ、酔客を取り押さえ鎮めたので、荷物が完全

に片付けられなかった。夜 1 時頃に寝た。

2月23日水曜日、曇雨夜雨

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日 12 時半頃から倶楽部の全従業員に対する身体検査があった。西原君は用事があってあいにくの雨にもかかわらず、23 時頃に自動車に荷物を積んでセレターの金村氏のところに行ったが、今夜は帰ってこれないという。夜 2 時頃に就寝した。

2月24日木曜日、曇雨天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日は本菊水倶楽部公休日だ。西原君は午後セレターから帰ってきた。今般、トラック島 (Truk、今の Chuuk) で激しい海戦があって、我が方の損害も相当であるが、敵は全部撃退された。近頃は、曇雨天で、気候がとても涼しく、まるで朝鮮の秋涼の時節のようだ。さらに夜間には門を閉ざし、布団をかけないと寒いほどだ。

2月25日金曜日、曇雨天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。ガンディーのカストゥルバ³⁹⁾夫人がプーナ (Poona、今の Pune) の英国監獄で 74 年の生涯を終えたという。音響器の試験訓練が 12 時から 12 時 30 分までであった。帳場の仕事を終えて、夜 0 時半過ぎに寝た。

2月26日土曜日、曇雨天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日、菊水倶楽部の帳場の仕事をして、夜 2 時過ぎに寝た。

2月27日日曜日、曇後少雨天

³⁹⁾ マハトマ・ガンディーが13歳の時に結婚し、生涯をともにした婦人。

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。金岡秀雄氏が、ケアーンヒル・ロードの延安氏の居る住宅を、家財道具も含めて代金 1 万 4,000 円で買い入れると約束し、金岡氏が物目記載のために行こうというので、延安氏宅へ行き、物目を記載してきた。帳場の仕事をし、夜 1 時半頃に就寝した。

2 月 28 日月曜日、曇天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。延安氏が居住している家屋と家財道具に賃借権まで入れて金岡氏に売り渡したが、今日その代金 1 万 4,000 円を支払った。夕時、延安氏の招待で、西原君と高島、金岡氏と、両国料理店で酒を飲んで遊び、夜 24 時頃に帰ってきて寝た。大山昇君も偕行社のタクシー部を解雇となり、西原君の処で雇われることになった。偕行社のタクシー部の高橋氏が暫く来てほしいと電話がかかってきたので、行ったところ外出中であつたため、入柿氏だけ会って帰ってきた。偕行社のタクシー部は今般、総軍に移管されることになっているが、事務が忙しく、臨時で少し仕事をしてほしいということだ。

2 月 29 日火曜日、曇天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。横浜正金銀行で貯金 1,000 円を引き出し、そのうち 200 円は電信為替で故郷の弟夫婦に附送した。手提げカバンを 1 個買って、ワニ革財布を 1 個注文した。物価が高騰し、財布一つが 75 円だ。このように物価が暴騰したら、これからどうなるのだろうか。今年は閏年であるので、2 月は一日増えて 29 日までとなる。

3 月 1 日水曜日、曇雨天 7

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。金岡氏が今般買い受けた住宅へ今朝から移舎するらしい。暫し金岡氏宅に行き、挨拶をした。この菊水倶楽部の 2 月分の稼高および貸金の決算を終日整理して夜 1 時過ぎに寝た。

3月2日木曜日、曇雨天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原君の婦人が無事に神戸に到着したという電報が届いた。金岡氏宅への招待を受けて、西原君、大山君と高島氏と行き、夕食をご馳走してもらって帰ってきて寝た。

3月3日金曜日、曇晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日、慰安婦に関する帳簿整理をして、夜 1 時過ぎに寝た。鱧皮財布の受け取りに行ってきた。慰安婦の○子とお○の二名が廃業した。

3月4日土曜日、晴曇天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日は倶楽部公休日だ。終日帳場の仕事をし、夜 1 時半頃に寝た。

3月5日日曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原君は夕食を食べた後、夜遅くまで帰れなかった。夜 1 時半頃に就寝した。

3月6日月曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。本菊水倶楽部の 2 月分の月表を作成し、倶楽部事務所に提出した。夕食を食べて、高島氏の招待で両国料理店にて酒肴の接待を受け、夜中に帰ってきて寝た。金岡秀雄氏から敷布団一枚をありがたく貰った。

3月7日火曜日、晴天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日、帳場の仕事をし、夜 0 時半過ぎに寝た。

3月8日水曜日、晴天

早朝に菊水倶楽部で起きた。慰安婦を連れて市庁前の広場で挙行された大詔奉戴記念式⁴⁰⁾に参加した。午後には停泊場に行き、帰国する大山君の婦人のほか、知人数人を送別した。夜 22 時頃、停泊場から電話がかかってきて、大山君の婦人が乗船の後、また下船して行けなくなったとのことで、明日 9 時頃に迎えにきてほしいという。大山君がすぐさま停泊場に行き事情を聞いたところ、妊娠 4 ヶ月の女子は乗船できないと決定され、やむを得ず下船させられた模様だという。

3月9日木曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日は倶楽部公休日だ。西原君と特別市保安課に行き、菊水倶楽部の帳場で働いている従業員の届出を提出した。それにともなって、身分証明書係と奉公会の住所、職業移動変更届を提出した。大山君の婦人は今日下船させられ帰ってきた。金岡氏宅で夕食を食べた。

3月10日金曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。注文した洋服の仮縫いをしてもらい試着してみた。本菊水倶楽部の 2 月分の収支計算書を作成した。終日、帳場の仕事をして夜 24 時過ぎに寝た。

3月11日土曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、終日帳場の仕事をして夜 1 時頃に寝た。倶楽部組合事務所で隣組第 4 班の防空訓練に対する組長の講話があった。西原君の婦人から朝鮮の故郷に到着し、母親の病患も完快したという電報

⁴⁰⁾ 太平洋戦争の開戦日である1941年12月8日に天皇の「宣戦詔勅」が公布されたことを記念する式典。1945年8月まで毎月8日には国旗の掲揚、君が代の合唱、宮城遙拜、詔勅・勅語の朗読などが行われた。

が届いた。シンガポールで船に乗ってから約 1 ヶ月後に故郷に到着した模様だ。

3月12日 日曜日、晴曇天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。午後 15 時頃に西原君と市場に行き、牛肉 12 塊を 36 円で買って来た。今夜、西原君の婦人の無事到着と御母堂の完快を祝い、親しい知人 10 人ばかりを招待し、みなみ食堂で酒を飲んで遊んだ。夜 23 時頃に帰ってきて寝た。

3月13日 月曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日帳場の仕事をして、夜 1 時頃に寝た。10 時から 10 時半頃までに倶楽部の隣組全員を対象とした防空予備訓練があった。

3月14日 火曜日、晴天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原君が慰安婦の松本〇玉、郭〇順の二名を連れて特別市庁の旅行証明係に行き、帰国旅行証明手続きを提出した。三共製作所の主人である金岡氏の招待で、みなみ食堂で酒を飲んで遊び、夜 12 時頃に帰ってきて寝た。

3月15日 水曜日、晴天

朝、ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原君、金岡氏と華南銀行⁴¹⁾に行き、有獎貯金をした。黒い手提げカバン 1 個を買った。夜 12 時過ぎまで帳場の仕事をして寝た。

3月16日 木曜日、晴曇天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原

⁴¹⁾ 台湾台北市に本社を置く、台湾を代表する大型商業銀行の一つ。

君と市場に行き、買い物をしてきた。終日、帳場で遊んで、夜 24 時過ぎに寝た。大洋倶楽部の主人である西原武市氏からも、去る 11 日に京城に着いたという電報が届いたという。

3 月 17 日金曜日、晴天

朝 8 時過ぎにシンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行きおかずを買ってきた。終日帳場の仕事をして、夜 24 時過ぎに寝た。

3 月 18 日土曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行き買い物をしてきた。朝飯を食べて終日帳場にいた。夕食を食べて金岡秀雄氏がボクシングを観に行こうと言ってきたので、大山昇君と新世界拳闘場に行き、観て帰ってきて寝た。

3 月 19 日日曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車で行き、買い物をしてきた。軍専用倶楽部は、毎月公休日が 3 回だったが、今月から 2 回と決定され、8 日と 19 日が公休日だ。今日は公休日で休業だ。夕食を食べて、西原君、○代と共栄劇場に映画を観に行き、帰って来て寝た。

3 月 20 日月曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行き買い物をした。終日、帳場に座っていた。夕食後、金岡氏宅に来いと言われて行き、西原君と酒を飲んで遊んで、帰ってきて寝た。

3 月 21 日火曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行ってきた。物価が急騰し、物資が不足して、買い物が容易でない。鮮魚を買うために待っていたが、売

り切れで買えなかった。興南彩券 8 等 (50 円) 一枚が当選した。金岡氏宅に招待を受け、酒を飲んで遊び、帰ってきて帳場の仕事を終えて寝た。

3 月 22 日水曜日、晴曇天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行き買い物をしてきた。夜 1 時頃まで帳場の仕事をして寝た。この頃、雨も降らず昼には蒸し暑くて、じっと座っていても汗が出る。しかし、夜間はそれほど暑くない。

3 月 23 日木曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ビーチ・ロード (Beach Road) 市場に行き買い物をしてきた。終日、帳場の仕事をして、夜 24 時過ぎに就寝した。大山昇君は、西原君の処で雇われていたが、事情のためジョホールバル (Johor Bahru) の吉田という人の造船所で雇われることになったらしい。

3 月 24 日金曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車市場に行き買い物をした。3、4 人の知合いを呼んで、夕食兼の飲酒を始め、夜 1 時まで遊んで寝た。

3 月 25 日土曜日、晴後曇雨

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて買い物をしてきた。朝飯を食べて、横浜正金銀行に行き、慰安婦の貯金をした帰途、理髪した。慰安所倶楽部組合事務所で同組合長および副組合長選挙が開かれたが、組合長には名古屋倶楽部の瀧氏が、副組合長には中川氏が当選したという。夜 24 時頃に帳場の仕事を終えて就寝した。

3 月 26 日日曜日、晴曇少雨天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ビーチ・ロード市場
に行ってお買い物をしてきた。金岡秀雄氏の招待を受け、夕食兼飲酒をして遊んだ。金岡氏宅
を出て、西原君および金川氏と、オーチャード・ロードにある清川氏宅および金川氏宅へ向
かった。西原君は金川氏と囲碁を 2 局打って帰ってきた。今日は日曜日であるためか、倶楽
部の収入が 1,600 円余りもあった。倶楽部を開業して以来第一の最高収入だという。

3月27日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行ってお買い物
をしてきた。朝飯を食べて、横浜正金銀行に行き、慰安婦の貯金をして、自家用車ガソリン
券を石油班で受け取った。米穀の配給所に行き 4 月分の糧米の配給を受け、自家用車を呼ん
で帰ってきた。昨夜から今夜 23 時半までに防空訓練があった。帰郷した高島氏から、下関
に着いたという電報が届いた。帳場の仕事を終わらせて夜 1 時頃に寝た。大山昇君は、ジョ
ホールバルにある造船所の組合に就職したらしい。

3月28日火曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場
に行ってお買い物をしてきた。倶楽部の全従業員に対する身体検査があった。終日、帳場事務
をして、夜 1 時頃に就寝した。

3月29日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場
に行ってお買い物をしてきた。夜 1 時半まで帳場事務をして 2 時頃に寝た。昨夜から、仲居の
○代が病気で大いに苦しんでいる。

3月30日木曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場
に行ってお買い物をしてきた。夜 1 時頃に帳場事務を終えて寝た。

3月31日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行ってお買い物をしてきた。終日、帳場の仕事をした。慰安婦真〇を連れて特別市庁保安課の旅行証明係に行き、内地帰還旅行証明願を提出させた。船員朴東石氏と一緒に南昭荘食堂に行き、同氏の接待を受けた。夜 1 時半頃に就寝した。

4月1日（旧暦、3月9日）土曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、お買い物をしてから朝飯を食べた。3月30日、モスクワ市にて佐藤尚武⁴²⁾・大日本特命全権大使とエート・アー・ロゾフスキー・ソビエト社会主義共和国連邦外務人民委員代理との間で、日ソ漁業条約・北サハリン利権の延長に調印したという。漁業条約 5 ヶ年延長。興南彩券を 15 枚買い入れた。夜 1 時頃に寝た。

4月2日（旧暦、3月10日）日曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車市場に行ってお買い物をしてきた。朝飯を食べて、終日帳場事務をして、夜 1 時頃に床についた。皇軍はインド国民軍と手を組み、印緬国境を突破して、インド領内へ進撃した。

（神武天皇祭日）

4月3日月曜日、晴夜雨天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行ってきた。今日、倶楽部組合事務所が南方亭の前に移転した。前の組合事務所は通過する慰安部隊の宿舎として使われるらしい。夜 1 時半まで月末報告書を作成し、就寝した。

⁴²⁾ 日本の外交官・政治家（1882-1971）。ソ連対日参戦当時の駐ソビエト連邦大使。戦後には参議院議長などを歴任した。

4月4日火曜日、晴天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車で市場に行き、買い物をしてきた。仲居の○代は、治療のために、自動車で中央病院まで一緒に行き、下車した。シンガポール総物資配給所に行き、砂糖、塩、石鹼、マッチ、煙草などの配給を受けてきた。○代の勧めによって、帳場の仕事を任せ、共栄倶楽部の慰安婦○子（尹○重）のところに1時ごろに行って寝た。

4月5日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行ってきた。帰郷する慰安婦お○と○子は、明日船に乗るために乗船券を買った。夜1時過ぎに帳場の仕事を終えて寝た。共栄倶楽部の慰安婦尹○重（○子）もまた明日出発すると荷物を全部整理した。

4月6日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車で市場に行き、買い物をしてきた。生鮮組合に行ったら、一昨年慰安隊が釜山から出発する時、第4次慰安団の団長としてきた津村氏が生鮮組合の要員として働いていた。その間の事情について簡単に話し合い挨拶をした。暫く停泊場に立ち寄って、お○、○子、共栄倶楽部の○子を送別して帰ってきた。夜2時頃まで帳場の仕事をして寝た。

4月7日金曜日、晴後曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車で市場に行き、買い物をしてきた。今日、検徴の結果、○江が入院し、入院していた○枝が退院した。終日帳場の仕事をして、夜1時頃に寝た。

4月8日土曜日、雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動

車で市場に行き、買い物をしてきた。今日は公休日だ。夕食を食べて、芙蓉劇場に映画を観に行き、帰ってきて寝た。

4月9日日曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行き、買い物をしてきた。金岡秀雄氏が、亡くなった義理の姉の誕生日だと言って朝飯と一緒に食べようと招待してくれたので、西原君と一緒にいき、朝飯を食べて帰ってきた。終日帳場の仕事をして、夜 1 時頃に寝た。

4月10日月曜日、小雨曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行き、買い物をした。今般帰還した慰安婦二名の送金許可願を横浜正金銀行に提出し、特別市保安課に行き、今般新しく入った慰安婦○丸と○子の二名の就業許可願を提出したところ、軍医の診断書を添付して再び提出してほしいといわれた。金岡氏と車両登録局に行き、菊水倶楽部の乗用車の車体検査を受けた。夕時、西原、金岡、石熊氏と両国食堂で酒を飲みながら遊んで、帰ってきて帳場の仕事をして寝た。

4月11日火曜日、晴夜曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車で市場に行き、買い物をしてきた。昨日から、魚、野菜、うどん、パン、塩魚などは、隣組の班長が証明した購買券をもって邦人指定販売所で買い入れることになっている。夜 1 時頃まで帳場の仕事をして寝た。

4月12日水曜日、朝暴雨後曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行き、朝飯を食べて、特別市支部に行き、金川○玉と島田○玉の二名に対する内地帰還旅行証明書を受け取ってきた。朝鮮皮革南方支社（前パータ）靴店で靴一足を買った。夜 24 時過ぎに

帳場の仕事を終えて寝た。

4月13日木曜日、晴曇天

朝、シンガポールのケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行ってきた。朝飯を食べて、特別市警務課に行き、真〇の内地帰還に対する異動届を提出した。興南奉公会退出届も提出した。南方運航会社に行き、真〇、島田〇玉の二名の便乗申込みをした。朝鮮皮革会社支社で短靴一足を買った。半身像写真を撮影した。昨年 4 月 14 日にビルマのアキャブから帰る途中、遭難して亡くなった家内の弟の一周忌を迎えた。故郷ではこの日に当たって限りない悲痛にひたっているだろう。私もこの日を忘れず、亡くなった家内の弟の写真を取り出し、再拝して黙祷した。今年の当用日記帳が書店で並んでいたのですぐさま一冊を買ってきた。清川商事の金川氏が今般、新興洋行を買い取り引き続き経営するらしい。夜 2 時頃に寝た。

4月14日金曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行ってきた。朝飯を食べて、西原君と横浜正金銀行支店に行き、今般帰郷した李〇玉、郭〇順の二名に対する送金を済ました。大邱の家内に電報を打った。その他、各処の用事を済ませて帰ってきた。昨年の今日、午前 11 時頃に家内の弟他 4 人が遭難にあい、張〇岳が負傷し、残りは全員命を落とした。

4月15日土曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車市場に行ってきた。終日、帳場で仕事をし、夜 1 時頃に寝た。慰安婦を募集するため帰郷した大洋倶楽部主人の西原武市は来る 7 月に京城から出発する予定だと西原菊次君に電報が届いた。

4月16日日曜日、曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行ってきた。終日、帳場で仕事をし、夜 24 時過ぎに寝た。イタリア国王のエマヌエーレ 3 世 (Vittorio Emanuele III) が退位し、王家が没落した。印緬国境を越えた皇軍は、インパール (Imphal)⁴³⁾の要地までわずか 1 里しかないところまで進撃したという。

4 月 17 日月曜日、晴曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行ってきた。家内の返事が届いたが、いつ帰郷するのか回答を待つと書かれている。特別市警務部保安課に行き、在留証明書交換手続きをした。夜 24 時過ぎに帳場の仕事を終えて寝た。

4 月 18 日火曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行ってきた。今般、スマトラのパレンバンからシンガポールに来て菊水倶楽部が慰安婦として迎え入れることになった金〇順の就業許可の件に対して、特別市警務部保安課に行ってきた。夜 24 時過ぎまで帳場の仕事をして、夜 1 時頃に寝た。ビルマから帰郷途中の大川氏に会った。大邱の家内に電報を打った。

4 月 19 日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行ってきた。今日は公休日で慰安婦たちも全員外出する。終日、帳場帳簿を整理し、夜 23 時半頃に寝た。

4 月 20 日木曜日、朝雨後曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行ってきた。西原君の婦人から自分の兄が戦死したという電報が西原君に届いた。ビルマ

⁴³⁾ 1944年3月~7月初旬まで日本陸軍はインドの北東部の都市インパールを攻略したものの、補給線を軽視した無謀な作戦によって多くの犠牲者を出し、敗退した。

からシンガポールに渡ってきて滞在中の大川龍基、金山の両氏が、菊水倶楽部の私を訪ねてきて遊んで帰った。夜 0 時半過ぎまで帳場事務をして寝た。

4 月 21 日金曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行ってきた。新入の慰安婦二名の診断書の関係で博愛病院まで行って吉岡先生に会い、対話を交わしてから帰ってきた。夜 1 時過ぎまで帳場の仕事をして寝た。

4 月 22 日土曜日、朝晴後小雨後曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行ってきた。家内から送金を受け取ったが、家屋は手放さないという答電が届いた。特別市警務部保安課に行つて、金○順、崔○玉の二名に対する就業許可願を提出した。夜 24 時過ぎに寝た。

4 月 23 日日曜日、朝小雨後曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイと市場に行つてきた。夜 0 時半過ぎまで帳場で仕事をして寝た。

4 月 24 日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行ってきた。特別市保安課支部に行つて新しく入ってきた金○順、崔○玉の二名に対する在留届を出したら、金○順の分は証明がされたが、崔○玉の分は出産関係で遅延されるというところ、病院から安産の証明を受けて来るようにといわれた。ジョホールに行つている大山昇君が来たが、帰ってしまった。金岡秀雄氏から電報が届いた。夜 1 時過ぎに寝た。

4 月 25 日火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場

に行ってきた。朝飯を食べて、倶楽部メンバー全員が 13 時 15 分、靖国神社の臨時大祭を控え、厳粛に遙拜式を挙行した。金川○玉と島田○玉の二名を連れて検疫に行ったが、午後は休日で検疫できずに帰ってきた。夜 1 時頃に寝た。蓖麻子（ヒマシ）を植えた。

4 月 26 日水曜日、晴天

シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行ってきた。朝飯を食べて、特別市石油班に行き、5 月分のガソリン配給券を受けてきた。華南銀行に行ってお金 5,000 円を借用した。シンガポール総合物資配給所に行ってお米の配給を受けてきた。夜 1 時頃、帳場の仕事を済ませて寝た。

4 月 27 日木曜日、晴曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、市場に行ってきた。夜 1 時まで帳場で事務をし、その後寝た。先日、特別市保安課支部で金○順と崔○玉の在留証明の手続き時に、その二人の印章を置き忘れてきたようで、問い合わせてみたら預かっているということで出してくれて、それを持って帰ってきた。

4 月 28 日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車でお店に行ってお買い物をしてきた。終日、帳場の仕事をして、夜 24 時頃に寝た。

4 月 29 日土曜日、晴天

征戦下の第 3 回天長節だ。天皇陛下におかれては第 44 回目の御誕辰を迎えられた。我ら民草は、ひたすら聖寿無窮を奉祝する限りである。特別市庁前の広場で拝賀式が挙行された。今日は天長節の慶祝日であり、軍人の外出が多く、倶楽部の収入は 2,450 円余りに上り、開業以来の最高記録だった。夜 1 時過ぎ、帳場の仕事を終わらせて寝た。

4 月 30 日日曜日、晴小曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車ビーチ・ロード市場に行って、買い物をしてきた。今日も軍人の外出が多く、昨日の最高収入記録をはるかに越え、2,590 円余りの最新記録だ。夜 2 時頃まで帳場の仕事をして寝た。

5 月 1 日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車ビーチ・ロード市場に行って買い物をしてきた。華南銀行に行って、定期預金の中から金 1 万 9,000 円を借用した。凶南倶楽部に行って、西原様と仲居の〇代に会い、一緒に夕食を食べて帰ってきた。夜 24 時過ぎまで帳場の仕事をして寝た。

5 月 2 日火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車ビーチ・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝飯を食べて、特別市警務部保安課分室社会係に行ったが、電報局まで行って西原君に頼まれた電報を提出した。夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

5 月 3 日水曜日、小雨後曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車ビーチ・ロード市場に行って買い物をしてきた。終日、4 月の収入決算を作成した。夜 24 時過ぎまで帳場の仕事をして寝た。偕行社タクシー部の軍属の中原氏が夜に訪ねてきて、カトンの住所で私宛ての手紙が来ているといった。故郷の家族から来たのだろう。南方に来てからは初めての手紙だ。

5 月 4 日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてビーチ・ロード市場に行って買い物をしてきた。パレンバンに行った金岡秀雄氏が帰ってきた。

飛行機で来たそうだが、パレンバンからシンガポールまで 1 時間 40 分もかかったという。横浜正金銀行に行って家内に金 500 円を付送した。夜 24 時まで帳場事務をして寝た。

5 月 5 日金曜日、晴夜雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて人力車でオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝飯を食べて、配給所から 5 月分の配給を受けてきた。夜 24 時頃まで帳場事務をして寝た。

5 月 6 日土曜日、曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてビーチ・ロード市場に行って買い物をしてきた。4 月分の本倶楽部の月報を提出した。夜の 1 時半頃まで帳場事務をし、その後寝た。古賀海軍最高指揮官⁴⁴⁾が去る 3 月の戦線で指揮中に殉職したが、後任は豊田大将⁴⁵⁾が就任したという。

5 月 7 日日曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてビーチ・ロード市場に行って買い物をしてきた。14 時頃、倶楽部組合事務所で営業主らが集合し、組合長の帳簿記載方式の説明を聞いた。金岡秀雄氏の妻の兄が昨年 5 月 8 日広東で亡くなったが、今日がその一周忌の祭日だということで、夕時同氏宅に行ってその霊前に再拝をしてきた。そして夜 24 時過ぎまで遊び、帰ってきて寝た。

5 月 8 日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてビーチ・ロード市場に行ってきた。特別市警務部保安課営業係に稼業婦の就業許可手続きのために行ったが、係員がいなくてそのまま帰ってきた。夕食を食べて、常会に出席した。20 時半

⁴⁴⁾ 古賀峯一（1885-1944）。日本の海軍軍人。太平洋戦争で殉職した第28代連合艦隊司令長官。

⁴⁵⁾ 豊田副武（1885-1957）。日本の海軍軍人。第29代・第30代連合艦隊司令長官。

頃に帰ってきて寝た。

5月9日火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてビーチ・ロード市場に行って買い物をしてきた。偕行社タクシー部から手紙を貰ってきたが、昨年 11 月帰郷した安東の新井○治氏が大邸の家内の家を訪問して、家事の諸般の事情について手紙に書いて送ったのである。義理の父が昨年息子の悲報を聞き、間もなく病気になる、長い間呻吟したが死去したということであった。金○順、崔○玉の二名の稼業婦は就業の許可が下りた。

5月10日水曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。特別市政庁保安課に暫くの間行ってきた。4 月分の収支計算書を提出した。夜 1 時頃まで帳場の仕事をして寝た。

5月11日木曜日、晴天（未明夜 4 時に暴雨）

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行ってきた。南方運航会社^{*46)}に立ち寄ってから中央電話電信局に行き、奉化郡の新井○治氏と大邸の家内に電報を打った。夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

5月12日金曜日、曇小雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてビーチ・ロード市場に行ってきた。今日は、検徴の結果、不合格者が 6 人も入院した。20 時頃から停電となり夜の 2 時まで復旧しなかった。金岡秀雄氏宅に招待され、そこで夕食を食べ

^{*46)} 1943年3月にシンガポールで設立された、南方における海運統制会社。日本郵船・大阪商船・南洋海運が出資した。

た。夜の 20 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

5 月 13 日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行ってきた。電信局に行って頼まれた電報 3 枚を提出した。今夜も 2 時間ばかり停電となったが復旧した。南方の事業家、すなわち南方貿易営業所主の新井氏が菊水倶楽部の西原様宅に遊びに来ていて、挨拶を交わした。彼は去る昭和 17 年に慰安所の帳場で働くために来て、無一文単身で数百万円を扱う事業家になった人物だ。事業はマレーシアの漁業、貿易等だ。

5 月 14 日日曜日、晴後曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。夕食後、金岡氏の招待で西原様とその他の 3、4 人が両国食堂に行って、酒を飲みながら遊び、夜 24 時頃になって帰ってきて寝た。

5 月 15 日月曜日、晴夜曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。中央郵便局に行って西原様の自宅への送金の手続きをした。物資配給組合に寄って帰ってきた。5 月からは内地への送金も郵便局で取り扱うようになった。夜 24 時過ぎに寝た。大山昇君が来て、遊んで帰っていった。

5 月 16 日火曜日、晴後曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝飯を食べて、華南銀行、正金銀行に寄り、物資配給所で西原様に会って木炭、煙草、コーヒーの配給を受けてきた。夜 24 時過ぎまで帳場の仕事をして寝た。家内から 500 円の振込みを受け取ったという電報が来た。

5月17日水曜日、朝曇後雨曇晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。夜の 22 時頃、富士倶楽部主人の佳山氏の案内で、両国食堂で西原、金岡の両氏と酒を飲みながら遊び、帰ってきて寝た。

5月18日木曜日、朝曇後雨曇天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝飯を食べて正金銀行に行ってきた。夜 24 時過ぎまで帳場で事務の仕事をして寝た。

5月19日金曜日、朝曇後雨曇天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行ってきた。今日は本倶楽部公休日だ。夕食を食べて、仲居の○代と共栄劇場に行って映画を観た帰路、金岡秀雄氏宅に寄って、先に来ていた西原様と遊び、夜 1 時に家に帰ってきて寝た。

5月20日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。昨年 11 月に帰郷した第一星乃屋の主人の金原氏が一昨日帰ってきたそうだ。夜 24 時過ぎ、帳場事務を終えて寝た。

5月21日日曜日、朝曇後雨曇天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。ビルマに行った金沢氏が今般帰郷する途中だと来ていたが、後ほど帰っていった。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

5月22日月曜日、朝曇後雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝飯を食べて、西原様と電報を打ちに行ってきた。夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。西原君に勧められて、やむを得ずステッキ（藤製）一本を代金 30 円で買った。

5 月 23 日火曜日、朝曇後雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。終日帳場事務をしたが、また夜の 24 時過ぎまで仕事をして寝た。

5 月 24 日水曜日、曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。大山昇君が来て、去る 22 日に彼の婦人が女兒を無事出産したと伝えた。

5 月 25 日木曜日、朝晴後晴曇夜雷雨

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車でビーチ・ロード市場に行ってきた。朝飯を食べて、特別市庁保安課分室の旅行係に行つて、内地帰還者の金川○玉と島田○玉の二名に対する旅行期間延期願を提出した。煙草の配給を受けてきた。夜 1 時過ぎまで帳場の仕事をして寝た。

5 月 26 日金曜日、曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車でビーチ・ロード市場に行ってきた。朝飯後、日発電気会社に行つて、電球 8 個を買ってきた。昨年 9 月頃、菊水倶楽部からティモール（Timor）島の方へ行った李○梅という女子が、今日シンガポールへ帰ってきたと来ていた。夜 1 時まで帳場事務をして寝た。

5月27日土曜日、晴天

シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。夜の 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

5月28日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行って買い物をしてきた。シンガポール憲兵隊で勤務している古賀准尉が今般内地へ転勤することになり、近いうちに出発すると挨拶に来た。夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

5月29日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝飯を食べて、西原様と市街地に行って物を買いにあっちこっち回った。眼鏡一つを 105 円で注文した。仲居の○代が来ていたので、一緒に凶南倶楽部に行って夕食を食べた。○代は行ってしまったので、私と西原君は共栄劇場で『海軍』という映画を観た。見物に行ってきた夜 1 時過ぎに寝た。

5月30日火曜日、曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

5月31日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行って買い物をしてきた。正金銀行に行って、金川○玉の送金許可申請を提出し、眼鏡店に行って、先日注文した眼鏡を受け取ってきた。ボストンバック一つと手提げカバン一つを買った。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。ラングーンにいた三田幸稔氏が帰郷の途中でシンガポールに寄ったと、訪ねてきていた。

6月1日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝食後、興南奉公会に寄って中央電信局に行き、金本○愛、李○梅の両人が頼んだ電報を提出した。夜一時頃まで帳場事務をして寝た。

6月2日金曜日、曇少雨涼風天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行って買い物をしてきた。終日帳場事務をして夜の 24 時過ぎに寝た。今日は検徴の結果、二名が不合格となり入院したので、前に入院した者と合わせて 5 人が入院中だ。

6月3日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行って買い物をしてきた。内地に帰還する金川○玉を連れて、南方運航会社に行って指示内容を聞いた。先日刻印を付託した印鑑を貰ってきた。5 月分の月報を今日、作成完了した。夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

6月4日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行って買い物をしてきた。金川○玉を連れて停泊場に行って、便乗券を購入した。金岡秀雄氏宅で少し休息を取り、通りかかりのインド人の手相の占い師を呼び、手相を見てもらった。占い師は晩年が大変良く、寿命は 92 か 3 までだといっていた。夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

6月5日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行って買い物をしてきた。金川○玉および島田○玉の両名は、今朝 8 時に出発した。5 月

分の月報を提出した。今日は、倶楽部従業員全員に対する検便および身体検査が春乃家で施行された。6月分の米穀その他の配給伝票を受け取った。夜1時頃まで帳場事務をして寝た。

6月6日火曜日、雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝飯を食べて永福産業会社に行き、社長の永福氏の印章を世帯人員異動届の町内会長のところに押してもらおうとしたが、総務部長が外出していて果たせなかった。午後16時過ぎにボーイが富士倶楽部の自動車で物資配給所まで来ていたので、配給品を受け取って自動車に積んだ。夜24時過ぎまで帳場事務をして寝た。

6月7日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて車でビーチ・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝食を食べて永福産業会社に行って、昨日預かって貰った世帯人員異動届に町内会長の永福氏の印を押してもらい、特別市経済部食糧課に提出し、訂正してもらった。夜24時過ぎてほぼ1時頃まで帳場事務をして寝た。

6月8日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。今日は本倶楽部公休日だ。朝飯を食べ、大東亜劇場に行って保安課長の講演を聞き、続いて上映している『おばあさん』という映画を観て帰ってきた。夕食を食べて倶楽部組合事務所で開催する常会に参席した。

6月9日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。今日の検徴結果は、入院中の二名は退院し、二名はそのまま入院となり、その他の家にいる女子は全部合格となった。今月からは女

子は煙草配給がないが、倶楽部の稼業婦に対しては接待用として特別に毎日 10 本の配給がある。

6月10日土曜日、雨後曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。金川○玉の送金許可が下りたと正金銀行から通知が来た。夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

6月11日日曜日、曇り

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行って買い物をしてきた。金岡秀雄氏はシンガポール居住の手続きが思うようにならず、当局から帰還するよう言われたため、やむを得ず帰郷するつもりだといっていた。夜 1 時過ぎまで帳場で事務の仕事をして寝た。

6月12日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて自動車でビーチ・ロードとオーチャード・ロード市場に行って買い物をしてきた。朝飯を食べて横浜正金銀行の支店に行き、金川○玉の送金許可書を貰ってきた。夜 1 時半頃まで帳場事務をして寝た。

6月13日火曜日、雨後曇り

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行って買い物をしてきた。夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。4 月に帰還した郭○順の送金は彼女の帰還の直ぐ後にしたものの、未だ受け取っていないと 2 回も電報が来ていた。

6月14日水曜日、晴少雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場

に行つて買い物をしてきた。朝食後、横浜正金銀行に行つて、帰郷した金川○玉の送金をした。中央郵便局から大邸の家内に 600 円の電報為替を送金した。夜 1 時半頃まで帳場事務をして寝た。

6 月 15 日木曜日、晴後曇雷雨

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れてオーチャード・ロード市場に行つて買い物をしてきた。朝飯を食べて、倶楽部の用事で電報局や横浜正金銀行の支店に行つてきた。夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

6 月 16 日金曜日、晴天

シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で朝起きをして、ボーイを連れて市場に行つて買い物をしてきた。朝飯を食べて、銀行に行き、稼業婦の貯金をしてきた。夜の 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

6 月 17 日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、ボーイを連れて市場に行つて買い物をしてきた。朝前から熱を出しているが、全身が痛くてどうしようもないくらいだ。新しく入つてきた宋○玉のことで特別市保安課営業係の坂口氏に行つてきた。稼業婦の特配米を受け取つてきた。夜 24 時頃まで帳場の仕事をして寝た。

6 月 18 日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きた。体の具合がまだ治つていなかったなので、私は市場に行かずボーイだけを行かせた。西原様が今般、暁⁴⁷⁾白木部隊の仕事を引き受けたため、事務所家屋を賃借して掃除をした。今日は昨日より体の調子が少し良くなつたような気がする。夜 1 時半頃に寝た。

⁴⁷⁾ 陸軍船舶部隊の総称。

6月19日 月曜日、晴少曇雨天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きた。今日も体の具合がままならず、ボーイだけを買物に行かせた。朝飯を食べて、特別市保安課と同分室の社会課に行き、李○梅に対する在留証明手続きを完了した。今日は本倶楽部公休日だ。今日から明日まで防空訓練があるが、特に灯火管制に関するものだ。夜 23 時過ぎまで倶楽部事務所で集会に出て、帰ってきてから寝た。

6月20日 火曜日、晴天後曇り

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。某支那人から代金 750 円で腕時計を買い受ける約束をした。夜 24 時まで防空訓練の灯火管制がある。

6月21日 水曜日、曇夕時小雨天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今般、西原君は某部隊の指定商人となる承諾を受けたため、マレー新聞社の東側にある元東亜商会事務所を借り入れた。この事務所が軍御用達の西原澤龍氏と関係していたため、打ち合わせを兼ねて 3、4 人の知友と西原様が集まり、両国食堂に行って酒を飲み遊んだ。西原澤龍氏は明朝に帰ってくるつもりだが急用があるといい、先に行った。残りは皆もう少し後で帰って行った。

6月22日 木曜日、朝曇後雨曇天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きて朝飯を食べた。夜 24 時過ぎまで帳場の仕事をして寝た。

6月23日 金曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、セシルストリート (Cecil Street) の事務所に行ってきた。夜 24 時頃まで帳場事務をして寝た。

帰郷した金川○玉から到着したので送金をしてほしいという電報が来た。

6月24日土曜日、曇天

朝7時過ぎに起きて、セシルストリートの東亜商会に行き、チャンギ（Changi）倶楽部経営者の金澤氏を、土方10人とともに某部隊伐木所であるシンガポール付近の島嶼に送った。

11時頃に事務所からケアーンヒル・ロードに帰ってきて、朝飯を食べてからまた事務所に戻った。事務所問題は今日、西原様と台湾銀行の間で円満に解決した。倶楽部事務所に20時過ぎに集合し、組合長の話を聞いて帰ってきた。

6月25日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。歯痛で歯医者に行って治療を受けたが、それでも痛い。歯周炎で毎年のように必ず一回は死ぬほど痛い目に合う。夕食を食べて倶楽部組合事務所に集合し、組合長の演説を聞いた。夜24時頃まで帳場事務をして寝た。

6月26日月曜日、晴夜雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。歯痛で2回も治療を受けた。ガソリン切符と煙草の配給を受けてきた。電気料の予納金で250円も支払った。午後は歯痛でずっと横になっていた。夜24時過ぎまで帳場事務をして寝た。金岡秀雄氏は今般、クアラルンプール（Kuala Lumpur）に行っていたが、今日帰ってきたそうだ。

6月27日火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。歯痛治療を受けてから、外出もせず家にいた。カリムン（Karimun）島に土方を連れて行った金澤様が今日帰ってきた。夜24時頃まで帳場事務をして寝た。

6月28日水曜日、晴夜少雨

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きて、歯医者に行って治療を受け、帰ってきて朝飯を食べた。新入酌婦の宋○玉の診断書を受領し、稼業婦の就業許可手続き書類を作成した。仲居の○代の勧めにより、大東亜劇場に行って『愛染かつら』の映画を観た。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。仲居の○代と稼業婦の○子は言い争いをしていたのが喧嘩までになってしまった。

6月29日木曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。新入りの慰安婦、宋○玉を連れて、特別市保安課に行って就業許可書の下付を受けてきた。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。大邱の家内に送金して半月が経ったのに、まだ受け取ったという電報がない。

6月30日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。永福産業会社に行って世帯人員異動届に同会社の社長、即ちオーチャード・ロードの第一町内会長の永福虎氏の捺印を受け、特別市食品課に提出し、訂正してもらった。今日から毎月の末日が事務所の常会になり、第 4 班常会が倶楽部事務所で行われた。夜 10 時過ぎに常会を終えて帰ってきた。夜 1 時半頃まで帳場事務をして寝た。

7月1日土曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原様は早朝、部隊の仕事関係で出かけていった。16 時に植物園に行って食糧増産指導講習会を受講し、また植物園内の一隅で興南奉公会の耕作実習地を選び、実地作業のためにタピオカを植えた。夕食を食べて、夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

7月2日日曜日、雨曇涼天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、終日稼業婦の月末帳簿の計算整理をした。夕食を食べて夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。歯痛が完治した。

7月3日月曜日、曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日、6 月分の月報を作成して提出した。特別市保安課営業係の主任、坂口氏と撫子病院の吉岡先生が夜 10 時頃来て、営業状況および洗浄場の調査をした。夜 1 時半頃まで帳場事務をして寝た。

7月4日火曜日、曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。慰安稼業婦の許○祥（○江）は今のところ妊娠 7 ヶ月で休業届を提出した。東亜商会に行って西原様に会い、17 時頃に先に帰ってきた。夕食を食べて夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

7月5日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。物資配給所に行って、米穀、食塩、砂糖、煙草などの配給を受けてきた。夕食を食べて夜 24 時過ぎまで帳場で事務の仕事をして寝た。

7月6日木曜日、曇り後晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

7月7日金曜日、晴天

早朝にシンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きて、西原様と大和棧橋で北岬行きの暁部隊連絡船に乗り、北岬岡 2949 部隊の工場に行った。第 3 工場を西原様

が依託経営するように副隊長と約束ができたため、職工を募集して就業させた。来る 10 日から一部分依託すると言っていた。午後 15 時半頃、民船に乗って戻り、東亜商会事務所で 20 時頃までいた。ケアーンヒル・ロードに帰ってきて夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

7月8日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日は倶楽部公休日だ。終日遊んだが、夕食を食べてから倶楽部組合事務所に行って、隣組の常会に参席した。夜 1 時過ぎに寝た。

7月9日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原様は北岬工場に行ったが、夜の 1 時半頃に帰ってきた。金本○愛とその妹の○愛が今般帰郷のため廃業するといひ、主人の西原様は承諾したので、今日廃業届を出した。夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。

7月10日月曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原氏は早朝、北岬工場に行って、夜の 24 時過ぎに帰ってきた。私は 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

7月11日火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。金本○愛とその妹の○愛の二名に対する廃業関係で、保安課営業係に行って手続き書類を提出した。工場職工たちの賃金を支払うために、華南銀行に西原様の小切手を出して、金 5,000 円を貰った。東亜商会事務所で西原様が来るのを待ち、職工等に賃金を支払い、帰ってきて夕食を食べた。

7月12日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。宋○玉に対する在留証明の手続きが完了し、証明書の下付を受けた。保安課営業係から金本○愛に対する旅行証明手続きに要する証明書を受けた。今般は 10 時頃に急な警戒警報が出て、24 時頃に空襲警報が出された。1 時半過ぎに解除された。夜 2 時半頃に寝た。

7月13日木曜日、朝雨後曇晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。華南銀行に行って西原様の付託した小切手で金 3,000 円を貰ってきた。午後は北岬工場に寄って東亜商会事務所に行き、職工たちの日給帳簿を整理した。西原様と夜 10 時頃まで、職工 150 人に対して今日までの賃金を支払い、帰ってきて夕食を食べた。夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。

7月14日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。保安課分室の旅行係で旅行証明の手続き用紙を貰ってきた。夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

7月15日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べ、西原様と北岬工場に行って、終日そこにいたが、17 時頃職工の苦力に配給するための白米を部隊酒保で購入し、荷車に積んで、カトンに寄ってから東亜商会事務所に戻ってきた。20 時過ぎに帰ってきた西原様と菊水に帰り、夕食を食べて、夜 1 時過ぎまで帳場の仕事をして寝た。

7月16日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行って終日そこで過ごし、午後に帰ってきた。夕食を食べて、夜 2 時頃まで帳場の仕

事をして寝た。

7月17日 月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行って終日事務をして帰ってきた。残業 2 時間を延長することになり、20 時に終業した。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

7月18日 火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行った。終日、工場で事務をして、20 時過ぎに東亜商会の事務所に帰り、菊水倶楽部に帰ってくると 21 時半過ぎになっていた。夕食を食べ、夜 1 時まで帳場事務をして寝た。

7月19日 水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。北岬工場に行って終日事務をして帰ってきた。夕食を食べて夜 24 時まで遊んで寝た。

7月20日 木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。金本○愛と、その妹の○愛の両人を連れて、特別市保安課分室旅行係に行って、帰還旅行証明の手続き書類を提出したが、不備な点があり、そのまま持ってきた。西原様から頼まれた華南銀行への入金、送金、打電などをしてきた。東條内閣が総辞任をしたと新聞に記載されていた。

7月21日 金曜日、曇晴後雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、西原様と北岬工場に行って、終日事務をして、夜 10 時頃に帰ってきた。夜 1 時頃まで倶楽部帳場事務をして寝た。

7月22日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、西原様と北岬工場に行き、終日事務の仕事をして帰ってきた。渡船の甲板の一部が破損し、工場職工 20 人余りが負傷した。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

7月23日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、西原様と北岬工場に行き、終日事務をして帰ってきた。小磯国昭大将（現・朝鮮総督）に今般、組閣の大命が降下された。

7月24日月曜日、曇雨天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を早く食べて、西原様と北岬工場に行き、終日そこにいたが、20 時過ぎに東亜商会事務所に寄り、職工たちに日給を支払って帰ってくると 24 時過ぎになっていた。朝鮮総督には元首相の阿部大将が就任した。

7月25日火曜日、曇雨天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、西原様と北岬工場に行き、終日事務をした。20 時過ぎに東亜商会の事務所に行き、職工たちに米を配給した。23 時頃に菊水倶楽部に帰ってきて夕食を食べ、帳場の仕事をして寝た。

7月26日水曜日、曇雨曇

朝、菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行き終日事務をして、帰ってきて夕食を食べた。夜 24 時頃まで帳場事務をして寝た。西原様が依託経営をしている北岬工場には事務員がないために、毎日の忙しい作業に私を誘う。私は断るわけにもいかないので、早朝から起きて夜遅くになって帰ってきていて、体が持たない。

7月27日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、正金銀行に行って稼業婦の貯金をし、配給所から煙草の配給を受けて、帰ってきた。故郷の舎弟、〇〇に 300 円を送金した。夕食を食べて、倶楽部組合事務所に行って、組合長の演説を聞いて帰ってきた。

7月28日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行った。20 時過ぎ、東亜商会の事務所に帰ってきたら、西原様が車でカトンの酒屋にくるように言っていたと金岡秀雄氏から言われ、彼と一緒に酒を飲みながら遊び、帰ってきて寝た。

7月29日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、西原様と北岬工場に行って、終日そこにいて、帰ってきた。夜 1 時過ぎまで帳場事務の仕事をして寝た。

7月30日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を早く食べ、北岬工場に行って、終日事務の仕事をして、帰ってきて夕食を食べ、帳場事務をして寝た。夜 1 時過ぎであった。

7月31日月曜日、晴天

早朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行って終日事務をして帰ってきた。夕食を食べ、夜 1 時過ぎまで菊水倶楽部帳場で事務の仕事をして寝た。

8月1日火曜日、晴天

早朝にシンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べ、北岬工場に出勤した。今般、車両登録局が自家用自動車の徴収を行っているところで、菊水倶楽部の乗用車も今日、車両登録局から引き上げられたという。北岬工場から 20 時に出発し、帰ってきて夕食を食べたら夜 22 時半過ぎだ。

8月2日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きて朝飯を食べ、ノールカップの工場に行って、終日事務の仕事をして帰ってきて、夕食を食べた。夜 1 時頃まで倶楽部帳場事務の仕事をして寝た。

8月3日木曜日、晴天

早朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、西原様と北岬工場に行って、終日事務をし、20 時頃に北岬を出発し、ケアーンヒル・ロードの菊水に帰ってきて夕食を食べた。夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

8月4日金曜日、晴天

早朝にシンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、西原様と北岬工場に行く予定だったが、私は職工給料を計算して今日の夕時には支給しなければならなかったために行けず、急いで計算をしたものの、計算が完全に終わらず、仕上げ発動機工の残業計算は後日に計算することにした。19 時過ぎから東亜商会事務所で支給を始めたが、夜 2 時頃になって終了した。家に帰り就寝したら、夜の 2 時になっていた。今日の支給額は全部で 3 万数千円だ。

8月5日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行って、終日事務をして帰ってきた。22 時過ぎに夕食を食べ、帳場の帳簿を整理した後、寝た。

8 月 6 日日曜日、晴天

早朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行き、終日事務をしながら、職工たちを指導監督した。19 時過ぎ、東亜商会事務所に行って、職工たちに糧米の配給をして帰ってくると 22 時半過ぎになっていた。夕食を食べて帳場事務を少ししてから夜の 1 時過ぎに就寝した。

8 月 7 日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日休む間もなく、7 月分の倶楽部月報を作成し、稼業婦の 7 月収入を計算した。夜 1 時過ぎまで帳場で事務の仕事をして寝た。金本○愛とその妹の○愛、二名の旅行証明が出て、南方運輸会社に乗船の申し込みをした。

8 月 8 日火曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて終日帳場事務をした。夕食を食べて倶楽部組合事務所の常会に参席した。今般、本倶楽部組合の関係で納めた献金の総額を見たら、2 万 4,700 円余りになっていた。今日は菊水倶楽部開業 2 周年の記念日である。

8 月 9 日水曜日、朝暴雨後曇晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、正金銀行に行って金本○愛ら姉妹二名に対する送金許可申請を提出し、配給所に行って 8 月分の米穀類とその他の配給を受けた。夕食を食べ、夜 2 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

8月10日木曜日、雨曇涼天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、終日収支計算書を作成し、提出した。夜 2 時頃まで帳場の仕事をして寝た。

8月11日金曜日、朝雨後曇涼天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行って終日事務をし、20 時頃に東亜商会の事務所に帰ってきて、職工たちに残業計算の残額を支給し、菊水倶楽部に帰り、夜 2 時頃まで帳場の仕事をして寝た。

8月12日土曜日、曇雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きて朝飯を食べ、北岬工場に出勤した。19 時半頃に東亜商会の事務所に帰ってきて、残業計算の残額を職工たちに支給し、菊水倶楽部に帰ってきて夕食を食べて、夜 1 時過ぎに寝た。

8月13日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、特別市前広場で挙行される全昭南警防隊の結成式に参加した。11 時に式が終わり、各々解散した。私は乗り物がなくのんびり歩いてきたが、途中で理髪もして、11 時半頃に菊水倶楽部に帰ってきて、朝飯を食べた。終日北岬工場の職工の日給計算をした。夜 2 時頃まで帳場で事務の仕事をして寝た。

8月14日月曜日、雨曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。金本○愛とその妹の○愛は今日の 16 時に内地行きの船に乗るため、停泊場に集合した。19 時頃から夜 24 時頃まで東亜商会事務所で職工たちの賃金を支給した。夜 1 時過ぎに菊水倶楽部に帰ってきて、夕食を食べて寝た。

8月15日火曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。倶楽部組合事務所で施行されている予防接種を全員に施した。郵便局で金○先の送金をし、電報局で李○鳳、金○先、崔○任の三名の電報を打って、帰ってきた。夕食を食べ、夜 24 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

8月16日水曜日、曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。帳場事務をして、午後には東亜商会事務所に行って、夜 23 時頃まで職工たちに米配給をし、帰ってきて夕食を食べて寝た。

8月17日木曜日。曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。大邱の家内に、亡くなった彼女の弟の遺骨が着いたかと電報を打った。金岡秀雄氏宅で夕食を食べて遊んでいたが、西原様に来て、東亜商会の事務所に行って職工たちに米の配給をしてほしいといい、すぐさま行って配給をし、帰ってきて夜 1 時過ぎに寝た。

8月18日金曜日、晴曇雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きて朝飯を食べ、北岬工場に終日いて、夕時に帰ってきて夕食を食べた。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

8月19日土曜日、晴天後曇り後雨

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。工場には西原様が行くことにし、私は今日、特別市敵産課から借用した敵産家具を調査しに来るというのを待機していたが、14 時過ぎになっても来ないので、仲居の○代に任せて外出し、帳簿を買ってきた。今日は工場で作業時に事故が発生し、現地の職工一名が即死し、三名の重軽傷者が出たそうだ。

8月20日 日曜日、曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行って終日事務をした。夕時に帰ってきて夕食を食べ、夜 24 時頃まで帳場事務をして寝た。

8月21日 月曜日、晴曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。北岬工場に行って終日いて、夕時に帰ってきた。夕食を食べて夜 24 時過ぎに寝た。

8月22日 火曜日、晴曇夜雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。倶楽部組合事務所で倶楽部従業員の全員に予防注射を打ってもらった。夕食を食べた後、西原様、金岡様と軍属二名とで春乃屋料理店に行き、酒を飲み、遊んで帰ってきた。

8月23日 水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日北岬工場の職工 400 余名に対する賃金計算をした。夕食後、文明商会の金澤様が来て夜 24 時頃まで賃金の計算を手伝ってしてくれた。

8月24日 木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて北岬工場に行った。午後 18 時半に昭南東亜商会事務所に帰ってきた。20 時頃から職工への賃金支払いを始め、夜 24 時頃に終わった。菊水倶楽部に帰ってきて夕食を食べ、就寝したのは夜 2 時頃だった。

8月25日 金曜日、晴後小雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて北岬工場に出勤した。19 時に閉務して、菊水倶楽部に帰ってきて夕食を食べた。ひどく眠気がさしてきて、22 時頃に就寝した。初めて 24 時前に寝た。

8 月 26 日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原様から頼まれた送金をし、華南銀行から借用した元金 2 万 4,000 円に対する利息金を支払った。今までシンガポール野菜組合で勤めていた木下様が西原様の東亜商会に勤務するために来た。

8 月 27 日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、北岬工場に行って終日事務をした。午後 19 時頃から東亜商会の事務所で職工たちに米の配給をした。夜 23 時頃に帰ってきて夕食を食べて遊び、その後寝た。

8 月 28 日月曜日、暁雨後晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日、北岬工場の職工名簿を作成した。夜 24 時頃まで帳場事務をして寝た。

8 月 29 日火曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、終日木下様とノールカップ工場の書類を整理した。

◎（長女〇〇の悲報に接する）

8 月 30 日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日も木下様と工場の書類の作成整理をした。午後 5 時過ぎ、私宛ての葉書一枚が届いたが、差

出人は朝鮮にいる義弟、つまり妻の弟の山本○治だった。葉書の内容を見ると、出発後、常に頭から離れず、常に心配の種だった長女○○の病気が治らず、昨年2月頃に亡くなったということであり、長男○○も病により病院で治療を受けているという。私が南方に来るときは、病体を押して釜山埠頭で送別してくれた、私のかげがえのない一人娘が、その間彼女の病気が治ると神様に一日も欠かさず祈ったのに、亡くなったということか。それに長男まで病気だということ、信じられないし、私の家庭はもうなくなってしまったのだ。溢れ出す涙を禁じる道理はない。ああ、一日でも早く治り、健康な体で学校に元気に通うことを願ったのに、神様も心ないことをするものだ。私の将来は、もう幸福も栄華も全てなくなってしまった。○○は昨年16歳、女学校3年生だった。

8月31日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロードの菊水倶楽部で起きて朝飯を食べ、終日亡くなった長女○○ことを考えると、涙に迷ってしまい、一日でも早く帰郷したい。しかし一日や二日で行けるところではなく、あきれるばかりだ。今年4月初めに帰郷した共栄倶楽部の稼業婦、尹○重から無事帰還したという葉書が届いた。大邱の家内から2回にわたって送金を受け取り、家族は無事にいるとの電報が届いた。長女の死亡に対する消息を詳しく知らせてもらうために弟と家内に電報を打った。

9月1日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起きて朝飯を食べ、終日工場書類を作成した。夜1時過ぎまで事務をして寝た。富士倶楽部主人の佳山亨洛氏は倶楽部を売却し、今日引き渡したそうだ。そして、帰郷のために旅行証明願を提出中だという。

9月2日土曜日、晴 小曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。前にシンガポール野菜組合で木下様と一緒に勤務していたが、その後平山商会に勤めていた金澤様が西原様の処で勤務することを約束して、今日から来ていた。夜24時過ぎまで事務をし

た。今日は旧暦 8 月 15 日で、一点の曇りない晴れ渡った南方蒼空を真ん丸い月が、昼のように明るく照らしていた。故郷の父母兄弟妻子もこの月を見ているだろう。いつか皆で一緒に月見でもしようか。感慨無量だ。

9 月 3 日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きた。終日木下と金澤の両君と一緒に工場書類を作成した。私のいない大邱の留守宅から○子死亡、○○無事という電報が来た。夜 2 時頃に寝た。○子（○○）は長い病気で苦労し、父親の顔をも見られずあの世に行ってしまった恨みを持っているのは確実だろう。

9 月 4 日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きて朝飯を食べ、終日工場書類を作成した。夕食を食べて、金澤様と東亜商会事務所に行き、工場職員の賃金を支払って、夜 1 時頃に帰ってきて寝た。今般 10 日間の職工賃金の総額が 5 万円ばかりだった。

9 月 5 日火曜日、朝雨後晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きて朝飯を食べ、木下と金澤の両人が来るのを待って、終日工場書類を作成した。夜 4 時頃まで事務をして寝た。本倶楽部の稼業婦、許○祥（○江）は妊娠中で、夜中に中央病院に入院し、23 時半頃に男児を無事出産した。

9 月 6 日水曜日、雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。倶楽部の 8 月分の月報を組合事務所に提出した。保安課営業係に金○愛の廃業同意書を提出し、証明を受けた。今日も夜 2 時頃まで事務をして寝た。

9 月 7 日木曜日、小雨後晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。北岬工場に対する部隊経理課に提出する書類が今日完了したので、西原様が提出した。7月1日以後、8月末まで、工場が消費した金は20余万だった。夕食を食べ、東亜商会事務所に行って、職工に米穀配給をした。

9月8日金曜日、小雨後晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日北岬工場の書類を作成した。夕食を食べて常会に出席した。夜1時頃に寝た。

9月9日土曜日、晴後雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日も終日、工場書類を作成した。夜の2時過ぎまで事務をして寝た。夕食後、東亜商会事務所に行って、職工の米穀配給の残り分を配給して帰ってきた。チャンギ俘虜収容所^{*48)}の軍属が無断外出し、当倶楽部の酌婦、○枝のところで泊まったのが憲兵に発覚して、方今調査中だそうだ。同部隊の中尉が来て、○枝に対して事実調査をして帰った。

9月10日日曜日、朝晴後雨曇

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。倶楽部の8月分の収支計算書を作成して提出した。夕時に東亜商会事務所に行って、職工の何人かに対する9月上旬の賃金の未払い分を支給して帰り、夕食を食べて、夜1時過ぎまで事務をして寝た。

9月11日月曜日、晴曇天

^{*48)} 1936年英領海峡植民地の監獄として建設。42年2月の日本軍シンガポール占領後に俘虜収容所となり約3,000人の民間人を収容。また隣接するセフラン兵舎には、英豪軍捕虜約5万人を収容した。

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。保安課営業係に行って本倶楽部の慰安婦、金○先の旅行証明手続きに要する証明書を交付してもらってきた。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

9 月 12 日火曜日、未明時雨後晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。慰安婦の金○先と金○愛の二名の帰郷旅行証明下附願を提出した。パレンバンの金澤氏が今般、西原様の呼び寄せに応じ、シンガポールへ来た。夕食を食べて夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

9 月 13 日水曜日、暁雨後晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。昨年 8 月末、ラングーンの兵站司令部に預けた義弟以外の三人の遺骨を受け取り、私の帰郷時に持っていてこうと、今日ラングーン往復旅行証明願を提出した。大邱の家内に、義弟の遺骨を受け取ったか電報を打った。遺骨は、昨年部隊に依頼して本籍地に送るよう措置したが、まだ送っていないようで家内に電報を打ったのであるが、回答を待ってもこない場合は、私がラングーンまで行ってみるしかない。夕時に西原様のほか、4,5 人とカトンのハマノヤ料理店に行き酒を飲みながら遊び、帰ってきて寝た。

9 月 14 日木曜日、晴後少雨後曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原様が、パレンバンから来た金澤様夫婦、金岡様夫婦を招待して、夕食を一緒に食べた。夕食後、金澤定男と木下の両君と東亜商会事務所に行って、工場職工たちに 10 日間の賃金 4 万余円を支払って帰ってきて、事務整理をし、夜 1 時頃に寝た。

9 月 15 日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べ、東亜商会事務所に行って、工場職員の賃金の残額を支払った。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

9 月 16 日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。歯痛で支那人の歯科医に行って治療を受けた。夕食を食べ、東亜商会事務所に行って職工たちに米の配給をし、夜 11 時頃に帰ってきた。夜 1 時頃に寝た。

9 月 17 日日曜日、晴小曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、歯科医に行って歯痛の治療をしてもらい、帰ってきて朝飯を食べた。東亜商会の西原様が派遣したカリモン島の木材伐採監督員、金澤慶成が帰ってきた。同島の伐採は命令によって今般全面中止となり、軍人もシンガポールへ出てきたそうだ。今日は久しぶりに北岬工場全員の定休日だ。夜 2 時頃まで帳場仕事をして寝た。

9 月 18 日月曜日、晴夜雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べ、東亜商会事務所に行って、職工たちの米配給の残存分を配給して帰ってきた。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

9 月 19 日火曜日、朝曇後雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。本倶楽部の公休日だ。10 時頃、倶楽部事務所で稼業婦全員と業主が集合し、保安課の坂口営業主任から営業上の訓示を聞いた。その後、業主側のみが集まり、防衛司令部の倶楽部関係中尉の訓示があり、それを聞いた。

9月20日水曜日、曇り後雨後晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日帳場で事務をし、夕食を食べて夜 1 時頃まで帳場仕事をして寝た。

9月21日木曜日、雨後曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べて、西原様の招待で金岡様宅に行き、花園倶楽部主人の徳山氏夫婦、前の富士倶楽部主人の佳山夫婦と、共栄倶楽部主人の高島様と一緒に、夜 23 時頃まで酒を飲みながら遊び、帰ってきて寝た。

9月22日金曜日、曇夕小雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日遊び、夕食を食べ、夜 24 時まで帳場で事務をして寝た。昨日から風邪気味で、体の調子がよくない。

9月23日土曜日、曇間々雨天

早朝 6 時半過ぎ、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、倶楽部の邦人全員を連れて特別市前広場の総決起大会に参席した。10 時頃、大会が終わり、帰ってきて朝飯を食べた。体の調子が悪く、終日横になったり座ったりしていた。夕食を食べ、夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

9月24日日曜日、曇小雨晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロードの菊水倶楽部で起き、中央病院に診察してもらおうと行ったら、日曜日で休診だったのでそのまま帰ってきた。朝飯を少し食べたが、体の調子がよくなかったので終日何もできず休養した。夕食を食べ夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

9月25日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、中央病院に行って診察を受け、薬を貰ってきた。血液検査のために血液を採取してもらった。夕食を食べ、東亜商会事務所へ木下氏と一緒に行って、職工に月給を支払い、夜 11 時頃に帰ってきた。

9月26日火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原様から頼まれた、故郷の家族への送金をした。夕食を食べ、夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。

9月27日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きた。中央病院に行って診察を受け、注射を打ってもらい、帰ってきて朝飯を食べた。保安課分室の旅行証明係から、先般提出したビルマ往復旅行証明と、金○先と金○愛の二人の内地旅行証明が出来たといわれ、即時行って受け取ってきた。夕食を食べ、東亜商会事務所に行って職工たちに米穀を配給し、帰ってきては遊んで、夜 2 時頃に寝た。

9月28日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。正金銀行に行って稼業婦の貯金をし、南方運航会社に行って、金○先と金○愛の両名に対する内地便船申込をした。夕食を食べ夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。

9月29日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、中央病院に行って注射を打ってもらった。朝飯を食べ、正金銀行に行って、稼業婦の貯金をした。帰路、金岡秀雄宅から来いと呼ばれ、彼宅に寄った。そこで夕食の接待を受けて大いに食べ、遊んだ後、帰ってきて、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

9月30日土曜日、5時頃暴雨後晴夜雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。正金銀行に行き、稼業婦の貯金をした。夕食を食べ、倶楽部組合事務所の常会に参席した。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

10月1日日曜日、曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。金岡秀雄様から西原様と 4,5 人で遊びに行こうと誘われ、両国食堂に行って酒を飲んで遊び、夜 24 時頃に帰ってきて寝た。

10月2日月曜日、曇後小晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きた。昨夜の飲酒の余毒が残って気分が悪く、朝飯を食べられなかった。昨夜一緒に遊んでいた延安氏がオートバイに乗っているところトラックと衝突し、右手指の一本に傷を負い中央病院に入院したが、指を切断したらしい。終日、稼業婦の 9 月分の稼高を計算し、月報を作成した。夕食を食べ、夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

10月3日火曜日、朝晴後曇晴天

朝シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。倶楽部組合事務所に 9 月分月報を提出した。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

10月4日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。富士倶楽部の前主人の佳山様と陸軍病院に行き、内地帰還に必要な診断書を貰うため、軍医に診てもらおうとしたら、来る 7 日にもう一回来て受診しなければならないといわれ、そのまま

戻ってきた。南明荘で警防隊第4中隊の点呼がある。金澤定雄と木下の両人は、東亜商会事務所に行って、職工たちに賃金を支給した。

10月5日木曜日、曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。倶楽部一同と旅館、飲食店組合が合同で、今日10時半、本願寺で大宮島⁴⁹⁾、テニアン(Tinian)島⁵⁰⁾に玉砕した将兵、邦人の英霊に対し、慰霊祭を行った。夕食を食べ、金岡秀雄氏宅に行って飲酒して遊び、帰ってきて寝た。

10月6日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。体の調子が悪く、終日遊んだ。夕食を食べ、夜24時まで帳場事務をして寝た。

10月7日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。佳山様と陸軍病院に行って診断書を受け取ってきた。9月分の配給を受けた。夜1時頃まで帳場事務をして寝た。

10月8日日曜日、晴後曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起きた。今日は公休日であるが、日曜日である関係で、来る10日に変更した。夕食を食べ、倶楽部組合事務所で開催する常会に出席した。常会が終わってから帰ってきて、夜1時頃まで帳場事務をして寝た。

10月9日月曜日、晴後曇天

⁴⁹⁾ 1941年12月10日、日本軍がグアム(Guam)島を占領し、大宮島に名を変えた。

⁵⁰⁾ 北マリアナ諸島の島の一つ。1920年国際連盟より日本の委員統治領になった。

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日遊んだが、夕食を食べてから夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。南方運航会社から内地へ帰還する者は明日の 10 時まで集合するよう、通知が来た。

10 月 10 日火曜日、晴後曇夕雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日は本倶楽部の公休日だ。特別市保安課分室の旅行係に行ってビルマ・ラングーン行きの旅行証明を取り消した。保安課営業係に私の菊水の帳場解雇届を提出した。

10 月 11 日水曜日、晴後曇小雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。富士倶楽部前主人の佳山亨洛氏夫婦と共栄倶楽部の前主人の高島様夫婦は今日、内地行きの船に乗る予定だったが、急な病があつて乗れなかったらしい。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

10 月 12 日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。富士倶楽部の前主人の佳山亨洛氏と南方運航会社に行って、佳山氏の内地行き便の乗船申込をした。佳山氏は昨日病気で乗れず、今日改めて申し込んだのだ。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場で事務の仕事をして寝た。

10 月 13 日金曜日、晴小曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。横浜正金銀行と中央郵便局に行って、西原様および仲居の李○鳳の送金をした。夕食を食べ、夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。

10 月 14 日土曜日、晴夜小雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今般、病気で体が弱くなっていたので帰郷を決心し、今日旅行証明申請願を提出した。途中で富士倶楽部前主人の佳山氏に会い、高島、西河の両氏と、佳山氏の案内で、昼食を接待してもらった。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

10 月 15 日日曜日、晴後雷雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原様の勧めでやむを得ず、佳山亨洛氏と共栄劇場に行って映画を観て帰ってきた。警防隊の打ち合わせ会があり、倶楽部組合事務所に集合した。今般警防隊は隣組単位で組織改編され、第 5 中隊第 2 小隊第 1 分隊が、この倶楽部の区域とその他の区域も一部担当する。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

10 月 16 日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日から明日まで防空訓練だった。台湾の東方海面に落下した敵の機動部隊を捕捉し、空母 10 余隻その他軍艦等数十隻を撃沈した皇軍の大戦果が発表された。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

10 月 17 日火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。故郷の進永の親族、○烈から電報がきたが「妻死亡、子ども困難、早く帰ってきてほしい、返事しろ」という文章だ。胸が裂けるほど苦しく、何がなんだか分からない。妻まで亡くなると、私にはまさにこれから何の希望も、幸せも、何もないだろう。今春 3,4 月頃に帰郷しなかったことが後悔だ。どうして私の人生はこんなにも不幸、不運ばかりだろうか。神様も酷いことをするものだ。

10 月 18 日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。進永の族弟の○烈と、妻の弟の山本○治、大邱の家内に電報を打った。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

10月19日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日は倶楽部の公休日だ。仲居の○代の勧めで仕方なく、共栄劇場に行って映画を観た。帰路、金岡様宅に寄ったが、たまたま焼肉（プルコギ）を食べているようだった。一緒に食べようと勧められ、一緒に食べて遊んで、帰ってきて寝た。

10月20日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きた。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。夜 21 時頃、警戒警報が発令し、大和屋分隊長の処に警防隊員が集合し、解除されるのを待つて解散した。

10月21日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、華南銀行に行って西原様の小切手で 7,390 円を受け取って帰ってきた。11 時過ぎに警戒警報が発令されると、直ぐに空襲警報が発令され、12 時過ぎに解除された。敵機の爆撃はなかった。夕食を食べて夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

10月22日日曜日、晴後雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べて倶楽部組合事務所で隣組会議に参席し、帰ってきて夜 1 時まで帳場事務をして寝た。

10月23日月曜日、晴雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。シンガポール総合物資配給所に行って 10 月下旬（2 回分）の煙草の配給を受けてきた。夕食を食べ、夜 1 時まで帳場事務をして寝た。故郷の大邱からは「送金受け取った、無事、今は帰ってくるな」という電報と、京城の尹○重からは「急事有り、いつ帰ってくるか即答せよ」という、2 通の電報が来ていた。今日から東急電鉄会社で邦人専用タクシーの運行を行う。

10 月 24 日火曜日、晴雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。大邱の家内に 600 円を送金した。京城府○○町 232-69 尹○重に打電した。金岡秀雄宅で雨宿り中、金澤（パレンバンから来昭）氏の案内により稲荷すし屋で接待を受けた。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

10 月 25 日水曜日、曇小雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べ、スマトラのパレンバンからシンガポールへ来た宮本敬太郎と、第一白牡丹の前慰安婦だった現仲居が今般結婚したが、今夜両国食堂で知己の人を招き、祝賀の酒を飲むと誘われて行ったが、帰路、白牡丹にまで寄って祝賀し、帰ってきて寝た。

10 月 26 日木曜日、晴小曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今般帰郷する金○愛の送金許可申請書を提出した。夕食を食べて遊び、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

10 月 27 日金曜日、曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。慰安婦の金○先が送る送金 600 円を、本人の貯金から下ろし、中央郵便局で附送した。夕食を食べ、夜 24 時まで帳場事務をして寝た。

10月28日土曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べて、シンガポール総合物資配給組合に行って、ハンカチと靴下の特配を受けてきた。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。フィリピン東方海面やレイテ (Leyte) 湾で敵の艦船 70 余隻を撃沈破した大戦果があったそうだ。⁵¹⁾倶楽部従業員の身体検査が行われた。

10月29日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べ、夜 1 時まで帳場事務をした。旅行証明申請をしてからもう 15 日も経ったのに、未だ何の通知もない。

10月30日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。金岡秀雄氏宅で遊び、夕時に帰ってきて夕食を食べ、帳場事務をして、夜 1 時頃に寝た。南部太平洋のアンボン (Ambon) で慰安業を経営し、帰還中の金澤、藤田の両氏と、西原様の紹介で挨拶を交わした。

10月31日火曜日、朝晴後曇小雨

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、検疫所に行って、警防隊全員の血液型検査をした。私の血液型は A 型だという。南方運航会社に金○愛の乗船申込をした件は、前回乗らなかったことより取り消しになったとのことで、改めて申し込むよう電話がかかってきたので、すぐに南方運航会社に行って乗船申込をした。ビルマ・ラング

⁵¹⁾ レイテ沖海戦 (Battle of Leyte Gulf)。1944年10月23日から25日にかけてフィリピン海域で発生した、日本海軍とアメリカ海軍との一連の海戦の総称。日本海軍の戦力はこの海戦での敗北を最後に事実上壊滅した。また、この海戦で日本側ははじめて神風特別攻撃隊による攻撃を行った。

ーンで洋服事業をしていた平沼氏に偶然会ったが、今般帰郷の途中だそうだ。夕食を食べて常会に出席し、帰ってきて帳場事務を夜 1 時頃までして寝た。

11 月 1 日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日、帳場事務をした。夕食を食べ、金岡秀雄氏宅で遊び、帰ってきて夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。

11 月 2 日木曜日、朝晴後雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。特別市保安課分室から旅行証明が出来たという通知が来て、すぐさま行って受け取ってきた。夕食を食べて夜 24 時頃まで帳場事務をして寝た。

明治節⁵²⁾

11 月 3 日金曜日、晴後曇小雨天

朝早く菊水倶楽部で起き、南明荘前の広場に行って、隣組員の邦人全員と明治節拝賀式を挙行した。10 月分の本倶楽部月報を提出した。夕食を食べて夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。

11 月 4 日土曜日、朝晴後雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。南方開発銀行^{*53)}に行って 3 万 9,000 円の送金許可申請を提出した。南方運航会社に乗船申込をした。夕食を食べて夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

11 月 5 日日曜日、朝晴後曇雨天

⁵²⁾ 明治天皇の誕生日である11月3日を記念する祝日。

^{*53)} 正しくは「南方開発金庫」。

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、物資総合配給所に行って今月分の配給券を受け取った。特別市保安課営業係の坂口警部のところを訪ね、本倶楽部の仲居の○代に対する解雇同意書と、稼業婦の○美の廃業同意書を交付してもらってきた。夕食を食べて夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

11 月 6 日月曜日、朝晴後曇雨

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。西原様付託の送金をして、○美の帰国旅行証明申請書を提出した。夕食を食べ、夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。

11 月 7 日火曜日、朝晴後雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。金岡秀雄氏宅に行って終日遊び、夕食を食べて帰ってきた。夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

11 月 8 日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。仲居の李○鳳の旅行証明申請書を旅行証明係に提出した。夕食を食べ、倶楽部組合事務所に行って常会に参席した。夜 24 時頃に寝た。

11 月 9 日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。横浜正金銀行シンガポール支店に行って慰安婦の貯金をした。夕食を食べ、夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

11 月 10 日金曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べて夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。アメリカ大統領選挙でルーズベルトが四回目の当選を決めたそうだ。京城府黒石町の尹○重より 3 通の手紙が来た。

11 月 11 日土曜日、朝晴後曇天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。倶楽部組合総会があったが、組合長選挙に全組合長の勝鬨倶楽部の瀧光次郎氏が再選された。南方運航会社から内地帰還者は検疫を受けるよう通知が来た。私はまだ送金許可も受けていない上、未整理の事もあり、どうしようかと悩んでいるところではあるが、万事を西原様に付託して出発したいと思っている。

11 月 12 日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起きた。シンガポール検疫所に行って検疫を受け、特別市財務課為替係に行って送金許可の件に対して問い合わせた後、同市旅行係に金○愛の旅行期間延期願を提出した。夕食を食べて夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

11 月 13 日月曜日、晴曇雨天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べずに、中央電信局および銀行等に寄って、13 時過ぎに帰ってきた。今般内地行きの船に乗るため、検疫まで受けたが、送金手続き等が未了で、やむを得ず行けなくなった。夕食を食べて夜 2 時頃まで帳場事務をして寝た。

11 月 14 日火曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、今般帰郷する金○愛を連れて南方運航会社に行った。私は特別市財務課、同保安課分室の旅行証明係に寄って帰ってきて、14 時頃に朝飯を食べた。内地に帰還する佳山夫婦と高島夫婦は、今般は出発しな

いことにしたといていたが、また出発することに決定したそうだ。金○愛の送金も完了した。

11月15日水曜日、晴雨曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、特別市為替管理係に行つて送金許可書を受け、保安課営業係、華南・正金の各銀行と中央郵便局等に行つて用件を済ませて帰つてきて、13 時頃朝飯を食べた。稼業婦の金○愛は今日、内地に帰還する船に乗つた。夕食を食べて夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

11月16日木曜日、晴後曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。特別市保安課営業係に行つて、帰国した金○愛の酌婦認可書を納付した。夕食を食べ、夜 1 時過ぎまで帳場事務をして寝た。

11月17日金曜日、曇り後雨後曇り

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。西原様と大世界遊芸場に行つて、現地製ブランドデーとウィスキーを買つてきた。

11月18日土曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

11月19日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

11月20日月曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、佳山様と南方運航会社に行って内地行き乗船申込をし、帰ってきて朝飯を食べた。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。

11月21日火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べ、仲居の○代と芙蓉劇場で映画を観て、帰ってきて寝た。仲居の○代と稼業婦の○美の旅行証明が出来たそうだ。大邱の家内に電報を打った。

11月22日水曜日、晴後雨天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。仲居の李○鳳と稼業婦の金○守の両名の旅行証明を受け取ってきた。あわせて南方運航会社に二人の乗船申込をした。夕食を食べ、24 時まで帳場事務をして寝た。

新嘗祭⁵⁴⁾

11月23日木曜日、曇後雨夜晴

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。佳山亨洛氏と市街にオーバーコートを買いに行ってきた。夕食を食べ、夜 1 時頃まで帳場事務をして寝た。佳山氏夫婦、藤田房吉氏と一緒に菊水倶楽部の西原様宅で夕飯を同食し、快遊する。

11月24日金曜日、晴後曇雨天

朝、シンガポール市ケアンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。正金銀行に金○守の送金許可申請を提出し、中央郵便局で李○鳳の送金をした。帰路、オーチャード・ロード偕行社のタクシー部に行ったが、手紙があるといわれ貰ってみたら、故郷の舎弟

⁵⁴⁾ 日本の宮中祭祀の一つ。天皇が新穀を天神地祇に捧げる祭祀のこと。

〇〇が送ったものだった。手紙の内容は、送金は2回も受け取ったということ、皆無事にいるから安心して早く帰郷せよという、簡単な手紙だった。夕食を食べ、夜1時頃まで帳場で事務の仕事をして寝た。

11月25日土曜日、晴曇少雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、倶楽部組合事務所に集合して、大東亜戦争3周期記念祝賀行事を控えた勤労奉仕作業があった。即ち、昨年2月18日に戦死した梅澤、小關の両准尉の墓がケアーンヒル・ロード後面にあり、伐草清掃をした。今月第2回分の煙草の配給を受けた。夕食を食べ、夜1時頃まで帳場事務をして寝た。

11月26日日曜日、晴後雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日遊び、夕食を食べて、夜1時頃まで帳場事務をして寝た。

11月27日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。花園倶楽部の女主人の主催で、本菊水倶楽部で飲食を用意し、夕食を兼ねて食べた。招待客は佳山夫婦、藤田氏、高島氏、花園倶楽部主人夫婦、西原様等だ。夜1時頃、酒に大いに酔い、寝た。

11月28日火曜日、曇暴雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード88号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。13時半頃から約1時間半、大暴雨となった。シンガポールの雨は5分、10分間に過ぎないにわか雨だったが、今日の暴雨は1時間半の間、少しも休まず降った。誠にまれな大雨だ。夕食を食べ、夜1時頃まで帳場事務をして寝た。

11月29日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べ、仲居の〇代から映画観に行かないかと誘われて、一緒に行く途中、佳山様夫婦と高島様に会って、全員で芙蓉劇場に行行って日本ニュースと『おもかげの街』という映画を観て、帰ってきて帳場事務をし、夜 1 時頃に寝た。

11 月 30 日木曜日、曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べて倶楽部組合事務所に行行って常会に出席した。常会で決議した新しい事項があるが、これは明日から 7 班の邦人は二人ずつ夜 1 時から明朝 8 時まで防空に対する不寝番をするということである。22 時半頃に常会が終わり、帰ってきて帳場帳簿を整理して寝た。

12 月 1 日金曜日、曇晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。横浜正金銀行に行行って金〇守の送金許可書を受け、特別市食品課に行行って金〇愛の転出に因る異動届を提出した。配給組合で 12 月分の配給伝票を受け取ってきた。夕食を食べ、夜 24 時過ぎまで帳場事務の仕事をして、西原様の代理として防空不寝番をするために組合事務所に行行った。

12 月 2 日土曜日、曇晴天

朝 8 時に防空不寝番が終わって帰ってきてから、戦死者墓所の清掃勤労奉仕に参加し、9 時から 10 時半頃まで隣組の勤労奉仕をして、帰ってきて朝飯を食べた。終日 11 月分の倶楽部の稼業婦の稼高帳簿を計算した。夕食を食べて、夜 1 時頃まで帳場事務の仕事をして寝た。

12 月 3 日日曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日 11 月分の倶楽部月報を作成した。夕食を食べて、夜 1 時頃まで帳場事務の仕事をして寝た。

12月4日月曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。正金銀行に行って金○守の許可済みの送金 1 万 1,000 円を送金してもらった。先日修理を頼んだ腕時計を服部時計店から受け取ってきた。夕食を食べて、夜 24 時頃まで帳場事務の仕事をして寝た。ジャワ島とスマトラ島に居住していて、今年 6 月、故郷に帰った中○という女子が今日、内地からシンガポール市を経由してジャワに行く途中だということに来ていた。

12月5日火曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。中央郵便局に行って金○先の故郷への送金をしてやった。夕食を食べて、夜 1 時頃まで帳場事務の仕事をして寝た。

12月6日水曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。今日、防空訓練があった。夕食を食べて、夜 1 時頃まで帳場事務の仕事をして寝た。

12月7日木曜日、晴天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。佳山様と、清川様の見舞いに行ってきた。夕食を食べて、夜 1 時頃まで帳場事務の仕事をして寝た。

12月8日金曜日、曇晴天

今日は大東亜戦争 3 周年記念日だ。朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。夕食を食べて、組合事務所で開催する隣組の常会に出席した。夜 1 時頃から防空当番をして夜を明かした。

12月9日土曜日、曇雨天

朝 8 時まで倶楽部組合事務所で防空当番をし、帰ってきて 11 時頃まで寝た。11 月分の収支計算書を作成した。夕食を食べて、夜 24 時過ぎまで帳場事務の仕事をして寝た。

12 月 10 日日曜日、曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。11 月分の収支計算書を組合事務所に提出した。夕食を食べて、夜 1 時頃まで帳場事務の仕事をして寝た。

12 月 11 日月曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。稼高日記帳と賃借計算簿を、検閲のために特別市保安課営業係に提出した。仲居の李○梅の解雇届を提出したら、明日、本人を送るよういわれた。中央郵便局で李○鳳より頼まれた送金をし、帰り道に金岡秀雄氏宅で遊んだ。夕食を食べて、西原氏と芙蓉劇場へ映画を観に行ったが、帰りに富士倶楽部に寄ったら倶楽部主の西河氏からお酒を飲みながら遊ばないかと誘われ、夜 11 時頃まで遊び、帰ってからは帳場仕事をして、1 時頃に寝た。

12 月 12 日火曜日、晴小曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。芙蓉劇場に行って『次郎物語』という映画を観た。夕食を食べて、夜 1 時頃まで帳場事務の仕事をして寝た。

12 月 13 日水曜日、曇夜雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。終日遊び、夕食を食べて、夜 1 時頃まで帳場事務の仕事をして寝た。

12 月 14 日木曜日、晴曇小雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。特別市保安課営業係に行つて、先日検閲のために提出していた酌婦日記帳を受け取つてきた。15 時半過ぎに南方運航会社から内地旅行者は今日中に検疫を受け、明日 10 時まで集合するよう、通知が来た。今日はもう検疫の時間が過ぎていたので、できなかった。夕食を食べて、夜 2 時まで帳場の仕事をして西原様と話し合つてから寝た。

12 月 15 日金曜日、晴曇天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、朝飯を食べた。南方運航会社に行つて便乗の件、手続きをして、検疫所で検疫を受けた。16 時に停泊場に行つて乗船票を買い入れた。金岡秀雄氏の招待でみなみ食堂に行つて、お酒を飲みながら遊んだ。夜 2 時頃、荷物を準備して寝た。

12 月 16 日土曜日、晴曇雨天

朝、シンガポール市ケアーンヒル・ロード 88 号の菊水倶楽部で起き、横浜正金銀行に行つて許可された 3 万 9,000 円を送金し、検疫所に行つて検疫証明書を受け取つてきた。今日の便乗者の集合時間は 12 時だが、いろんなことで忙しくなり、13 時過ぎに稼業婦の皆と別れの挨拶をし、停泊場集合所に行つて手荷物の検査を済ませ、17 時頃に乗船した。船内での第一夜を過ごすことになったのだ。西原様が後日飛行機便で行つた方がいいと強く引き止めたのも顧みず、別れることとなったのだが、停泊場まで見送りにきてくれた。本船は阿波丸だ。

12 月 17 日日曜日、晴雨天

船の中で初めて一晩を過ごした。停泊したままで、出航していない。

12 月 18 日月曜日、晴曇雨天

この船は停泊したまま、また一日を過ごした。

12 月 19 日火曜日、晴曇天

港外で停泊中

12月20日水曜日、曇天

港外で停泊中

12月21日木曜日、曇小雨天

港外で停泊中

12月22日金曜日、曇細雨天

港外で停泊中

12月23日土曜日、曇天

港外で停泊中

12月24日日曜日、晴薄曇小雨天

停泊中

12月25日月曜日、晴天

停泊中

12月26日火曜日、晴天

12月27日水曜日、曇後暴風雨天

12時頃から始まった暴風雨が終日継続し、航海に障害が多い。時にはものすごい大きさの波が船上甲板に打ち込み、船体が動揺していたため船酔い者が続出した。幸い私は全く船酔いしていない。昼間より夜がもっと甚だしく、一晩中波の音で眠れない。

12月28日木曜日、曇風小雨天

今日も風勢は前の如く猛威を振るい、波濤を起し船を揺さぶっている。

12月29日金曜日、晴天

今日は暴風が遠のき、海面も穏やかになっている。11時過ぎ、サンジャック (Saint Jacques, 現在のベトナム・Vung Tau) 港に停泊した。出航後満3日かけて、この港に着いたのだ。

18時頃、再び出港した。

12月30日土曜日、晴天

終日航海し、18時頃カムラン (Cam Ranh) 湾に入港し停泊した。

12月31日日曜日、晴天

今日で昭和19年も終わりだ。私たちが乗っている船は、日の出の8時頃に再び出港し、航海を続けている。終日航海していたが、18時頃には佛海 (仏印?) の某湾に停泊した。

解題：第4次慰安団

安秉直

（ソウル大学校名誉教授）

緒言

1990年代初め、日本軍慰安婦問題は、日韓にとっては勿論のこと、世界的にクローズアップされた。それ以来、20年余りにわたって、関連する資料の発掘、慰安婦経験者らの証言および研究の蓄積が引き続き行われてきたものの、同問題は未だに、その実態さえまともに把握されていないところがありにも多いと思われる。その原因としては、まずこの慰安所政策を主導していた日本軍部が、問題の性格上、事実を隠蔽すべく最初から資料の作成と公開とを極端的に抑制せざるを得なかったこと、また、この職業に携わった多くの人々も自らの営業に関する記録を残すことができなかつたことが考えられる。そのように、日本軍慰安婦問題については、本来その資料が極めて不足している上、日本政府が調査・発表した『「従軍慰安婦」関係資料集成①～⑤』（1997-98）においても、朝鮮総督の資料は丸ごと抜けている。そのため、韓国における日本軍慰安婦問題に関する研究は、新聞や雑誌などに載せられた2次的資料や慰安婦経験者の証言、他国の資料に含まれた朝鮮人慰安婦に関する資料に頼る他なかつたのである。

そのような状況の中、今回、ビルマとシンガポールにおいて約2年半にわたって日本軍慰安所の帳場の仕事をしてきた人物の日記が発見されたのは、大きな意味を持つことであると言える。この日記の筆者は、植民地時代の有識者として、物事に対する観察力のある程度備えていた。さらに、この日記は、筆者の個人的な生活上のものであって、慰安所の経営や慰安婦問題を体系的に理解しようとする努力は見えないものの、慰安婦問題に関して多岐にわたる情報を提供している。また、日記が1943年と1944年の2年間のものしかないという限界はあるものの、他の資料で日記の不足点を補完すれば、この日記から読み取れる慰安婦問題の実体を復元できると思われる。ここで言う「慰安婦問題の実体」というのは、第4次慰安団の存在である。日本軍部が組織したこの慰安団の存在は、慰安婦が単純に慰安所業者らの営業手段として個別に募集されたのではなく、日本軍部によって計画的に動員されたという事実を裏付けるものである。

このような観点からすると、日本軍部が慰安婦問題に対して「関与」したという現日本政府の認識には、問題があると思われる。もし日本軍部が、朝鮮総督府および朝鮮軍司令部の協力を得ながら慰安所業者らに慰安婦を募集させ、当時の風聞で取りざたされたような「第1・2・3・4次慰安団」などを組織し、順次動員していたとすると¹、それは日本軍部の単なる「関与」ではなく、徴用・徴兵および挺身隊のような「日本政府による戦時動員」として理解する他ない。もし

¹ 風聞に関する研究としては、藤永壮「戦時期朝鮮における「慰安婦」動員の「流言」「造言」をめぐって」（落星堡経済研究所『日帝の戦時体制と朝鮮人動員』2006.3）がある。

そうであれば、旧日本軍部が慰安所業者と慰安婦を軍属的な地位に置き、彼らを日本軍の酒保の下部組織として編成し、自由に戦線を連れ回していた事実を理解することは容易である。

今回発見された同資料は、慰安所業者らが営業のために慰安婦を連れて日本軍部隊を追い回したのではなく、日本軍部隊が軍の下部組織として編成されている慰安所と慰安婦を戦線に連れ回したという事実をよく示している²。

1. 筆者と日記の紹介

1) 筆者（1905-1979）について

日記の筆者は、1905年に慶尚南道金海郡で生まれ、1979年に死亡した。彼は、1922年に金海公立普通学校（5年制）を卒業し、その翌年から今の金海市にある某登記所の雇員として勤めた。登記所で働いていたところ、ある土地所有権紛争事件に巻き込まれ、それ以上そこで働くことができなくなり、1929年からは今の金海郡進永邑に所在していた代書人事務所で勤務していた。その後、いつからなのかは定かではないものの、進永邑で自らの代書人事務所を開設したという。その代書人事務所の経営がうまく行ったのか、筆者は日本製の山崎自動車に乗るほど豊かな生活を送っており、進永では旅館に長期滞在する一方、大邱には妾を置き、旅館も営んでいた。こうした幾つかの事実から考えると、日記の筆者は、植民地の有識者として富の蓄積にもある程度成功したと思われる。

ところが、1940年代の統制経済時代に入ると、筆者の代書人事務所事業は不況に見舞われたようである。そのため、1941年には大邱の妾の家で暮らすようになったが、ちょうどその頃、慶尚南道陝川で酌婦9人を集めて満州で料理店を経営する計画を持っているという廣川3という人物に4,000円を貸したところ、結局騙されてしまい、経済的に追い込まれることになる。当時の4,000円は、下級労働者の10年分の給料よりも多い金額であった。日記の筆者が、大邱で慰安婦を募集して南方へと発つ妻の弟に合流するようになった動機は、前述のような彼の経済的な事情と、旅館業を通して酌婦に対する人身売買の事情を知っていたという家族的な背景であったのではないかと推測される。日記の筆者の義弟（妻の弟）である、慰安所経営者の山本○宅は、慰安婦19人（1人の仲居を含む）を募集し、日本軍により組織された「第4次慰安団」に筆者とともに参加した。

日記の筆者がビルマとシンガポールに滞在していた期間は、1942年8月20日から1944年末

² 「慰安所と慰安婦が日本軍の最下部組織であった」という点については、永井和「日本軍の慰安所政策について」（<http://nagaikazu.la.cocan.jp/works/guniansyo.html>）がある。なお、同論文は、永井和『日中戦争から世界戦争へ』（思文閣出版、2007）にも、「日中戦争と陸軍慰安所の創設」と改題の上で第五章として収録されている。

³ 日帝時代末期の創始改名による朝鮮人の名字である。以下、すべての朝鮮人の日本式名字の表記についても同様である。

までの2年5ヵ月間である。彼は、1943年10月20日から1944年1月末までの間、シンガポールにおいて旧日本陸軍将校の親睦・共済団体である偕行社タクシー部で暫く働いていたものの、南方に滞在していた間、おおむね日本軍慰安所の帳場として勤務していたと言える。1942年8月から1943年1月16日までは「勘八倶楽部」、1943年5月1日から9月初めまでは「一富士楼」、そして1944年2月1日から12月中旬までは「菊水倶楽部」で、それぞれ帳場に勤務していた。「帳場」とは、商店や旅館・料理店などで帳簿付けや勘定などをするところである。彼が菊水倶楽部の帳場に勤務していた間、軍慰安所の実務は主に彼が担当した。したがって彼の日記には、軍慰安所の重要な経営内容が自ずと盛り込まれているはずである。

2) 日記について

筆者は、普通学校を卒業した1922年から1957年までの36年間にわたって、ほぼ一日も欠かさず日記をつけてきた。日記帳は第1号から第36号までであるが、第1～3号が1冊からなっていることを除いて、1年1号、各1冊である。現在残っている日記は、1928年・1942年および1945年～1950年の8年間の欠落分を除く26冊である。各冊の最初には日本の紀元と年号が記載され、年度の表記は明確である。さらに、日記の号数、干支、檀紀、西暦及び日本の年号が記録された帯紙が表紙に添付されているものもあるが、これらは後に再整理する過程で追加されたものと見られる。現在、同日記は京畿道坡州市にある博物館「タイムカプセル」に所蔵されている。同博物館は、慶州のある古本屋から10年前に同日記を入手したという。

日記はほとんどがその翌日の朝に記録されたものと見られる。日記に登場する出来事は、その時その時の記録であるだけに、事実そのものである。また、日記の作成に用いられた文字は主にハングルと漢字であるが、時々日本語の仮名も散見される。文章は基本的に韓国語体であるが、漢文体で解釈しないと意味が通じないところが多い。そのため、文法が間違っているところが多い。したがって日記を正確に読み取るためには、文章の文法を正しく訂正する必要がある。書体は基本的に行書であるが、たまに草書も散見する。韓国語の文体が十分発達していなかった当時の状況を鑑みれば、原文はそれ自体として非常に見事な韓国語文体であるものの、今日の一般読者が読むには様々な困難があるだけに、それを現代文に直した。

日記のうち、日本軍慰安婦に関する調査・研究において有益な情報を提供するものは、1942年から1944年までの日記であろう。なぜならば、同期間において日記の筆者は、何らかの形において軍慰安婦の募集と慰安所の経営に関与していたためである。しかし、非常に残念なことであるが、現在、1942年分の日記は欠落している。1942年の日記には、朝鮮における慰安婦の募集と、ビルマにおける慰安所への慰安婦の配置過程に関する情報とが記録されている蓋然性が高い。しかし、今残っている1943年と1944年の両日記だけでも、日本軍慰安所と日本軍慰安婦に関して多方面に及ぶ情報が含まれている。ただし、上で指摘したように、同日記は筆者の個人的な生活

に関する記録であって、慰安所の経営に関する日誌ではないことから、慰安所の経営に関する体系的な情報は提供できないという限界がある。

したがって、同日記を基にして慰安婦と慰安所に関する事実関係をまとめるには、日記の中心内容となる第4次慰安団に関する他の資料と調査・研究を参考にしなければならない。第4次慰安団に関する他の資料としては、米国戦争情報局心理作戦班の『日本人捕虜尋問報告』第49号、連合国最高司令部連合翻訳通訳局調査報告、『日本軍慰安施設』第2節慰安施設 9 慰安所 b ビルマ (1)、森川万知子『ビルマ戦線楯師団の「慰安婦」だった私』（梨の木舎、1996、キム・ジョンソン訳『머마전선일본군 ‘위안부’ 문옥주』美しき人たち、2005）が重要である。上記2つの資料は、その分量こそ多くないものの、日記資料に欠落している多くの情報を教えてくれる決定的な資料であるため、訳してこの本の付録として載せている〔翻訳者注——本翻訳では省略〕。

2. 慰安婦の動員と出陣

1) 動員

第4次慰安団の動員は1942年5月初めに日本軍が慰安婦の募集のための依頼人を京城に派遣したことから始まったという（「付録1」「動員」を参照）。元々、日本や植民地における慰安婦動員の過程は基本的に、各地の派遣軍司令部による動員地への依頼人派遣→動員地の政府（あるいは領事館）や軍司令部への協力要請→周旋人（すなわち慰安所業者）への慰安婦募集の依頼→周旋人による慰安婦募集、という手続きで行われていた。5月初め、日本軍によって京城に派遣された依頼人は、朝鮮総督府ではなく、朝鮮軍司令部に協力を求めている。その理由は、太平洋戦争以後、慰安婦動員に関する業務を陸軍省が掌握するようになったためである⁴。京城で22人の慰安婦を募集し、第4次慰安団の一環としてビルマに進出して、ミイトキーナ（Myitkyina）で慰安所を経営した日本人戦争捕虜は、朝鮮軍司令部の提議に応募をし、慰安婦募集の許可を得たと述べている（「付録2」を参照）。言い換えれば、彼は朝鮮軍司令部によって慰安所業者に選ばれていたのである。

このような朝鮮軍司令部の提議は、同じ立場にいた日本人業者らにも伝わったという。しかし、このような提議は京城の日本人業者らだけでなく、朝鮮各地の慰安所業者らに広く伝わっていたものと見られる。日記資料に登場する第4次慰安団の慰安所経営者について調べてみると、そこには日本人だけでなく、朝鮮各地の朝鮮人も多く含まれている。これらの業者がいかなる人々をいかなる方法によって慰安婦として募集したのか、という問題に関しては、若干の資料がある。まず「いかなる人々が動員されたのか」について見てみると、「付録1」の「動員」では「これら

⁴ 吉見義明「「従軍慰安婦」政策における日本国家の指揮命令系統」（金富子、宋連玉〔責任編集〕／VAWW-NET Japan〔編〕『2000年女性国際戦犯法廷の記録 Vol.3 「慰安婦」・戦時性暴力の実態 I——日本・朝鮮・台湾編』緑風出版、2000、第2章）第II節を参照。

女性のうち、何人かは以前から「地上で最も古い職業」に関係していたが、ほとんどは無知で教育も受けることができなかった」と指摘している。というのは、捕虜尋問対象となった 20 人の日本軍慰安婦の中には、軍慰安婦になる前に慰安婦の経験があった者と、教育も受けることができなかつた貧しい者とが混じていたのである。

第 4 次慰安団の慰安婦として募集された人々については、そこに同行した慰安婦の証言もある。韓国の代表的な日本軍慰安婦経験者の一人として知られている文玉珠は、自分と一緒に慰安婦に動員された人々について次のように証言している。「『日本軍の食堂に行って働こう。そこに行けば金が儲かるで…』と私に勧誘をした人はヒトミとキファ姉妹であった。東安省（解題者注——満州北部、ソ連との接境にあった地名）のグンポール（解題者注——軍慰安所）で一緒だった仲間たちで、その時は近所に住んでいた」（森川前掲書、45 頁）。この引用文によると、文玉珠は満州東安省の日本軍慰安所で軍慰安婦として一緒に働いていたことがあり、近所に住んでいたヒトミとキファ姉妹と一緒に南方の日本軍食堂で金を稼ぐために募集に応じたというのである。また「（解題者注——釜山で）指定された甲乙旅館という名の旅館に行って、わたしはびっくり仰天した。アキミが、ヒフミがいたのだ。東安省で一緒だった友達がそこに来ていた」（前掲書、46 頁）とも述べている。

上記の証言をまとめると、第 4 次慰安団の慰安婦として動員された人々には、慰安婦経験がある若干の人々もいたが、ほとんどは教育も受けられず、貧しい人々であったというのである。このような事実は、慰安所業者らが慰安婦を動員する方法によってもある程度裏付けられるのではないかと考える。上記の捕虜尋問報告では、慰安婦の動員方法について次のように述べている。

「『サービス』の性格は明示されていないものの、それは病院にいる負傷兵にお見舞いをし、包帯を巻くことや一般的に言わば将兵を楽しくしてあげることにかかわる仕事であると思われる。これら依頼人らが使ったおとりは多額の収入、家族の負債が返済できる良い機会、きつくない労働と新天地のシンガポールでの新生活に対する展望であった。このような虚偽説明を信じて多くの女性が海外勤務に応募し、200～300 円の前借金を受けた」（「付録 1」「動員」を参照）。

第 4 次慰安団の慰安婦動員方法は、憲兵や警察が直接慰安婦らを動員するのではなく、慰安所業者が慰安婦たちを募集する方法であったようである。それ故、彼らは慰安婦を募集するためのおとりが必要であったが、その重要な手段が前借金と多くのお金が稼げるという「甘言利説」ではなかったのかと考える。捕虜尋問報告によると、前借金は 200～300 円とも言い、300～1,000 円とも言われる。このような前借金をすべての慰安婦らが受け取っていたかどうかは分からないが、捕虜となった 20 人の慰安婦の契約期間が通常の 2 年ではなく、6 ヶ月～1 年であるという点から鑑みれば、前借金を受けていたとしても、その金額は多くはなかったようである。慰安所業者らが慰安婦を募集する際に用いた重要な手段が人身売買同様の前借金の支払いであったとしても、慰安婦の募集においてはこのような前借金による人身売買に加えて、「誘拐まがい」と言

っていい詐欺の手口が使われた可能性が高い。それは、教育を受けることができず貧しい人々を慰安婦として募集する際には、引用文で確認したように募集の目的をはぐらかすかごまかすかしたためであろう。

日記資料にも、慰安婦の募集に関する若干の情報がある。「去る 7 月初旬にラングーンで慰安所を経営していた金田氏は、慰安婦を募集するため朝鮮に行ってきたという。そして今回に慰安婦 25 人を連れてビルマに帰る道に、シンガポールに到着したらしい」(43.12.3——日記の年月日。以下同様) や、「西原君のところに行き、遊んでから、金田、徳山等、ビルマで慰安業をしていたが、慰安婦を募集し再びビルマに戻る両氏に会い、故郷の消息を聞いた」(43.12.5) や、「慰安婦を募集するため朝鮮に帰った大洋倶楽部主人の西原武市は、来る 7 月に京城から出発する予定だと西原菊次君に電報が届いた」(44.4.15) という記述が、まさにそれに当たる。同記述は、1943 年 12 月と 1944 年 7 月頃にも慰安団が朝鮮からシンガポールに向かって出発した可能性を示唆すると同時に、慰安団は軍が組織したとしても、慰安婦の募集は業者が担当していたことを物語っている。

2) 出陣

第 4 次慰安団は、1942 年 7 月 10 日に釜山港を出発した。釜山港の出航日付については、日記と捕虜尋問報告が一様に記録しているため、異論の余地がない。ただ、「第 4 次慰安団」という用語は日記において一度しか登場していないが(日記では「慰安隊」という用語が 3 度出ている)、後述するように日記に登場する慰安所経営者の多くが同じ日に釜山港を出発していることから、第 4 次慰安団の存在はほぼ疑いの余地がないと考えられる。

ところで、この「第 4 次慰安団」という用語は、慰安婦動員において少なからぬ意味を持つ。なぜなら、第 4 次慰安団が実際存在していれば、日本の軍部が朝鮮軍司令部と手を組んで、朝鮮で次々と慰安団を組織して慰安婦を海外に出陣させたことを、それは意味するためである。前述の慰安婦動員の記録で出てくる「1943 年 12 月」と「1944 年 7 月」という日付も、「第 0 次慰安団」が釜山港を出発する年月を指すものと考えられる。日記によると、第 4 次慰安団の団長は、朝鮮人と推定される津村であったという。(1944.4.6)

では、第 4 次慰安団の規模はどのくらいのものであったのだろうか。その規模については、文玉珠の証言、および連合軍東南アジア翻訳・尋問センターの記録が残っている。

まず、文玉珠の証言を検討する。「マツモトに引率されて軍専用の岸壁に行った。そこには百五十人から二百人ほどの若い娘たちが集まっていた。それぞれ、十五人から二十人くらいに一人か二人のマツモトのような中年男がついていた」(森川前掲書、46 頁)。文玉珠の証言によると、慰安団の規模は 150～200 人であり、慰安婦は 15～20 人ずつグループを形成していて、グループごとに慰安所経営者と従業員が一人、二人ずつ付いていた。

一方、連合軍東南アジア翻訳・尋問センターの「心理戦尋問報告」には、「捕虜と彼の妻は 22 人の女性たちを連れて 1942 年 7 月 10 日に釜山港を出航したが、一行は 703 人の朝鮮人女性と約 90 人の彼のような下品な日本人男女から成っていた」（「付録 2」）と書かれている。「心理戦尋問報告」は当時の現地調査記録であるだけに、文玉珠の証言より事実に近いと考えるべきであろう。

日記によると、勘八倶楽部の経営者の山本〇宅（43.1.1）をはじめ、蓬萊亭の経営者の野澤（43.1.29）、文楽館の経営者の新井清次（43.2.28）および乙女亭の経営者松本恒（43.4.11）、その外に慰安所経営者の金和柱道（43.2.8）、光山寛治（43.2.10）、大石（43.4.3）および内菌（43.4.20）などが、第 4 次慰安団としてともに釜山港を発った。彼らは全員、朝鮮人であった。つまり、上述の引用文の「約 90 人の彼のような下品な日本人男女」には、日本人のみならず朝鮮人が多数含まれていたわけである。もし 703 人の慰安婦らが全員朝鮮人であったとすれば、90 人の内訳としては日本人より朝鮮人が多数を占めていた可能性もある。

第 4 次慰安団は日本軍部により組織されたため、慰安所業者と慰安婦は軍属としての待遇を受けた。そのため、彼らは海外への出国に当ってパスポートを持って出国したわけではなく、軍の発行する旅行証明書を持って出国した。また、出国する際には旅客船ではなく軍用船を利用しており、移動する際にも主に軍専用の乗り物を利用していたため、料金は無料であった。

慰安婦の動員において最も重要な問題の一つは、「前借金がどこから支給されたか」ということである。慰安所業者からは前借金を「自ら支払った」という証言がいくつかあったが、この問題はそれで片付くほど簡単ではない。1938 年 1 月、上海派遣軍司令部は、「大内」という人物に日本における慰安婦の募集を依頼しているが、その時大内が慰安所業者に提示した募集条件は「酌婦は年齢十六歳より三十歳迄、前借は五百円より千円迄、稼業年限二ケ年、之が紹介手数料は前借金の一割を軍部に於て支給するものなり云々」⁵であった。上述の引用文をいかに解釈すべきかという問題と、上記の募集条件が実現されたかという問題は別途に解明すべき問題として残っているが、日本軍慰安婦問題に関する調査・研究をリードしてきた吉見義明も、いかなる形であれ前借金は軍から支給されたはずだと推測している⁶。

3. 慰安所の分布と類型

1) 分布

軍用船に乗って 1942 年 7 月 10 日に釜山港を出発した第 4 次慰安団が、台湾に寄って 22 人の慰安婦を乗せ、シンガポールを経由してラングーンに到着したのは、8 月 20 日であった。ラングーンに到着した彼らは、軍の要請に従って、日本軍が駐屯していたビルマの各地に配置されてい

⁵ 永井前掲論文、注 32 参照。

⁶ 吉見義明『従軍慰安婦』（岩波書店、1996）100 頁。

るが、捕虜尋問報告によるとその配置状況は次の通りである。

「付録 1」の「動員」では、「彼女たちは、8 人乃至 22 人の集団になって、ビルマの諸地方に、通常は日本軍駐屯地の近くにあるかなりの規模の都会に配属された」とされており、「付録 2」では「ラングーンで彼女たちはそれぞれ 20~30 人からなるグループに分かれてビルマの各地域に分散されたが、各グループはいくつの連隊、部隊、もしくは隊形に付属されたため、各部隊は自らの慰安所（ら）を有していた」とされている。こうした記録をまとめると、ラングーンに到着した慰安婦らは、大抵 20 人前後のグループに分かれ、日本軍の要請に従って、日本軍の駐屯していた地域やかなりの規模の都市に配置され、各慰安所は各部隊に専属されていたことになる。

勿論、ビルマにおける日本軍慰安所全体の分布状況はわからない。日本陸軍省の恩賞課長であった倉本敬二郎は、1942 年 9 月 3 日の局課長会議の場で、「将校以下の慰安施設を次の通り作りたり。北支 100 ケ、中支 140、南支 40、南方 100、南海 10、樺太 10、計 400 ケ所」と報告している⁷。このことからすると、南方に属するビルマでも、陸軍省の資金に支えられて相当数の慰安所が設置されたと考えられる⁸。非常に断片的な資料ではあるものの、ビルマ中部の大都市であるマンダレー（Mandalee）には計 9 カ所の慰安所があり、その内訳を見れば、軍指定慰安所として日本人慰安所 1 カ所、中国人慰安所 1 カ所、および朝鮮人慰安所 3 カ所があり、軍准指定慰安所としてビルマ人慰安所 4 カ所があったと伝えられている（表 1 参照）。また、捕虜尋問報告によると、マンダレー近隣のメイミョー（Maymyo）では 8 カ所の慰安所があり（そのうちの 2 ケ所が日本人慰安所であり、現地人慰安所は含まれていないようである）、ビルマ北部のミイトキーナにも、共栄・錦水・バクシンロ・桃屋（家？）という 4 つの慰安所が設置されていたが、前者 3 カ所には 42 人の朝鮮人慰安婦がおり、桃屋には 21 人の中国人慰安婦がいたとされる。

表 1 マンダレーの慰安所（1945 年 1 月）

軍指定別	慰安所名	慰安婦の国籍	定休日	摘要
軍指定	梅乃家	内地人	8、23	将校慰安所
同上	万来家	広東人	11、26	
同上	東亜倶楽部	半島人	3、18	
同上	朝日倶楽部	同上	5、20	
同上	菊園	同上	9、24	
軍准指定	楽天地	ビルマ人	5、20	
同上	ビルマ館	同上	13、28	
同上	喜楽荘	同上	1、16	
同上	新緬館	同上	8、23	ビルマ兵補専用

⁷ 秦郁彦『慰安婦と戦場の性』（新潮選書、1999）105 頁。

⁸ 吉見義明はこの数字について、慰安所の数字でなく、慰安所が設置された地域を示しているのではないかと推測している。

出典：「マンダレー駐屯地勤務規定」（マ駐庶第五十四号）（女性のためのアジア国民基金編『従軍慰安婦関係資料集成④』（龍溪書舎、1998年）333頁。

日記に登場する日本軍慰安所は、ビルマの27カ所とシンガポールの10カ所を合わせ、計39カ所である（ここでは、同じ慰安所であっても、地域を移動させられると別途の慰安所として計算しているので、数として重複しているところがある）。勿論、ここに登場する慰安所は、日記の筆者が日常生活で知ることになった慰安所を日記に記録したに過ぎない。したがって、日記に登場する慰安所には、朝鮮人の経営する慰安所が多く含まれる傾向にあることは言うまでもない。前述したように、ビルマでは、朝鮮人慰安所のみならず、日本人慰安所・中国人慰安所およびビルマ人慰安所などがあつた。当然のことながら、慰安所の相当数が現地のビルマ人女性の慰安婦を置いていたと考えられるが、日記に登場する慰安所資料の限界を考慮しても、朝鮮人慰安婦を置いていた慰安所が多いことは特記すべき点である。以下の「日記に登場するビルマおよびシンガポールにおける慰安所分布」からわかるように、朝鮮人慰安所は南のラングーンをはじめ西北部のモールメン、ペグー、プローム、パダン、アウンバン、マンダレー、ラシオ、アキャブなどに至るまでビルマ全域にわたって分布していた。

■日記に登場するビルマおよびシンガポールにおける慰安所分布

（慰安所名・職責・経営者名・出身地・摘要）

□ラングーン（8カ所）

- ・ラングーン会館（経営者：大山虎一、京城人）
- ・白水慰安所（帳場：大原、大邱人）
- ・内蘆慰安所（経営者：内蘆、朝鮮人、第4次慰安団）
- ・一富士楼（経営者：村山、朝鮮人）
- ・松月館
- ・共楽館（帳場：木下）
- ・金泉館
- ・将校倶楽部翠香園

□モールメン（1カ所）

- ・内蘆慰安所（経営者：内蘆、朝鮮人、第4次慰安団）

□ペグー（5カ所）

- ・金和慰安所（経営者：金和柱道、朝鮮人）

- ・文楽館（経営者：新井清次、忠州人、第4次慰安団）
- ・桜倶楽部（経営者：金川長平、大邱人）
- ・一福亭（経営者：山本）
- ・将校倶楽部

□プローム（6カ所）

- ・勤八倶楽部（経営者：山本〇宅、大邱人、第4次慰安団）
- ・蓬萊亭（経営者：野沢、朝鮮人、第4次慰安団）
- ・乙女亭（経営者：松本恒、大邱人、第4次慰安団）
- ・東亜館
- ・喜楽館
- ・木下慰安所（経営者：木下）

□パダン（1カ所）

- ・光山慰安所（経営者：光山寛治、朝鮮人）

□アウンバン（1カ所）

- ・金井慰安所（経営者：金井）

□マンダレー（1カ所）

- ・乙女亭（経営者：松本恒、大邱人、第4次慰安団）

□ラジオ（1カ所）

- ・大石慰安所（経営者：大石、朝鮮人、第4次慰安団）

□アキャブ（3カ所）

- ・勤八倶楽部（経営者：山本〇宅、大邱人、第4次慰安団）
- ・乙女亭（経営者：松本恒、大邱人、第4次慰安団）
- ・文野慰安所（経営者：文野、奉化郡人、新井久治が経営していた慰安所を引き受けたもの）

□シンガポール（10カ所）

- ・菊水倶楽部（経営者：西原周復、朝鮮人）
- ・大洋館（経営者：西原武市、朝鮮人）

- ・興南俱樂部
- ・名古屋俱樂部（経営者：瀧光次郎）
- ・共栄俱樂部（経営者：高島）
- ・凶南俱樂部
- ・富士俱樂部（経営者：佳山亨洛、後に西河に譲渡）
- ・花園俱樂部（経営者：徳山夫婦）
- ・第一白牡丹
- ・勝鬨俱樂部（経営者：瀧光次郎）

上記の経営者の出身地をみると、朝鮮人の多い点が目立つ。たとえ朝鮮人であることが明らかではないとしても、経営者の名前が知られた慰安所の大半は、朝鮮人慰安所であったものと判断される。そして、その中でもビルマでは、第4次慰安団としてビルマに渡ってきた人々が多数を占めている。シンガポールの慰安所経営者の中に第4次慰安団として渡ってきた人が皆無であったことから勘案すると、第4次慰安団は全員ビルマに配置された可能性が高い。

もし第4次慰安団が全員ビルマに配置され、そして一つの慰安所に20人前後の慰安婦がいたとすれば、703人の慰安婦はおよそ35カ所の慰安所に送り込まれたはずである。無論、ビルマの朝鮮人慰安所が全て第4次慰安団としてビルマに渡ってきた人々で占められるというわけではないため、ビルマにこれを上回っていかに多くの朝鮮人慰安所があったか、想像することも難しい。

また、ビルマやシンガポールに進出した朝鮮人の職業は、食堂経営者、写真師、製菓業者、貿易業者、建築下請業者および洋服店の経営者など様々であったが、これらの業種の経営者は職業ごとに各2～3名に過ぎず、軍慰安所の経営者が圧倒的に多数を占めている。このような事実は、ビルマとシンガポールに朝鮮人の軍人と軍属が多かったということとともに、日本政府による組織的動員が存在しなかったと想像することを困難にしている。

2) 類型

かつての研究では、慰安所のタイプとして、軍直営の慰安所、軍専用の慰安所、および一般慰安所の中で軍も利用する慰安所の三種類があったと捉えられてきたが、吉見義明は慰安所の類型を次のように定義している。「慰安所の運営形態には3通りあって、第一は軍直営で軍人と軍属専用の慰安所、第二は形式上は民間業者が経営するが、軍が管理統制する軍人・軍属専用慰安所、第三は軍が指定した慰安所で、一般人も利用するが、軍が特別の便宜を求める慰安所である」⁹。吉見のこの定義は非常に適切であると考えられる。軍慰安所の中で最も普遍的な形態は、軍専用

⁹ 吉見前掲書、74頁。

の慰安所である。多くの場合、このタイプは民間が経営する慰安所として捉えられてきたが、吉見はこれを「形式上は民間業者が経営するが、軍が管理統制する軍人・軍属専用慰安所」と規定した。

日記には、慰安所のタイプを示す4つの言葉が登場する。「航空隊所属慰安所」、「兵站管理慰安所」、「軍専用慰安所」および「地方人慰安所」である。「航空隊所属慰安所」と「兵站管理慰安所」はともに同じく軍専用慰安所である。例えば、「(ラングーン)のインセイにある高部隊、即ち、航空隊所属の慰安所2カ所が兵站管理に移譲された」(43.7.19)「村山さんが経営する慰安所の一富士楼が兵站管理になり、村山さんと新井さんは兵站司令部に行ってきた」(43.7.20)などという記述が見られる。さらに、「軍専用倶楽部は、毎月休みが3回だったが、今月から2回に減り8日と19日が休みである」(44.3.19)との記述も見られる。

上記の通り、同じ軍専用慰安所であっても、軍と慰安所の関係は場合によって非常に異なっていたようである。「航空隊所属慰安所」の場合は、「収入報告書を連隊本部に提出」(43.1.12)し¹⁰、「兵站管理慰安所」の場合は「兵站司令部に寄って営業日報を提出し」(43.8.12)、「軍専用慰安所」の場合は各種の報告書をシンガポールの警務部保安課に提出している。前二者は戦闘が進行中のビルマの場合であって、後者は後方であるシンガポールの場合である。ビルマでは、慰安所が軍の命令に従って随時移動していた。「朝鮮から一緒に来た野沢さんに会ったがマンダレー(Mandalay)の方面で慰安所をしていたが、今は私たちが前にいたプローム市で部隊に付いて来て営業をしているという」(43.1.29)との記述をみると、慰安所業者らが営業のために部隊に追従しているように表現されているようにも見える。だが実際には、彼らは軍の命令に従って移動したものと考えられる。頻出する記述ではないが、「55師団から金川さんの慰安所をマンダレー近くのイエウ(Ye-U)という所に移転しろという命令があって」(43.3.10)という記録がある。こうした記録を「航空隊所属の慰安所」や「兵站管理慰安所」という点に関連付けてみると、「戦地における慰安所の移動は、軍の命令に従っていた」と見るのが妥当であると考えられる。前述したように、「ラングーンで彼女たちはそれぞれ20~30人からなるグループに分かれてビルマの各地域に分散したが、各グループはいくつの連隊、部隊もしくは隊形に付属されたため、各部隊は自らの慰安所(ら)を有していた」という捕虜尋問報告の記録は、まさに戦線における軍専用慰安所の姿そのものであったのではないかと考えられる。

4. 慰安所の経営と慰安婦たち

1) 慰安所の経営

軍慰安所の経営のほとんどは、経営者(夫婦)、帳場1人、仲居1人、使いのボーイ1~2人お

¹⁰ 所属部隊に報告書を提出するため、上のように推測した。

よび慰安婦 20 人前後から成っていたように思われる。慰安婦の人数は、ラングーン会館のような所は 30 人であったというが、一富士楼は 16 人、乙女亭は 17 人、勘八俱樂部は 18 人であった。勿論、各慰安所の慰安婦の人数は、時期によって変動があったに違いない。慰安所の経営においては、慰安婦の募集などで経営者の役割がたいへん重要であったものの、経営者の経営権がどれほど重視されていたかは定かではない。「付録 2」を見ると、「その女子らは捕虜の排他的財産」とされている。その上、経営権が売却されるときには、譲渡契約書が締結され（44.9.1、43.9.9）、当局の許可を得るなど、一定の手続きが必要であったものの（43.8.8、43.8.28）、経営権が頻繁に替えられていたことが、日記では見受けられる。さらに、日記の筆者の家内の弟である山本○宅の事故死により勘八俱樂部が解体の危機に遭った時、軍は慰安所の立て直しを日記の筆者に要請しているが、この時筆者はその縁故権を主張してもいない。こうした事実から推測すると、慰安所は様々な面から軍の統制権の下で存在していたため、業者の経営権はたいへん弱いものであったと見られる。

軍慰安所の経営において、帳場の役割は非常に重要なものであったと見られる。そのため、日記で見られる帳場の活動を精査してみれば、慰安所の経営内容も分かってくるものと思われる。活動の内容は、帳場の基本業務は勿論のこと、慰安所に訪れてくる将兵を迎え、彼らの希望する慰安婦に案内し、会計帳簿をまとめることも含まれる。またこれらの業務に加えて、日記の筆者は、市場から慰安所の食材を調達する一方、慰安所の対外業務も担当していた。ここで慰安所の対外業務とはたいへん煩わしいものであり、その中で慰安婦に関わる業務を列挙すれば、就業および廃業の許可申請、性病検査への引率、貯金および送金業務、帰国手続き業務などがある。また所属機関との関連業務としては、連隊司令部や兵站司令部、あるいは警務部に対する営業日報・営業月報および月ごとの収支計算書の提出などが挙げられる。慰安所から所属機関に提出する各種報告書の内容から見て、慰安所経営の独立性はたいへん脆弱であったように思われる。その理由は、本来的に慰安婦の募集から慰安所の経営に至るまでの全ての過程が軍の主導の下で行われる他なかった日本軍慰安婦制度の本質に、見出されるべきであろう。

慰安所の定期休日は大抵、1 ヶ月に 2 日であった。シンガポールでの日記を見ても「軍専用俱樂部は、毎月休みが 3 回だったが、今月から 2 回に減り、8 日と 19 日が休みである」（44.3.19）との記録が見られる。慰安所の営業状況は、様々な要因によって異なっていたと思われる。伝染病が流行ると、営業は無論中止となった。また、軍の外出が少ない時期には、慰安所の営業も閑散としていた。「今日はここ最近で一番客が少なかった。兵丁券が 14 枚しか売れなかった」（43.1.7）との記録があるが、このような場合が、慰安所業が閑散としていた時期を示しているのであろう。他方、「今日は日曜日であるためか、俱樂部の収入が約 1,600 円もあった。俱樂部を開業して以来、収入が一番多いという」（44.3.26）「今日は天長節であり、軍人の外出が多く、俱樂部の収入は 2,450 円余りに上り、過去最高を記録した」（44.4.29）「今日も軍人の外出が多く、昨日の最高

収入記録をはるかに越え、2,590 円余りの最高となった」（44.4.30）という記録も見られ、このような場合が慰安所営業の盛業の例だと言えよう。

上記はシンガポールにあった菊水倶楽部の事例であるが、一日に 2,590 円の収入があつて慰安婦数を 20 人だと仮定するならば、慰安婦 1 人当りで 120 余円の収入があつたということになる。花代は、兵士が 20～30 分で 1.50 円、下士官が 30～40 分で 3 円、将校が 30～40 分で 5 円であつたため、120 円の収入を上げるには、慰安婦 1 人が一日に兵士なら 80 人、下士官なら 40 人、将校なら 24 人を、それぞれ相手にしなければならないということになる。慰安所の総収入 2,590 円の中には酒やその他物品の販売収入が若干含まれているといつても、その金額はそれほど多くなかつたために、上のようなことは到底ありえない。無理な仮定であるが、慰安婦数を 40 人とした場合にも、上のようなことは想像し難い。一つあり得る可能性は、花代が上記の正規料金より何倍も上昇することだ。どこの地域の場合なのかは確認できないが、1944 年の遠山隊の場合、1 時間当たりで兵士は 8 円、下士官は 10 円、営外者（解題者注——将校のことであろう）は 15 円、宿泊（営外者のみ）は 40 円だった¹¹。次項で慰安婦の収入について再度検討することになるが、シンガポールは戦時ハイパーインフレに止めて入っていたので、上の収入はハイパーインフレとの関係において再検討されなければならないだろう。

2) 慰安婦たち

日本政府の文書において、慰安婦は一般的に「慰安婦」「稼業婦」「従業婦」または「酌婦」などと記されている。この日記においても、このような呼称に沿う形で「慰安稼業婦」「就業婦」「営稼婦」または「稼安婦」などとも呼ばれている。このような呼称は、軍慰安婦らも代価を受け取って性的サービスを提供したという点から、一般風俗業に従事する慰安婦たちとその性格が基本的に変わらないという認識から出たものと思われる。日記では、ビルマで進められたはずの軍慰安婦たちの就業過程に関する資料が見受けられない。しかし、筆者が帳場として働いていたシンガポールの菊水倶楽部での就業過程については、詳細な記録を残されている。

慰安所が新しい慰安婦を迎え入れるためにはまず、慰安婦の在留届け・就業許可願・健康診断書をシンガポール警務部保安課に提出しなければならなかつた。新しく迎え入れる慰安婦であるとしても、朝鮮から渡航してきたばかりの慰安婦だけでなく、南方で既に軍慰安婦の経験を持つ者もいた。「今回、菊水倶楽部はスマトラ・パレンバンからシンガポールに来ている金○順、崔○玉の二人に対する就業許可願を特別市警務部に提出した」（44.4.22）という記録がその一例であろう。ただし、性病患者や妊婦に対しては、慰安婦として活動できる障害要因が無くなるまで、就業許可が下りなかつた。

¹¹ 女性のためのアジア国民基金編『従軍慰安婦関係資料集成③』（龍溪書舎、1997）、280 頁。

就業許可を得ている慰安婦らの廃業に関する事例は多いが、その廃業条件に関する資料はほとんど見受けられない。もし慰安婦が前借金を貰っていたのであれば、そのときの契約条件が廃業条件の一つになったのであろう。前借金を貰った場合、一般的にはその義務就業年限は2年であった。「付録1」の「動員」のところを見ると、1944年8月10日、ワインモー（Waingmaw）付近で捕虜になった朝鮮人慰安婦の契約条件は6ヶ月から1年であったとされている。1944年3月以降になると、筆者が帳場として勤務していた菊水倶楽部では、廃業し帰国する慰安婦が続出している。順子やお染（44.3.3）、松本○玉や郭○順（44.3.14）（先の順子やお染と同一人物である可能性あり）、金川○玉や島田○玉（44.4.12）、真弓（44.4.13）、金本○愛や○愛の姉妹（44.7.9）、絹代や秀美（44.11.5）、金○先や金○愛（44.11.16）および金○守（44.11.22）などである。これは、菊水倶楽部の持つ慰安婦の半分以上を超える人数であるが、勿論、欠員は新しい慰安婦でもって補充している。慰安婦らは、警務部保安課に酌婦認可書を返上し、旅行許可書を発給してもらって、南方運輸会社の汽船で帰国している。

しかし、戦地のビルマは、シンガポールとは事情が違っていたように見える。結婚するために廃業した慰安婦が再び就業を強いられた事例がある。「前に村山さんの慰安所に慰安婦としていて、夫婦生活をするようになって慰安所を出た春代と弘子は、今回兵站の命令で再び慰安婦として金泉館に戻るようになったという」（43.7.29）という記録がそれである。また同じビルマであるとしても、戦闘地での廃業はさらに厳しかったように見える。何故ならば、外国で日本軍の保護を受けることができないとすれば即ち、慰安婦には慰安所の外の方が「地獄」になるためである。「如何なる女であれ、彼女の家族に支払ったお金を利子まで含めて戻すことが出来てこそ、彼女は朝鮮までの無料帰還交通券を貰い、自由の身と見なされた。しかし戦争という状況があったため、捕虜が持っていたグループでは今まで誰一人慰安所から離れることが許されなかった。1943年6月に第15軍司令部が借金から自由になった女たちを故郷に帰れるように斡旋したが、条件を満たして帰還を希望している場合も、慰安所に居残るよう容易に説得された」（「付録2」）

軍慰安婦の収入はどれほどだったのであろう。軍慰安業にも、営業の状況が良いときとそうではないときがあったに違いない。しかし、日記によると、軍慰安婦らは一般的に貯金もし（解題者注——強制貯金の場合が多かった）、また故郷に送金もしていたように見える。菊水倶楽部の帳場として勤務していた時代の筆者の日記を見ると、慰安婦のための貯金や送金業務に関する記録が数多く残っている。「朝飯を食べて横浜正金銀行に行き、慰安婦の貯金をして帰る道に理髪した」（44.3.25）「西原君と一緒に横浜正金銀行支店に行き、今回に帰国した李○玉と郭○順の二人に対する送金をした」（44.4.14）といった記録がその代表であろう。しかし軍慰安婦らがどれほど貯金をして、どれほど送金できたか、その金額は明らかになっていない。日本軍慰安婦に関するこれまでの研究において、送金と貯金を多くしていた代表としては、文玉珠が知られている。彼女には未だ「軍事郵便貯金原簿」が残っているが、そこには戦前の時点で26,000円の預金がある。

記録されている。彼女は故郷に 5,000 円を送金したとも言っている。この日記においても「正金銀行に行って、許可済みの金〇守の送金 11,000 円を送った」（44.12.4）という記述がある。慰安婦の送金額としては多い方であったので、特記したのではないかと思われる。

しかし、慰安婦と業者たちの貨幣収入が持つ価値に対しては、検討されなければならない事項が極めて多い。第一に、日本軍占領地での戦時ハイパーインフレをどのように勘案するかという問題である。煩雑を避けるために文玉珠の預金通帳に対する小林英夫の試算を結果のみ紹介すると、次の通りとなる。文玉珠の通帳に記入された預金を踏まえて、インフレを勘案しつつ日本の円基準として彼女の実質収入を計算すれば、1941 年 12 月の日本物価を 100 としてビルマでの月インフレ率を 11～14%と見なした時、1943 年 4 月～9 月の「2,150 円」は 264～405 円、1943 年 10 月～44 年 3 月の「2,641 円」は 148～266 円、1944 年 4 月～9 月の「900 円」は 23～48 円、1945 年 4 月～9 月の「20,860 円」は 110～321 円となり、合計で 527～1,040 円だと計算できるということである。しかし、このような貨幣収入も送金するのに厳しい制約があっただけでなく、送金が許諾されたといっても朝鮮でそれを現金で引き出すところでも大きな制約があった。「慰安婦の収入が将軍のそれよりも多かった」という一部の主張は、事実の歪曲である。

結言

日本軍慰安婦問題において最も大きな問題点とされているのは、第一に慰安婦の動員における強制連行の有無、第二に慰安所における慰安婦らの生活が性奴隷的なものであったか否かに絞ることができるだろう。従来の研究によると、南京事件以後、華中地域およびインドネシアのジャワ島中部の州都、スマランなど戦闘地域に日本軍慰安所を設置する時、日本軍憲兵が現地の女性らに対して拉致と同様の方法で強制連行したことがあると言われる。特に、西洋人抑留所にいたオランダ人の女性らを強制的に徴収してスマラン慰安所に抑留し、強姦と変わらない慰安行為を強いた事件は、強制連行の代表例として有名である。それでは、非戦闘地域の日本や日本の植民地における慰安婦の動員は、どのようになっていたのであろうか。従来の研究によれば、非戦闘地域では社会が上手く組織されていて、慰安婦の動員が容易であったため、拉致のような強制動員は基本的に必要なかったとされる。つまり、非戦闘地域では、既存の慰安婦らを動員するか、あるいは「誘拐と同様の」人身売買や詐欺による貧しい階層の動員を行っていた。研究者によっては、前者を「狭義の強制動員」後者を「広い意味での強制動員」と呼んでいる。

前述したように、第 4 次慰安団の場合は、日本軍部が朝鮮に依頼人を派遣し、朝鮮軍司令部の協力を得て、慰安所業者を募集した。慰安婦として集められた人々の中には、既に慰安婦の経験を持っている者もいたが、そのほとんどはただ貧しい階層であるに過ぎない女性であったという。彼女らは、自らが就かなければならない仕事の性格も分からないまま、前借金や高い収入という囿にかかって、「誘拐と同様の」人身売買や詐欺に遭った可能性が高い。このような慰安婦の動

員方法については、「広い意味での強制動員」と呼んでも問題ないだろう。しかし、第4次慰安団の場合においてより重要なのは、それが徴用、徴兵および挺身隊のような戦時動員であった、という点にあるのではないかと思われる。日中戦争から太平洋戦争に至るまで、朝鮮人女性が日本軍の慰安婦としてどれほど動員されたかについて、正確には把握できないが、彼女らが日本の国家政策により計画的に動員されたのであれば、その事実が持つ歴史的意味は決して軽いとは言えないものであろう。今回の日記資料が明らかにしている、朝鮮における日本軍慰安婦問題の実態は、「日本軍慰安婦の動員が戦時動員体制の一環として行われた」との事実にあるのではないかと思われる。

第二に指摘されるべき重要な問題は、動員された慰安婦らが戦地で「性的奴隷の状態」であったか否かという点である。日記では、後方のシンガポールの慰安所の事例ではあるが、慰安婦らが慰安所で働く一連の過程において、当局から就業と廃業の許可を受けていた。この中で、就業許可については、様々な状況から見て、慰安婦が慰安婦として従事できない障害要因が無い限りは、問題なく下りたものと思われる。問題となるのは、廃業許可の方である。廃業許可について最も重要なのは、慰安婦に動員されるときに契約条件であったが、それは主に前借金に関わる内容であった。捕虜審問報告もこのことを強調していた。問題は、前借金を返済した場合も廃業が容易でなかったという点にある。事例の性格として多少曖昧なところはあるものの、ラングーンでは、兵站司令部が「夫婦生活をするようになって慰安所を出た」一富士楼の慰安婦に再就業するよう命令を出している。前述したように、戦地のビルマでは、軍から廃業の許可が下りたとしても、再就業するよう容易に説得されたことが記されているのである。このように廃業に厳しかった理由は数多くあったと思われるものの、慰安所が軍編制の末端組織として編入されており、軍部隊と共に移動するしかなかったためではないだろうか。それにも拘らず、慰安婦らはいいつも「醜業婦」として蔑視されていたのである。

このような軍慰安婦らの置かれていた上のような境遇を、「性的奴隷状態」と捉えても、差し支えはないのではなかろうか。